

明治四拾四年四月廿壹日接獲

主警政務局

第10278號

第一號

抄送

並文

四月十九日午後三時五十九分至午後八時十分

臨時防疫部庶務課長

松島守才二部長

本日前二時頃より暴風雨となり、今迄被害報告ニ格シタルモノ左ノ如ク
旅順支部、暴風ノ為メ設備中ノ停留所
圍ニ鉄板約五十間、事務室屋根等破損
ニ應急手書中

大連支部、大房身停留所周囲ノ圍
壊暴風ノ為メ全部倒壊ニ應急修理中

營口支部、暴風雪ノ為メ咫尺ノ間
殆ト絶ハ、營口停留所、外國約二百間及
手荷物預所一棟倒壊、其他破損、圍所
多シ、市中ノ被害亦甚カク、サレカ如ク
遼陽支部、暴風雪ノ為メ停留所外壁
約三十間倒壊、事務室ニ風雪吹込、執
務困難ナリ
奉天地方、風雪ノ今尚熾ニス、一般ノ間亦
多少被害見込

急

明治四拾四年五月拾八日接受

主務政務局

第一課

關防第六三四二號
ハスト結熄ニ付從來施設ニタル防疫
措置申左記各項ヲ除キ其他ハ本月
十日限り撤廢致候ニ付此後及通報
候也

一 捕鼠將大劔買上及具模範
一 換病的ノ口調査

一 列車兼上換疫

明治四十四年五月十日

関東都府府臨特防疫部長子爵大島義



外務省 第1

0492

3-2597

防疫施設報告 (其十五)

前報告以降即チ三月十六日ヨリ同月二十日ニ至ル五日ニ於テハス防疫ニ關シ施設シタル事項並同件ニ關シ各方面ヨリ得タル通報等ヲ要旨ヲ列擧スルコトヲ左ノ如クニ行フ

一、本期間ニ於テ左リ告示ヲ公布セリタリ (明治四十四年三月十九日)

上海港務局ニ於テ左リ告示ヲ發布セリ旨拓殖局ヨリ通知アリタリ

上海港告示第五號
上海及吳淞港檢疫規則ニ追加シテ鼠族輸入防止規則ヲ稅關長及領事團ノ同意ニ依リ左ノ通定メ本日ヨリ施行ス

第一條ヘベスト流行地ヨリ來航スル船舶ハ自由交通ノ許可ヲ受ケタル後ト雖埠頭ニ繫留スルコトヲ得ス河中ニ碇泊シ防鼠ノ裝置ヲ爲セル船舶ニ依リ檢疫官吏ノ任命セル監督者ノ監視ノ下ニ晝間ニ限り荷役ヲ爲スコトヲ得
船舶ニシテ當港長又ハ發航地ニ於テ形當該檢疫官憲ノ燻蒸證明書ヲ提出スルニキハ左記ノ規定ニ依リ埠頭ニ繫留シ荷役ヲ爲スコトヲ得

- (一) 荷役ハ晝間ニ於テ之ヲ行フヘシ
 - (二) 日没後ハ荷役ヲ停止シ積口及船艙ヲ閉鎖シ艙門ト埠頭間ノ道板ハ之ヲ撤去ス
 - (三) 埠頭又ハ浮棧橋ニ維繫セル總テノ繩索ニハ港長ヲ認許セル形式ノ防鼠器ヲ裝置スヘシ
 - (四) 埠頭ト四呎以上ノ間隔ヲ保ツ爲適當ナル數個ノ防舷材ヲ置キ之ヲ埠頭ニ縛著ス
- 且テ本流行地ニ來航スル船舶ハ埠頭ニ於テ荷役ヲ爲シ得ル特許ヲ受クル爲燻蒸證
 明書ヲ提出セザルヘカラス該特許ヲ受クル爲燻蒸ハ左ノ通トス
- (一) 流行地ニ向フ出港前上海ニ於テ
 - (二) 流行地最終ノ寄港地ニ於テ
 - (三) 流行地ヨリ入港シ荷役ヲ開始セサル以前上海ニ於テ
- 第三條 鼠族隱匿又ハ鼠害ヲ受テ形跡アル貨物ハ之カ鼠族ヲ撲滅シ得ル場所ニ於
 テ開裝シ消毒ヲ施行シタル後ニアラザルハ陸揚スルコトヲ得ズ
- 二、左ノ告示ヲ公布シタル旨報告アリ
- (1) ベスト患者若ハ屍體發見者其ノ他行賞ノ件 (明治四十四年三月十五日 旅順民政署告示第十五號)

- 一般人民ニシテベスト患者若ハ屍體發見シ又ハ海陸交通遮斷線ヲ侵シテ上陸若ハ進
 入セシトスル者ヲ發見シ最先ニ當該官吏ニ申告シタル者ニハ金十圓以内ヲ賞與ス
- (2) 同上ノ件 (明治四十四年三月十六日 天連民政署告示第十九號)
- 六、一般人民ニシテベスト患者若ハ屍體ヲ發見シ又ハ海陸交通遮斷線ヲ侵シテ上陸若ハ進
 入セシトスル者若ハ其ノ場合ニ於テ最先ニ警察官吏又ハ防疫吏員ニ申告シタル者ニハ金
 十圓以内ヲ賞與ス
- (3) 同上ニ關スル舊告示廢止ノ件 (明治四十四年三月十六日 天連民政署告示第二十號)
- 明治四十四年三月告示第六號 (ベスト患者及屍體等發見ノ件) ハ之ヲ廢止ス
- 三、東清鐵道乗客檢疫施行方法ヲ左ノ通變更シタリ (三月十八日)
- 東清鐵道乗客ニ對スル我カ檢疫方法ハ從來當方ノ醫師露寬城子驛ニ出張シ同驛ニ於テ施
 行シ居リタルモ之ヲ見合セ長春驛ニ到着シタル際檢疫ヲ施行スルコト、シ三月十九日ヨ
 リ實行ス
- 四、歐洲直通旅客取扱ノ件ニ關係支部長ハ左ノ通牒ヲ發シタリ (三月十八日電報)
- 上海稅關長ヨリ左ノ電報アリタル旨大連稅關長ヨリ通知アリタリ ①歐洲ヨリノ旅客ニシ
 テ途中下車セザル旨大連檢疫官ヲ證明シ居ル者ハ大連ニ於テ五日間ヲ隔離ヲ要セス
- 五、陸軍委託患者入院料ノ件ニ關シ左ノ通決定シタリ

(1)大連支部長伺(明治四十四年三月十七日)

今回滿洲駐劄軍隊ノ交代ニ付軍隊カ大連到着ノ際傳染病ニ罹リ居ル場合ハ當地遼病院ニ收容セラレ度且又收容患者ニ對シテハ左記標準ノ料金ヲ陸軍ヨリ仕拂フベキ旨ノ交渉ヲ受ケ候處元來傳染病患者ハ一般人民ニ付テハ入院料等ヲ徴シ居ラサルヲ以テ前顯陸軍側ノ申出ニ係ル料金ヲ徴シ差支ナキヤ

將官一圓二十錢、上長官一圓、士官八十錢、下士以下六十錢

(2)防疫部經理課長回答(明治四十四年三月十九日)

三月十七日第五一七號照會陸軍委託患者入院料ノ件ハ陸軍ヨリ照會ノ通徴收相成可然

陸軍委託患者入院料ノ件ニ關シ別紙寫ノ通大連支部長ヨリ照會有之候ニ付陸軍ヨリ照會ノ通徴收可然旨回答致置候間此段及御通知候

六、停留所ニ於テ整理方御取計相成度ニ申出スル者ハ決定シ各支部長各出張所長ハ左ノ通牒ヲ發シタリ(明治四十四年三月二十日)

各停留所ニ於テ停留滿期ノ者ニ對シ證明書ヲ交付スル向ト否トサレ向テ其ノ取扱區々相成居ル哉ニ候處三等乘客ハ停留滿期後ト雖凡テ他ノ者ニ區別シ輸送スルヲ以テ證明書ヲ交付スル必要ナキニナラス却テ之ヲ他人ニ行使セシムル等ノ弊害ヲ生スヘキニ付右ニ對シテハ一切證明書ヲ交付セザルヨリ三御取扱相成度ニ付二等乘客等ニ對シテ停留ヲ經テ別者ニ之ヲ經サル者ト混乘セシムルヲ以テ識別ニ便ナラシムル爲證明書ヲ交付セラレ度尤モ此リ場合ニ於テモ前記ノ弊害ヲ生スルノ虞ナキニ非サレ以テ十分御取締相成度

當道隔離所ニ於ケル隔離者ノ隔離滿期ノ場合ニ於テモ本文同様御取扱相成度ニ付鐵嶺及長春ノ兩支部及開原、昌圖、四平街、公主嶺ノ各出張所管内へ出張中ノ佐藤庶務課長ハ三月十五日歸部本日當部ニ於テ各課長以下委員會合シ同課長ヨリ視察狀況ニ付開陳アリ終テ諸種ヲ打合ヲ爲シ三月廿八日

八、防疫部ニ於ケル職員ハ都督府又ハ滿鐵會社ヨリ兼務シテ發生以來數十日間本務ニ遠力以テ本務以テ溢滞ヲ來スルノ虞ナシトモ又一面ニ於テ近時「ベスト」病勢稍衰退シテ狀況アルヲ以テ此際本部ニ於ケル事務員ノ約三割ヲ減員シ以テ時局ニ適應スルノ必要アリ夫々減員ヲ實行セリ又各支部ノ職員ニ關シテ特ニ備入タルモノニシテ節約シ得ヘキ者ハ本月二十三日迄ニ整理スル旨其ノ方法ヲ開示シ夫々通牒シタリ(三月十七日)

五

中尚湖北貧民及苦力ノ收容續々ナル模様ナリ(三月十七日) 八、午前十時ヨリ交渉司ニ於テ日清防疫會議ヲ閉シ日本側ヨリ佐藤、久保田、小池ノ各委員清國側ヨリ張民政使、韓交渉使出席シ重要事項ヲ協議シ彼我ノ意見ヲ交換シ諸種ノ打合ヲ爲シタリ(三月十八日)

十一、旅順支部長ヨリ左ノ報告アリ(三月十六日發信)

(1)村落ニ於テ防疫監視所撤去ニ付(三月十六日發信) 八、曩及報告置タル沿岸及村落ノ防疫監視所配置中村落壯丁監視所石坎子、李家屯、臺子山麓、大陳家屯、程家屯ノ五箇所ハ最早陸上監視ノ必要ナキモノト認メ三月十五日限リ之ヲ撤去シタリ

(2)營城子ニ於ケル衛生狀態(同日)

當支部醫師松本瀨ヲシテ營城子ニ於ケル一般衛生狀態ヲ觀察セシメタルニ其ノ復命要領左ノ如シ(三月十五日復命)

イ、三月十三日營城子驛昇降苦力ノ健康診斷ヲ行ヒタルニ旅順行列車ニ乗車シタル苦力四名同列車ヨリ下車シタル苦力九名通過シタル苦力三十六名合計三十九名ニシテ總テ健康者ナリ又大連行列車ヨリ下車シタル苦力三名通過シタル苦力十七名合計二十名ニシテ是亦不健康者アルヲ認メス

三月十四日營城子村ノ健康診斷ヲ行ヒタル戸數十七戸人員百八名其ノ内感冒一、右下肢ノ外傷一、計三名ノ普通病者アルタルモ輕症ニシテ他ニ一ノ熱性患者アルヲ見スハ、營城子ハ農業者多ク他部落トシテ交通頻繁ナラス家屋内外及街路ノ清潔ハ支那部落トシテ稍完全ニ施行セラレ塵埃鬱積臭鼻ヲ衝クカ如キ昔日ノ影跡ヲ認メス各住民ハ鼠族ヲ驅除ニバ夫ヲ注意ヲ拂ハサルカ如キモ寢具衣服ヲ曝日室内換氣等ニハ稍注意シ又排水溝ヲ設ケ家屋内外ヲ濕潤ヲ防グ等要スルニ住民一般ニ衛生思想ノ稍向上セル傾向アルヲ認メ警察官吏ハ人民ヲ督メ除鼠及斃鼠ノ發見ヲ努メツトアルモ未ダ斃鼠ヲ發見シタルコトナシト云フ

十二、普蘭店出張所長ヨリ左ノ報告アリ(三月十七日) 當所檢疫醫ヲシテ中間驛ノ衛生狀態ヲ觀察セシメタルニ其ノ復命要領左ノ如シ(同日)

(1)石河驛ニ於ケル衛生狀態 石河驛ノ驛員及其ノ家族内地人七名清國人十七名ニ對シ健康診斷ヲ行ヒタルニ内地人驛員中慢性胃加答兒一名心臟辨膜病一名清國人驛中下ラホーム二名アテシテ他ハ皆健全ナリ 公衆待合所、便所、井戸等ノ設備及防疫措置ハ完全ト云フ能ハサルモ相當ニ行ハル居ルヲ見ル

ハ、捕鼠器十三個アリ開始以來捕獲シタルモノ二頭アリシノミ又鼯鼠ヲ發見セスト云フ
三、當驛ニ於ケル昇降人員ハ本年一月中乗車三百十八人降車二百八十八人アリシモ二月ハ交
通制限ノ結果著シク減少シテ乗車三十二人降車四十一人アリシニ過キス而シテ今日
至ル迄ニ是等旅客ニシテ發病シタルモノ又ハ行旅病者等アリシヲ聞カス衛生状態佳良
ニシテ何等懸念スベキ點ナシ

(2) 三十里堡驛ニ於ケル衛生状態

本驛員及其家族内地人二十七名清國火驛員中トヲホーム三名慢性胃加答兒一名
十二員中胃擴張一名慢性關節痲痺質斯一名清國火驛員中トヲホーム三名慢性胃加答兒一名
アリシノミ他ハ皆健全ナリ

ロ、公衆待合所、便所等ニハ相當ノ防疫措置ヲ施シテ飲料水ハ主トシテ給水場入水ヲ
使用シ居ルヲ以テ水質ハ検査セサルモ不良トハ認めズ
ハ、捕鼠器十五個ヲ配備シ居ルモ本日迄ニ僅ニ三頭ヲ捕獲シタルニ過キズ又鼯鼠ヲ發見
セスト云フ

ニ、當驛ノ乗降客ハ一月中乗車四百四十七人降車三百九十七人二月中乗車百八十八人降車
九十七人アリ此等旅客ニシテ發病シタルモノ又ハ行旅病者等ヲ發見セズ一般ニ衛生状
態佳良ナルヲ認ム

十三、龍子窩出張所ヨリ左ノ報告アリ

(1) 沿岸防疫状況週報(三月十七日)
三月九日ヨリ同月十五日迄ノ間ニ於テ入港又ハ寄港シタル船舶ノ數ハ合計九十八隻ニシ
テ内ニ一隻ハ安東縣ヨリ三隻ハ大連ヨリ三隻ハ上海ヨリ其ノ他ノ管内各地ヨリ入寄港シタ
ルモノ止メ以上以外内陸シタル人員ハ合計三百十一人ニシテ其ノ内十一人ハ萬一ヲ慮リ
消毒ヲ施行シタリ此等船舶ニ依リ輸入陸揚シタル貨物ハ海蟹、焚火、洋面、綿花、石
油、綿布、砂糖、白米、燐寸、蠟等ヲ主要ナルモノトス本週間ニ於テ不健康者ト認めル
モノハ

(2) 沿岸巡邏船備上ノ件(三月十八日)

龍子窩監視所ニ於テハ沿岸取締ノ爲我克船(三十石積外ニ小艇一艘)一隻ヲ備上ケ之ニ巡查巡
捕各一名宛ヲ乘込マシメ絶ヘテ沿海ニ巡邏シ停船及寄泊中ノ船舶ヲ監視セシムルコト
シ三月末迄日滿リ實行シタリ
十四、遼陽支部長ヨリ左ノ報告アリ
(1) 中間驛ニ於ケル衛生状態(三月十七日)
當支部檢疫醫ヲシテ中間驛ニ衛生状態ヲ視察セシメタルニ其ノ復命要領左ノ如シ
イ、出般衛生状態

立山驛附近前立山屯及沙河驛附近亂木屯ニ「ベスト」發生以來兩驛ハ勿論他ノ驛ニ於テ
 當モ驛員及居住日清人共附近部落ニ往復ヲ避ケ野菜其ノ他ノ日用品等ハ一定ノ雜貨商
 人(前)供給ヲ受テ病毒侵入ヲ機ヲ避ケル等各人ニ於テ注意シ驛長ハ主トシテ部内ノ衛
 生注意留意シ少シニテモ疑ハシキ者アルトキハ検査醫ノ派遣ヲ要求スル有様ニシテ一
 般衛生状態極メテ良好ナリ尙數日前ヨリ大豆其ノ他ノ出荷ヲ取扱フコト、ナリタル趣
 別サレテ以テ部落ヨリ出入苦力ニ對シテハ二層視察ヲ嚴ニスル様注意ヲ與ヘ置キタ
 口、健康診斷ニ關シテハ、
 驛員及居住日清人並中間保線宿舍ノ苦力等ニシテ業務ニ差支ナキ限リ多數ノ健康診斷
 行ヒタル其數左ノ如シ
 沙河驛十七人、烟臺驛十七人、張臺子驛十五人、鞍山站驛三十九人、前立山屯驛三
 十九人、馬伊屯驛十五人、合計百四十三人
 右ニ對シテハ觸診ヲ行ヒタルモ一ノ不健者ナク各驛共集合セシ苦力等ニ對シ係員ヲシ
 二、三度以上豫防上ノ注意ヲ喚起セシムル様ノ訓示ヲ爲サシ且行旅病者又ハ附近ニ疑
 ハシキ死亡者等ヲ察知ルルトキハ急速ニ防疫員又ハ支部ニ申告スルコトヲ意ラサル様注
 意置キタル事ナリ

(2) 扁担溝(マダト) 狀況報告(三月十九日)
 遼陽ヲ距ル六十五清里ノ東北煙臺炭坑ヨリ西南方四里餘ノ本溪湖ニ接近スル扁担溝ニ稱
 スル部落ニ本月九日及十、十一、十二三日間ニ疑ハシキ死亡者九名アリタル趣キ、前カ
 其ノ狀況ヲ左ニ述ベル
 一、扁担溝ノ戸數三十八、人口三百三十一、一小部落ニシテ部民ハ本溪湖及尾明山炭坑ニ往來
 十六シ居、則シ本月七日日本溪湖方面ヨリ歸來シタリト云フ趙永安二十四年ナル者翌九日死
 亡シシ引續キ十三、十四ノ兩日ニ其ノ家族六名死亡シ十二歳ノ小兒一名殘存シ同家ト同
 一棟ヲ爲孟盛有方ニ家族六名中三名死亡セリト其ノ病名死因不明ナルモ清國官憲ハ
 疑ハシキニ疑ハシキニ左ノ處置ヲ爲セリ
 (a) 右九名死亡セタル旨同地駐在ノ巡警ヨリ報告ヲ得タル清國官憲ハ直ニ係員ヲ派シテ患
 (b) 家ヲ消毒、家族ノ隔離ヲ行ヒ尙病毒傳播ノ虞アリトナシ患家ヲ燒却シ屍體ハ地下深ク
 (c) 埋没、部落全部ノ交通遮斷ヲ行ヒ日々檢病調査ヲ行ヒ居レリ
 (d) 同地ノ尾明山炭坑ニ接近シ居レルカ同炭坑ハ清國政府ノ經營スル所ニシテ日々千五
 百餘名ノ苦力ヲ使役シ居リ或ハ同炭坑ニモ疑ハシキ患者又ハ死亡者ヲ發生シ居ルヤモ
 警備隊員及清國官憲ハ密偵ヲ派シ調査中ナリ
 十尙ホ詳細ニ調査中ニ付追テ後報ス

十五、奉天支部長ヨリ左ノ報告アリ

移住清國貧民ヲ南清ニ後送スル爲清國官憲ノ依頼ニ依リ奉天停留所ニ收容シタル人員左ノ如シ

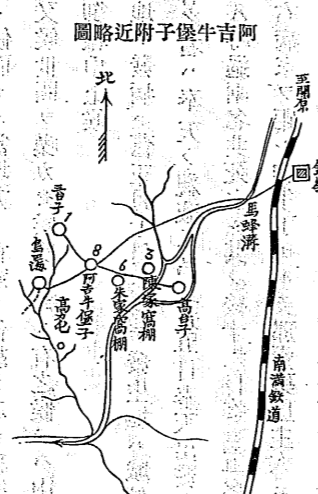
- (1) 三月十七日九十九人内男五十七人(内小兒)女四十二人(内小兒)
 - (2) 同月同日五十人内男三十八人女三十二人
 - (3) 三月十八日六十人内男三十七人女二十三
 - (4) 三月十九日六十人内男三十八人女三十二人
- 以上ノ何レモ清國官憲ニ於テ附屬地境界ニ送付シ來リシヲ以テ隔課員及警察官吏立會ノ上之ヲ受領シ檢疫醫ヲシテ健康診斷ヲ行ハシメタルニ何レモ健康者アリシヲ以テ直ニ停留所ニ送致シ規定ノ消毒ヲ爲シ夫々收容ヲ了シタル
- 十六、撫順炭坑ヨリ防疫上ニ關シ左ノ報告アリ
- (1) 大山坑苦力ノ動靜(三月十八日)
- 午前八時三十分大山坑苦力百餘名ハ連合シテ同坑交通遮斷監視線ヲ侵シ鐵道線路ニ出テ現レ隔離所ニ收容セラレ居ル朋友ヲ奪取セシト聲言シツ、西ニ向テ進ミ來ルニテ情報ヲ察知シテ時ヲ移サズ阪口炭坑長代理以下鎮撫ヲ爲同坑ハ出張シタリ其ノ顛末左ノ如シ
- 大山坑ニ集合セル苦力約七十名ニ團トナリテ隔離所方面ニ向ヒ進行シ來ルノ疑アル

ヲ以テ直ニ四方ヲ警戒シ其ノ散亂ヲ防キ一方「ベスト」豫防ノ必要事ヲ説示シ百方鎮撫ニ勉メタル結果漸ク納得シテ宿舍ニ復歸シタル

今ヤ大山坑苦力ヲ斯ク無法ノ舉動ニ出タル原因ヲ探ヌルニ從來同坑ニ於ケルニハ、發生家屋ノ同宿者ヲ總テ隔離所ニ收容シツツアルハ彼等仲間ニ於テ大ニ不安ノ念ヲ懷キ萬一隔離所ニ收容セラレ時其ノ待遇非常ニ苛酷ニシテ且テ食物等モ十分ニ供セラレザルニ依リ餓死ヲ待ツノ外ナク故ニ一度收容シ憂目ヲ見ル時ハ再ヒ生還ヲ期セズトシ流言ヲ信シ居タリ然ルニ十七日同坑第十七棟苦力宿舍ニ楊作福ナルモノ發熱シ容態疑ハシキヲ以テ念以爲假收容所(大山坑)ニ一時的假設ノモノニ收容シタルヲ彼等苦力ハ「圖」ニ括收容セラレモ、早斷シ終ニ連合シテ收容ニ反抗シ且ツ收容中ニ友大ヲ奪出セシト企テタルモノ、然ルニ彼等苦力力無根ノ流言ニ迷ヒ斯ノ如キ舉動ニ出ツルニ全ク隔離所内ニ於ケル實際ノ狀況ヲ知ラサルヨリ事ノ茲ニ至リタルモノナレハ彼等ヲシテ隔離所ノ實況ヲ視セシムルハ此ノ際最モ必要ナルヲ以テ彼等ノ内ヨリ重ナルモノ五人ヲ選ビ之ヲ總代ト爲シ直ニ收容所ニ案内シ内部ノ模様取扱ノ順序等ヲ實見セシメタルニ從來ノ疑念全ク氷解シ却テ其ノ待遇ノ丁寧ナルニ一驚ヲ喫シタル模様ナリ於是「ベスト」流行ヲ恐ルベキト及隔離所ノ性質ヲ使用苦力ニ會得セシムルハ此ノ際孰ルヘキ最急務ナルヲ思ヒ劉通譯ヲシテ毎日各苦力宿舍ヲ巡回シ大略左ノ

六
 畜届出テ其ノ者ト接觸セザル様ニスルトモハ病毒ニ感傳スルコトナシ
 凡ハ炭坑ハ各苦力ノ人命ヲ保護スル爲長柵ヲ設ケテ村落トノ交通ヲ斷テ宿舍ニ監視人
 ヲ配置シテ苦力ノ外出ヲ禁止スルモノナリ各各自其趣旨ヲ會得シ徒ヲニ外出ヲ爲ス
 其速勿レト幸モ思フ
 又炭坑ハ又隔離室ヲ設ケテ病人ト接觸シタル恐レアルモノナリ之ニ容レ十分ノ豫防消
 毒法爲シ毒モ不自由ナキ様飲食物ヲ與ヘ人命ヲ保護スルモノナレハ此趣旨ヲ誤解ス
 主ヘ炭坑ノ衛生ヲ維持スルニ在リ
 又炭坑ハ又患者收容所ヲ設ケテ鼠疫ニ罹リタル患者ハ此ニ收容シ醫師ヲ派遣シテ懇
 切ニ世話スルモ以テ之ヲ誤解スヘカラス
 又炭坑ノ要スルニ鼠疫ハ人ト呼吸氣ヲ猛烈ニ傳染スルモノナレハ病毒ノ流行スル處ノ
 土地トテ交通ニ極メテ危険ナリ又人ト談話スルニ當リテモ呼吸器ニテ鼻ヲ掩
 ヒテ火ト呼吸氣ヲ吸入セザル様スヘカラス又人ト臥スルニモ枕ヲ駢ヘテ他人ノ呼吸氣ヲ吸入
 ホセテ注意セザル様スヘカラス
 又炭坑中若シ疑ハシキ患者アラハ之ヲ役員ニ届出テ速カニ之ヲ收容所ニ移スヲ要ス
 然ラバ以テ同宿ノモノ悉ク病氣ニ感傳シ忽チ斃死ノ不幸ヲ見ルニ至ルベシトシテ患
 者ト以テ切切違背スル勿レトシテ
 撫 順 炭 坑

十七、鐵嶺支部長ヨリ左ノ報告アリ
 (1)阿吉牛堡子附近「ベスト」發生狀況(三月十五日發信)
 鐵嶺城西南六十清里法庫門廳界ナル阿吉牛堡子ニ於テハ清曆二月上旬法庫門ヨリ來レル
 旅客ニ發生シ漸次傳播シ二月十三日迄ニ八名ノ發生死亡アリ又三臺子(阿吉牛堡子ヨリ
 北八清里)一名朱家窩棚(同上ヨリ東六清里)六名陳家窩棚(同上ヨリ東十清里)三名烏巴海
 (同上ヨリ西八清里)一名ノ「ベスト」患者發生シタリト云フ(日本人行商者ノ調査シテ於
 テ)



二七

前署扱テ昨年来流行ノ鼠疫モ漸ク下火ト相成ヤレト思フ今日却テ當方面ハホツク
流行ヲ促シ來リ候而ルニ當地方ノ官憲ハ何故カ之ヲ秘密ニ葬リ切角今日ノ處迄防疫ノ効
果ヲ占メ候ニ又候世間ヲ噪カセ候様ノコト有之候テハ由々敷大事ト存シ充分精査シテ得
タル事實左ニ御報申上候

一八

第一拘鹿 當地ノ發病ハ舊正月七日ニシテ發生地ハ城外澡堂胡同中程ナル王姓(脚帶子
製造業)ニ有之右ハ奉天ノ親戚三名正月五日奉天出發七日夜拘鹿ニ着シ直ニ頭痛ヲ感
シ九日午前八時過兩名共死亡シ其ノ後十六日迄ニ五名ヲ斃シ一家全滅致候モノニ有之
候夫レヨリ右病家ヲ距ル約半丁ナル支那賣藥屋主人ニ傳染シ十九日遂ニ其ノ内ノ二名
ヲ斃シ二十日又半丁ヲ去ル造化業主人ニ傳染死亡同居人温明山ナルモノヲ斃セリ故
ニ此ノ徑路タル何人モ推知スルニ苦マサル所王姓ハ奉天ヨリ來リ直ニ發病其ノ後數人
ヲ斃シ賣藥屋主人ハ必ス投藥ノ爲見舞タルモノヲ造花業主人ハ埋葬ニ要スル造花ヲ持行
キ種々世話ヲ爲シタル爲傳染セルモノト被存候其ノ後右造花店ノ向ヒ雜貨屋ニ傳染シ
テ二名ヲ斃シ尙此ノ方面ニ於テ數名ヲ斃セシ事實有之候

第二附近村落 附近ノ村落ニ於テハ平崗ノ石人溝、大牛河、小牛河、愛石溝、大青陽、
神樹其ノ他ノ地方ニシテ内大牛河以下ハ開原ヨリ來リタルモノト認メラル昨夜大牛河
ト小牛河トニテ小生ノ知レルモノ丈ニテモ三十一名死亡致候尙猖獗ニシテ殆ト全般ニ

涉リ居ル由平崗、石人溝ハ寬城子方面ヨリ來リ候モノト思ハレ今日ノ處西安縣及同地
西北ハ非常ナルモノニ有之候平崗ト拘鹿トノ中間大平嶺麓ニ三軒ノ馬車店アリ昨夜入
名斃シ餘ハ何レヘカ逃走セル爲屍體ハ其儘ト相成居候一人ノ屍體ヲ持出スニ二十圓ノ
賞金ヲ以テスルモ之ニ應スルモノナク防疫當事者非常ノ困難ナリ旨實見者ノ言嘯事ニ
ハ無之鬼ニ角今回ノ流行ハ今迄ト違ヒ其ノ勢タルヤ實ニ猛烈ナルモノニ御座候
更ニ戒心スヘキハ拘鹿城內南門下宿屋二十人一夜全滅ノ事ニ御座候本件ハ既ニ當地
警官ニモ目撃セラレ候事故已ニ御報告有之候事ト存候唯困タコトニハ支那官憲ノ頭ニ
テハ之ハ天意ノ致ス所位ニシカ思ヒ居ラシ交通遮斷處カ既ニ同宿シタルモノヲ以テ諸方
ニ逃テ隠レ居ルモノ向ニ取締ルコトモ不致益々病毒ヲ傳播スルノミニ御座候
今ヤ各方面共大ニ下火ト相成候今日一寸ノ油斷ニ又々恐ルヘキ病毒ヲ傳播スル様ノ
コトアラサテハ夫レレノ一大事ト存シ他方面ハ知ラズ當方面ノ交通者ハ充分開原ニ於テ
調査取締ルコト今日ノ場合非常ノ緊要事ト存候(後略)

十八、開原出張所長ヨリ左ノ報告アリ(三月十七日)

當出張所檢疫醫ヲシテ金溝子及中固ノ兩驛ニ於ケル衛生状態ヲ視察セシメタルニ其概況
左ノ如シ

イ、三月十六日中固驛ノ衛生状態ヲ視察ス同地ハ驛長ニ於テ充分注意シ苦力等ノ宿舍ハ

一九

之ヲ清潔ニセシメ時々消毒の清潔法ヲ行ヒ居ル爲別ニ異狀ヲ認メス日本人男子名五名支那人男十七名合計三十二名ニ對シ健康診斷ヲ行ヒタルニ何レモ健康者ニシテ患者ナシ又乗降客ハ近來皆無ニシテ他ヨリ病毒ヲ輸入スル等ノコトナシ

一〇、同月同日金溝子驛ニ到リ視察スルニ之レ亦中固驛ト大差ナク日本人男八名女九名支那人男九名合計三十七名ノ健康診斷ヲ行ヒタルニ患者ナシ其ノ衛生狀態ニ就キ憂フヘキ點ヲ發見セズ

一八、昌圖出張所長ヨリ左ノ報告アリ

(1)附近ニ於ケル「ベスト」患者(三月十五日)

三月六日以降同月十三日ニ至ル間ニ於テ當所管内附近ニ於ケル疑似「ベスト」患者ノ狀況ヲ調査スルニ漸次減退シツツアルモノノ如ク此少期間ニ於テ金家屯ニ七名寶力屯ニ十二名通江口ニ六名計五十二名ヲ出シタルニ過キス

(2)附近ニ於ケル「ベスト」患者調(三月十五日)

當所管内附近ニ於ケル各地ノ初發以來三月十二日迄ノ患者數ヲ清國防疫所ニ就キ調査シタルニ左ノ如シ

地名 初發月日 患者數 昌圖城ヨリ方位及ヒ里程(清里)

興隆溝 一月六日 三 北東十五里

昌圖城内 一月十七日 三八 北東十五里

八面城 一月十七日 八二 北百十里

馬莊千聖臺 一月二十三日 九一 北微東五十五里

監 一月二十六日 九一 北微東五十五里

金家屯 一月二十七日 七四 西北五十里

舊四平街 一月三十一日 五四 北百十里

通江口 二月三日 二七 西南方七十里

大窪 二月三日 一一 北九十里

三道溝 二月六日 一三 東二十里

寶力屯 二月十日 二一 西北五十里

亮中橋 三月十一日 九 西南二十五里

十九年公主嶺出張所長ヨリ左ノ報告アリ

當所防疫醫ヨリ中間驛ニ於ケル健康狀態ヲ調査セシタルニ其ノ復命要領左ノ如シ

(1)郭家店驛ニ於ケル狀況(三月十六日調査)

郭家店ノ戸數七十六戸内日本人五十三戸現住人口三百九十六人内日本人六十六人支那人

三百三十六外三守備隊若干員アリ日本人主トシテ鐵道線路ノ北高地ニ支那人及少數ノ日本人線路ノ南低地ニ居住シ其ノ多クハ穀物運送業者ナリ而シテ昨今雪解ケ期ナルヲ以テ南低地ノ如キ道路泥濘且不潔ニ箇所アリ北高地ハ排水良好ニシテ不潔ヲラス本年今月中日本人驛員一名普通病死者ヲ出シテ又同月二十七日附屬地ニ接續ノ支那町ニ於テ驛ニ出入スル苦力一名「ベスト」ノ爲斃レタル外附屬地内及附近共患者ナク唯目下二名ノ普通病者アルヲミ此ノ地ニ於ケル防疫措置トシテハ左ノ方法ヲ實施シ居レリ

イ、支那人乗客ノ制限
 大驛長ニ於テ健康者ト認ムルモトシテ乗車セシム爲ニ目下六日平均支那人三四名日本人一、二名タルニ過キス

ハ、同檢病調査
 警察官吏ニ於テ毎日二回附屬地内一般ニ對シ檢病的戶口調査ヲ行ヒツツアリ

ニ、捕鼠
 捕鼠器三十個ヲ配給シ不足分ハ各自ヲ購求セシメテ捕鼠ヲ獎勵シツツアルヲ見ルハ而シテ毎日三四頭ヲ捕獲シ居レリ

ホ、排水
 驛使用ノ苦力四十五名ニ對シ健康診斷ヲ行ヒタルニ異狀ハ必要ニ當驛ニ於テハ南方低地ヲ排水ヲ便ナラシメ捕鼠器ヲ増給セハヨリ以上ニ好結果ヲ示シ得ヘシト思料ス

(2) 大榆樹驛ニ於ケル狀況(三月十七日調査)

大榆樹ニハ戸數六戸内日本人一戸現住人口三十三人内日本人十五人アリ此ノ地及附近ノ部落ニ於テハ「ベスト」患者ヲ發生シタルコトハ居住民ニ對シ健康診斷ヲ行ヒタルニ患者ヲ見ス各戸ニハ猫一頭宛ヲ飼養シアルカ爲鼠ヲ見スト云フ此ノ驛ノ乗降客ハ一日平均一名位ナリト云フ要スルニ衛生狀態ニ就キ懸念スヘキ點アルヲ見ス

二十、長春支部長ヨリ左ノ報告アリ

(1) 「ベスト」死亡者隱蔽ニ關スル件(三月十四日發信)

長春城内北大街質屋燒酒釀造及吳服販賣等ヲ營公、升合ニ於テハ全店員三百五十有餘名中本年一月以降「ベスト」死亡者九十餘名以多數ヲ出シ屍體ニ常ニ夜間竊奪他運搬遺棄シ深ク秘密ニ付シ居リシカ一昨九日屋内穴藏内ニ二十個近クノ屍體アルヲ清國官憲ニ於テ發見セラレ遂ニ隱蔽事實發覺シ家主ハ即時巡警局署拘引セラレテ送テ云フ

(2) 捕鼠勤務ノ狀況(三月十五日)

イ、二月三日捕鼠係トシテ事務員水江七郎ヨリ捕鼠器百五十個ヲ引續キ外ハ滿鐵經理係ヨリ同器一千個ヲ受取リ之ヲ當附屬地全部ニ配付シ該地ヲ三區ニ分チ人夫三名ヲ指揮シ日々餌ヲ取換ヘ捕鼠ヲ獎勵ニ勉メタリ餌ハ肉片、揚豆腐、麥粉團子ヲ用ヒ餌、糞口、捕鼠ノ目的ヲ達スルニハ防鼠工事ヲ爲スノ必要アリ故ニ模範的ニ滿鐵會社社宅百

ニ傳ヘ道臺ハ何長春知府ニ指示協議シ順次左ノ如ク措置セリ

一、防疫院ノ施設
長春馬號門外ニ官立醫院内ニ防疫院ヲ設立シ以テ是以隔離所並疫病院トシ兼テ該院内ニ臨時診察室ヲ設ケ月七日ヨリ其ノ當日吉林巡撫ハ急行長春ニ來リ開設ノ準備上ニ付夫々指示ヲ與フルトコロアリテ翌八日哈爾濱ニ向ヘ同巡撫ノ來長防疫院ヲ設備ヲ稍整頓セシメタリ其ノ狀況左ノ如ク

防疫院 收容所 建物六棟ヨリ成リ正平室ヲ有ス收容人員三百名ニシテ其ノ内重病室 建物二棟ヨリ成リ正室ヲ有ス收容人員二百名ニシテ其ノ内口、雜業禁止及住民ノ追放

一月十八日午後ヨリ病勢猖獗ヲ現ハシ來ルタルヲ以テ清國官憲ハ料理店、妓館、茶屋露店、理髮商人ノ營業ヲ禁止シ旅館ニ對シテハ日日ノ來客ヲ巡警局ニ届出テシメ嚴重消毒ヲ爲サシメ又北門外一帶ノ住民ハ悉ク長春四郷中ノ五乃至五十五清里ノ村落ニ放逐的收容ヲ實行シ巡警等ヲシテ其ノ收容村落ヲ封鎖シ外部ノ交通ヲ禁止シ悉ク此ノ放逐人員約千五百餘名ヲ送リテ云々ハ、徒步南下者ヲ阻止及馬號門外防疫院及全體ノ交通遮斷ニ當リ南滿、東清兩鐵道ニ於テ苦力輸送ヲ中止シテ以來一月十八日迄徒步南下者ヲ阻止

スル目的ヲ以テ城郷巡警ヲ長春ヨリ南方ニ通スル要路ニ派遣シ之カ交通ヲ禁止セリ次テ二十日ヨリ至リ馬號門外防疫院附近一帶ハ斃死者續出シテ危險極マリナキヲ以テ清國人民ノ其ノ附近通行ヲ禁止シ其ノ後更ニ長春城ノ交通遮斷ヲ實行スルニ至レリ此ノ當時ニ於テハ萬事匆卒ノ際ニテ清國側ノ防疫施設如何ハ大ニ懸念セラレ人ヲシテ長春城疫病流行ノ前途ニ對シ多ク不安ヲ懷カシ一月下旬ニ至リ現孟道臺着任後着々防疫方法ヲ講究施設シ目下ニ於テハ左ノ諸機關ニ據リテ活動シ居レリ

二、防疫機關
(稽)長春防疫總局

總辦 總辦局中一切ノ職員ヲ指揮監督シ局外ニ對シ一切ノ責任ニ任ス
總醫官 防疫從事ノ醫官一切ヲ指揮監督シ總辦ニ代ハリテ之ヲ指揮スルコトアリ
會辦 總辦ヲ補佐シテ局中一切ノ事務ヲ辦理ス
提調 照會、庶務ヲ會計其ノ他局切ノ雜務從事員ヲ監督シ國人醫藥ノ檢査會同
稽查員 防疫上ニ關スル諸調査ヲ行ヒ之ヲ報告ス
(稽)總局ノ下ニ更ニ左ノ六分局ヲ置ク

- 城內二區防疫分局
- 城內三區防疫分局

城內三區四區防疫分局

城內五區防疫分局

商埠一區防疫分局

商埠二區防疫分局

右以外區道溝東清鐵道附屬地内ニハ露國領事ヲ承認シ經テ專ラ清國人檢疫ノ爲一分局

ヲ設置シテ各該區内ニ於テ檢疫ノ事務ヲ掌シ

各防疫分局ニ於テ職員ヲ置シテ各該區内ニ於テ檢疫ノ事務ヲ掌シ

醫師一名 藥劑員一名 事務員一名

藥劑員三名

事務員三名

救急隊長一名 救急隊三組 一組三名ヲ以テ組織ス

消毒隊長一名 消毒隊五組 一組三名ヲ以テ組織ス

掩埋隊長一名 掩埋隊三組 一組四名ヲ以テ組織ス

衛生巡長一名 巡警三名

長春疫症院

醫師若干名 藥劑員一名 事務員三名

救急隊長一名 隊員九名

消毒隊長一名 隊員十名

掩埋隊長一名 隊員二十八名

看護長一名 看護夫三十名 看護夫三名

巡長三名 巡兵二十名

疑似病院

醫官一名 藥劑員一名 事務員三名

巡長一名 巡警三名

看護長一名 看護夫六名

隔離所

西門甲號隔離所 西門外第五區ニ在リ

西門乙號隔離所 同、同上

南門甲號隔離所 南門外ニ在リ

南門乙號隔離所 同、同上

東門甲號隔離所 東門外ニ在リ

東門乙號隔離所 同、同上

商埠甲號隔離所 北門外ニ在リ

商埠乙號隔離所 商埠馬路西ニ在リ

各隔離所ハ二百乃至三百名ヲ收容シ得ル設備ニシテ其ノ從事員ハ左ノ如シ
 所長一名 醫官一名 藥劑員一名 事務員二名 看護夫若干 衛生巡警二名

(六)留驗所(檢疫所類似ノモノ)

燒鍋店留驗所

長春ノ西北七十清里ノ地點

小城子留驗所

長春ノ東方三十清里ノ地點

太平山留驗所

長春ノ東北方三十五清里ノ地點

十里堡留驗所

長春ノ南方十清里ノ地點

(七)貧民留養所

白子溝留養所

長春ノ東北二十五清里ノ地點

之レハ長春附近ニ放浪スル貧民ヲ危險分子ト認メ目下城内ニ置クヲ不便トスルニヨリ
 特ニ田舎ニ設ケタルモシニシテ隔離所トハ趣ヲ異ニス

以上ノ諸機關ハ熱心ナル孟道臺ノ指揮監督ニ依リ比較的稍完全ニ行ハレ殊ニ消毒隊ノ活動ハ城内外共吾カ防疫部ヨリ派遣セル消毒隊指導ノ下ニ支那側消毒隊三千名ヲ六班ニ分チ每班三四名ノ日本側消毒隊員ヲ加ヘテ一隊ト爲シ患者及患者ニ對スル完全ナル消毒ヲ爲シ埋葬隊ハ屍體ヲ老虎溝(長春ノ西方六清里ノ地點)ニ集メ三日乃至四日毎ニ火葬ニ附

シツツアル目下ノ狀況ナルニヨリ今後當局ノ注意ニ油斷テク諸機關力活動ハ餘リニ悲觀スルニ足ラスト思料セラル

(4)清國側消毒班作業成績(三月十八日)

清國側補助消毒班ノ作業成績左表ノ如シ

施行月日	施行場所	消毒戸數	患者數	死者數	藥費	消毒費	灰費	煤費	日本側清國側	備考
二月二十五日	長春 春樂屯	四	戶二十二	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
二月廿六日	同	七	戶三十八	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
二月廿七日	同	十	戶三十七	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
二月廿八日	同	止	戶二十四	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月一日	同	十八	戶三十二	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月二日	同	七	戶三十二	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月三日	同	二	棟手人	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月四日	同	二	棟手人	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月五日	同	二	棟手人	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月六日	同	二	棟手人	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月七日	同	二	棟手人	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月八日	同	二	棟手人	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月九日	同	二	棟手人	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月十日	同	二	棟手人	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性
三月十一日	同	二	棟手人	八	五	磅二	二	三	三	鶏ノ屍一個ヲ發見檢鏡ノ結果陰性

111

意以存スル所以該物品ト共ニ速ニ此ヲ同班ニ轉達可致候尙ホ橋本ハ昨日奉天ニ赴キ一
 兩日中ニ歸長可致候間同大歸長ト止ム更ニ同大歸長ニ布謝可致ト存候右回答得貴意候
 明治四十四年三月十四日 松原支部長 敬具

(自録ハ前同様に附畧之)

(①東清鐵道沿線遺棄屍體掃除ノ件(三月二十日))

東清鐵道沿線ニ於ケル疫死者遺棄屍體掃除ノ目的ヲ以テ露國側ト吉林交涉局トノ間ニ左
 ノ如キ方法ニ依リ掃除ニ着手セリト云フ

露ニ「イルツツ」ニ於テ開催セラレタル露國防疫會議及東清鐵道長官ホルワツトト將
 軍新設黑龍總督「ゴング」兩氏會議ノ結果解氷期ニ際シ再ヒ「ベスト」ノ再燃豫防ノ
 爲鐵道沿線各方面ニ遺棄サレ居ル屍體燒棄處分ヲ清國官憲ニ交渉シ蒐集班ヲ編成セ
 イ、班ヲ編成

班A B C以班ヲ編成シA班ハ西路即チ哈爾濱滿洲里間B班ハ東路即チ哈爾濱「ボク
 ラ」間C班ハ南路即チ哈爾濱寬城子間ト部署ヲ定メ三月二十五日ヨリ各班相

前後シテ各其ノ任務ニ服セリ

班ノ組織ハ大體同官憲ト交渉シ、

班ハ役員乗用車、糧食消毒材料、燒棄材及包厨具用車、馬匹專用車ヲ三輛ヲ以テ組織
 役員乗用車ハ二等寢臺車ヲ以テ之ニ宛テ其ノ他ハ貨車ヲ以テ之ニ充ツ

南路班ノ行動

南路班ハ二月二十五日哈爾濱ヲ發シ線路ヲ中心トシ左右半露里(一露里ハ我九町四十
 間餘)間ヲ搜索シ南下セシモ積雪深ク且寒威凜烈ニテ豫定ノ行動ヲ妨ケラレシト
 恨多ク二十三日間非常ノ困難ヲ嘗シ漸ク三月十八日寬城子ニ到着シ今明兩日當地方ノ狀
 況視察ヲ遂ケ更ニ搜索漏レシ箇所及積雪ヲ爲目的ヲ遂ゲ得サリシ箇所ヲ經三月二十二
 日朝發約二十間ヲ豫定シテ哈爾濱ニ歸着シ答サリト云フ

南路班カ前記二十三日間ニ發見セシ屍體數ハ六十七個ニシテ此等ハ悉ク燒棄セシガ屍
 體ハ多ク野犬豚等ニ嚙レ慘憺タル光景ナリシト云フ

南路班以役員其ノ他

東清鐵道交涉局員 顯(清國人)

吉林鐵路交涉局員 顯(清國人)

東清鐵道醫員 名(露國人)

哈爾濱防疫局醫員 一 名清國人

通譯 一名、寫真師一名、厨夫一名、僕三名、
清國兵(乘馬兵)五名、露國兵(乘馬兵)四名(露國人)
乗用及駄用馬匹二十頭

二十一日、安東支部長ヨリ左ノ報告アリ(三月十五日)

當地ニ於ケル防疫狀況ハ關シテハ既ニ屢次報告ニ及ビ各ル次第ニテ列車ニ對スル取締
ハ清國人タル旅客ニ制限ヲ加ヘ嚴重ナル汽車檢疫ヲ施行シ居レリ徒歩南下者ニ對スル取
締ハ清國官憲ニ於テ實施シ專ラ視察中ナリモ是レ又寧日嚴ニ過クモ觀アル迄ニ取締リ
居レハ此ノ方面ニ於ケル病毒ハ先ヅ完全ニ防禦シ得ル態ニ至リ得ルモ得ルモ今後最
モ懸念ニ構ヘタルハ解氷後ニ於ケル水上防疫ノ實施如何ニ在リ御承知ノ如ク芝罘方面ハ
未タ終熄セス然ルニ解氷後我克船等ニ依リテ同地方ヨリ當地ニ輸入スル旅客貨物毎
年ノ例ニ徴スレハ實ニ夥シキモノナルコトハ想像スルニ難カラス既ニ旬日ヲ出テスシテ此
等船舶ノ輸入頻繁トナリテ解氷期ニ達スルニ至リ折角陸上防疫ノ措置宜シキヲ得
病毒ノ侵入ヲ免ルルハ當地方面ニ於テハ亦甚ク其ノ侵入ヲ蒙ルル如キトシテ陸上防疫
遺憾ニ次第ニ屢次清國官憲ト交渉ヲ重クタル結果同國官憲ニ於テモ水上防疫ノ忽諸ニ
付諸シテ能ク其ノ承認ヲ當地下流約十里ナル大東溝ニ隔離所ヲ設置シ船舶ニ依ル旅客

ハ一定期間收容シタルモノニ非サレハ來安スルコトヲ得サラシムルコトトシ目下頻リニ
其設備ヲ取掛所居レハ此ノ設備ニ於テ完成キル以上ハ水上ヨリノ病毒侵入モ稍々完全ニ
防禦スルモノトヲ得ヘタト認メ大東溝、太孤山方面ニ於ケル清國防疫狀況目下視察員ヲ
派シ取調中ニ付追テ報告可致候ニ付其日開留置ノ上嚴密ニ監視シテ完全ニ
御指定ニ基テ當地ニ道溝ニ建築シツツアル隔離所自下頻シ工ヲ急キ殆ト六分通リ竣
工シ本月三十日迄ニ完全部ノ竣工ヲ見ル豫定ナリ且内部細部分ノ工事完了ハ本月盡日頃
御慰料ヲ交シテ歸國ハ出立候ニ期スルニ至リ而シテ昨日ヨリ開港ニ來ル官員
二十二日、朝鮮總督府警務總長ヨリ左ノ通報アリ

二十二日、(1)檢疫事務開始ニ付(三月十五日發傳)ニ關シテ(三月十八日發傳)
本日咸北警務部長ヨリ左ノ電報アリ(三月十八日發傳)ニ關シテ(三月十八日發傳)

慶源ノ防疫診斷所設備終ル本日事務開始ス(2)會審ニ於テハ稅關檢疫所工事竣ルニ尙
日予ヲ要スルヲ以テ當部員與交涉ノ結果假リ、民家ヲ借入レ十六日、是日、檢疫事務ヲ開
始シ、(3)捕鼠懸賞抽籤ニ付(三月十七日發傳)ニ關シテ(三月十八日發傳)

三月十四日、平壤警察署ニ於テハ捕鼠五頭ヲ達シタルヲ以テ日鮮人多數參觀ノ上之カ懸
賞ノ抽籤ヲ執行シ、其ノ結果左ノ如ク、(四)警務廳(三月十八日發傳)

一等拾圓一本、二等五圓二本、參等參圓二本、四等壹圓三十二本
右ノ内一等及四等二本ハ日人ニ當籤シ他ハ總テ鮮人ニ當籤シタリ

(3) 新義州驛發客車内消毒一部廢止ノ件(三月十七日發信ノ一節)

新義州驛發客車内消毒ニ付左ノ二項ハ本日ヨリ之ヲ廢止シタル旨報告アリ

イ、新義州驛ニテ隆熙列車及第二八列車ニ對シ客車清掃ノ際二三等室腰掛其ノ他旅客
ノ手ニ觸ルベキ箇所ヲ石炭酸水ヲ以テ之ヲ拭ヒ尙ホ靴拭ハ適度シ石炭酸水ヲ撒クモ
隆熙列車及第二八列車及三二列車ニハ各車毎入口ニ棕櫚製靴拭ヲ豫備スルコト

二十三、肩子街地方ニ於ケルハ「防疫上ニ關シ左ノ通報アリ(三月十八日發信)

(1) 哈爾巴嶺ノ交通遮斷

哈爾巴嶺ノ交通遮斷ハ出來得ル限リ嚴重ニ之ヲ行ヒ而シテ數日前ヨリ同所ニ來ル官員、
官兵及公文書遞送人モ同所ニ於テ五日間逗留セシムルコトナレリ聞クトコロニ依レハ
斯ク交通遮斷ハ嚴重ナルニ拘ラヌニ、三ツ旅行者ハ窃ニ此ノ關門ヲ脱ケ來リタルモノ
アリ故ニ一般旅行者ニハ同所ニ於テ五日間留置ノ上通過セシムル方却テ安全ナラント云
ハモシアレトモ斯クスレバ哈爾巴嶺ノ如キ山中ニ於テ之レガ設備ヲ爲ス能ハサルノミナ
ラス之レガ爲却テ多數ノ破關者ヲ生スル憂アルハシ

(2) 馬車ノ禁止

陶道臺ヨリ吉林巡撫ニ打電シ吉林城ヨリ當地方ニ來ル馬車ハ一切吉林ニテ防遏セシムル
コトト爲セリ一方ニハ哈爾巴嶺ニ於テ馬車ノ通過ヲ防遏シ居レハ今後馬車ハ到底入り
來ルコト能ハサルヘシ

(3) 患者狀態

去月二十三日及二十四日ノ間ニ於テ敦化縣内ニ死亡者ヲ生シタル後唯同縣下ノ黃泥河子
ニ發病者アリタリトノコトニテ取調中其ノ外ニ發病者ナシ

(4) 捕鼠買止

當地防疫局ニ於テハ捕鼠買上ヲ實行シ居レリ而シテ平均一日ニ三、四十頭ヲ算ス毎日
本醫師監督ノ下ニ燒却シ居レリ

(5) 檢病調査

先日來檢病的ノ戸口調査ヲ爲スト同時ニ清潔法ヲ勵行シ尙日本醫師ノ注意ニ依リ各戸共夜
具布團ノ類迄日ニ曝ス等夫々注意意リナシ

ペスト患者日別表

場所	月日				初發以來 累計	備考
	三月十六日	三月十七日	三月十八日	三月十九日		
旅順(都督府管内)					二	二月二十日以降發生ナシ
大連(都督府管内)					六六	二月七日以降發生ナシ
金州(都督府管内)					三	二月六日以降發生ナシ
遼陽(都督府管内)					三	二月六日以降發生ナシ
奉天(都督府管内)					一三	
撫順(都督府管内)					一、九六一	累計ノ内係争地内ニ發シタルモノ六六ヲ含ム
本溪湖(都督府管内)					一八	四十頭ノ鼠ハ同日
鐵嶺(都督府管内)					一八	(二月六日以降發生ナシ)
開原(都督府管内)					九七	
法庫門(都督府管内)					五六	
遼寧街(都督府管内)					一九三	八令發熱車ハ院外人
合 計	二八	一〇	九	一七	一三	

四〇

場所	三月十六日	三月十七日	三月十八日	三月十九日	累計	備考
公主嶺(都督府管内)					一三	累計ノ内一ハ郭家店驛ニ發シタルモノ
長春(都督府管内)					一〇五	累計ノ内一ハ范家屯驛ニ發シタルモノ
鶏冠山(都督府管内)					二二	一月十六日以降發生ナシ
計	二八	一〇	九	一七	一三	
合 計	二八	一〇	九	一七	一三	

備考 一、本表ハ前日ノ正午ヨリ當日ノ正午迄ニ報告ニ接シタルモノヲ當日分トシテ計上ス
 二、清國管内患者ハ主トシテ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノモノノミヲ計上ス而シテ其ノ數ハ清國
 官憲ノ通報ニ係ルヲ以テ明確ヲ缺クモノアリ

四一

附

録

3-2597

0513

第一、拘鹿地方へス下状況

(鐵嶺支那勤務書記加藤信行備入島方竹藏調査報告)

一、概況

鐵開原ヨリ拘鹿ニ出テ平岡ニ出テ百九十清里沿線ニ於ケル大村落ハ約十餘アリテ交通頻繁ナルニ拘ハラス今春ベスト發生以來比較的病毒ヲ蔓延セザリシモノハ是

(1) 哈爾濱長春ヨリ南下スル順路ニ當ラザルコト

(2) 鐵開原ニ於ケル防疫施設ノ極メテ嚴重ナリシコト

(3) 各村落ハ拘鹿平岡ヲ除イテ人家密集セザリシコト

(4) 同地方鼠疫發生カ出稼苦力ノ歸還以後タリシコト

(5) 長春ニ於ケル慘狀ノ風評傳ハリ同地方人ヲシテ風ニ病勢ノ恐ル可キヲ知ラシメシコト

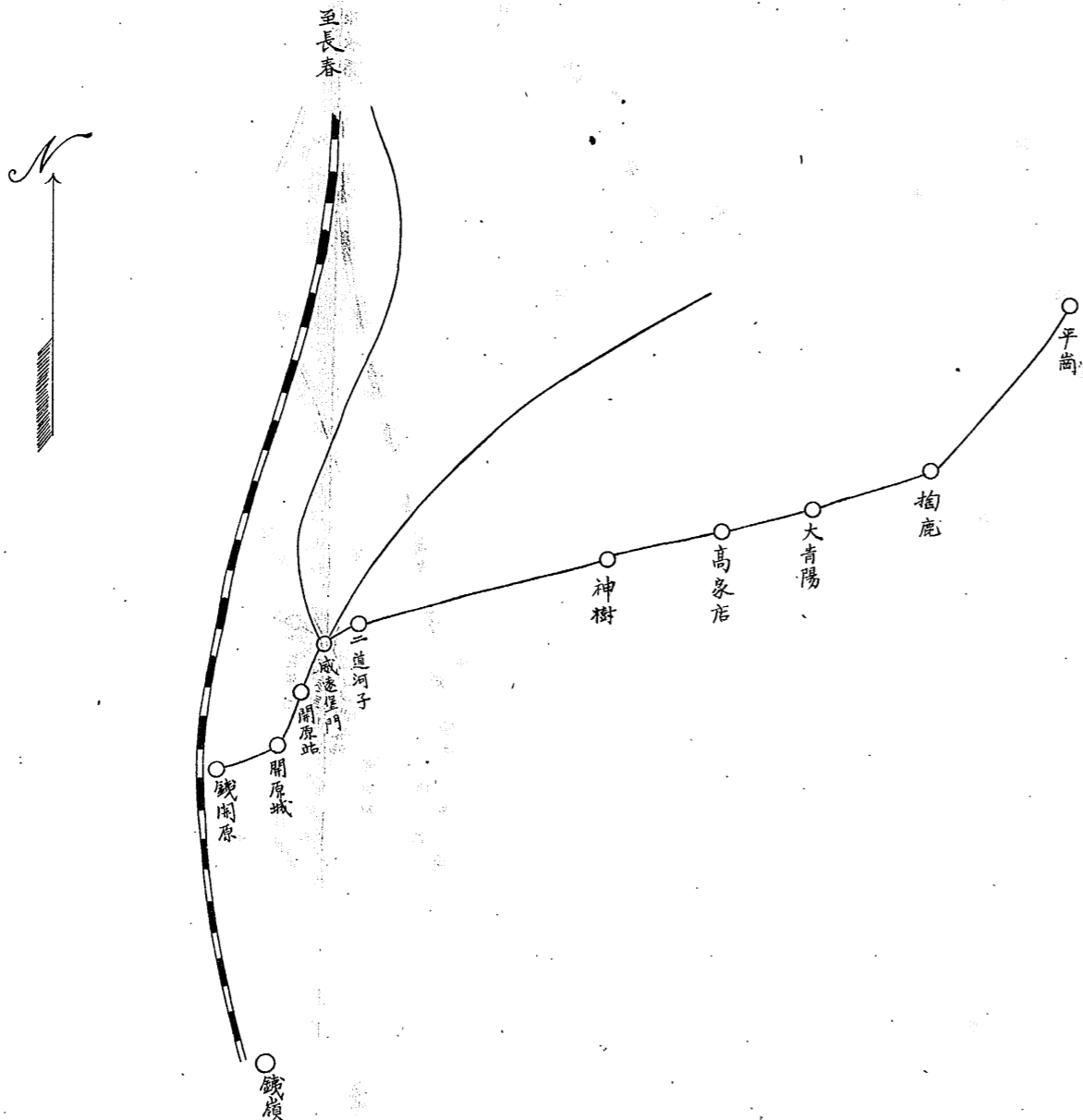
(6) 各地ニ於ケル隔離交通遮断カ荷馬車ノ外普通人ノ交通ヲ嫌ハレタルコト

ノ結果ニシテ病毒蔓延ヲ防クニ最モ効果アリシハ平岡ヨリ伊通州ニ出テ長春ニ入ル沿道ノ人心ハ全ク鼠疫ニ就テ恐怖シ從來死者ニ會スルトキハ其病死シ傳染病タルヲ否ヤラ論セス死者ノ著セル衣服等一切ヲ剝キ取ル如キ習慣アルニ反シ今ハ恐レテ敢テ斯ル事ヲ爲ササルニ至リシ状態ナリ

二、官憲ノ防疫施設

威遠堡門ニ突出セシ吉林省部内ハ何等ノ設備ナキモ盛京省ノ管内タル開原縣及拘鹿(西豊縣)平岡(西安縣ニ屬ス)ハ奉天總督ノ嚴命ト鐵嶺知縣ノ北路清疫總局總辦トシテノ命ヲ形式ナカラモ遵守シ施設ヲナシタリ其主ナルモノ左ノ如シ

開原縣之部



(3) 大青陽
 大青陽ニハ患者發生ナキモ大青陽ト柏鹿トノ間ニ於テ道路ニ沿ヒタル原野ニ新ラシキ棺ヲ放置シアルモノ五
 個ヲ算セリ

(4) 西豊縣
 三月五日迄ノ患者ハ三十餘名ニ及ヒタルモ支那官憲ニ於テ眞性患者トシテ公示シタルハ十八名ナリ
 西安縣之部

(1) 大疙疸ニハ患者ナキ模様ナリ

(2) 平崗鎮ニハ初發以來二十名ヲ算シ皆伊通州ヨリ來リシモノ計二十名
 患者數總計八十六名

以上ノ如クニシテ目下一般ニ終熄ニ近ツキツツアリ

四、鼠疫發生ニ關スル清人ノ感想

昨年以來安奉線改築日韓併合日露協商及國會速開ノ風潮ハ一般滿洲ニ於ケル清人上下ヲ通シテ一種ノ排外思想ヲ惹起
 シ排日熱トナリテ排日熱ハ鼠疫發生ニ對シ忽チ一般ヲシテ日本ニ對スル惡感ヲ増大セシメタリ鼠疫發生シ官憲ハ一般
 ニ布告シテ清潔法ヲ施行シ井戸等ノ衛生ニ關スル設備ニ及フヤ謠言ハ期セシテ全土ニ流布セラレタリ

(1) 日本人ハ滿洲ヲ占領セン爲メ大金ヲ以テ山東省人及朝鮮人ヲ雇用シ井戸ニ投毒シタリ爲メ惡疫ハ傳播シアリ
 (2) 田舎ヨリ日本人ノ集合スル都市ニ赴カハ日本人ハ藥品ヲ以テ毒殺スヘシ

斯クテ都市ハ勿論大小部落ヲ論セス有ユル井戸ハ村民合同ノ出費ヲ以テ浚深シ井戸側及蓋ハ新調セラレ之ニ健ヲ付セ
 ラレアリ

第二、伊通州方面ベスト状況 (長春支那勤務委員細野喜市調査報告)

長春ヨリ伊通州ニ至ル街道上新立城以北ハ長春府ノ管内ニシテ其南方ニ清里長柵ヲ以テ境界トナシ大南屯以南ハ伊通州管内トス

此沿道ニ於ケル百斯篤病疫ノ現況ハ一ニテ除ク外村落ニ傳播シタル形跡ナシト雖モ舊曆去年十二月二十七八日頃ヨリ最近正月二十四五日頃ニ到ル迄長春方面ヨリ南下シ來リタル徒歩旅行者ノ街道上ニ所々斃死者ヲ生シタルモノヤ掩埋シテ形跡ヲ止メス左ニ其查明シタル分及ヒ沿道村屯ヲ舉クレハ左ノ如シ

從長春里程ハ總テ清里ニシテ村屯相互間ノ距離ナキハ以下倣之、
蕭家柵舖 八里

長春城南門ヲ出テ伊通州街道ニ上ルヤ路傍ノ畑地ニ屍體一個横ハリ又タ數町ニシテ同様一個アリ覆フニ衣類ヲ以テスルヨリ見レハ行旅ノ行倒レニアラスシテ必ス附近民家内ニ死シタルモノヲ窺カニ持テ出シタルモノトナラズン此地點迄ハ南門外ノ町續ニシテ甚敷流行スルトノ事ナレトモ此界限ハ日々長春清官憲ノ報告スル所ニ係ルヲ以テ之レヲ略セリ

粘家船口 六里

呂家瓦房 三里

三家子 三里

旅店ニアリ舊二月二十日頃清國陸軍第三鎮ノ兵四十名來ツテ南方ニ店ヲ徵發シ宿所ニ充テタリシカ直チニ發疫斃死者十數名ヲ出シ同二十五日頃殘余ハ盡ク引キ上ケタリ其後村民ニモ感染シ五六ノ死亡者ヲ出セリ思フニ第三鎮ハ營内ニ病疫發生シ居ルヲ以テ避疫ノ爲メ來リタルナラン他ニモ此例アリ

二個ノ行旅屍體ノ畑中ニアルヲ馬ニテ雪ノ上ニ引キ埋没スルヲ見タリ村民ニ罹疫者ナシ
十里堡 五里
八里堡 五里
五里橋子 三里
五十六日(舊曆二月二十三日頃)本部内三人ノ死亡者アリ
袁家窩棚 三里
新立城 三里

本街道上ノ小街市ニシテ戸數約六十戸約五百小油房ニ、雜貨舖三ノ外三個ノ旅店ヲ南清里屯柵ヲ以テ伊
通州屬ト境ヲ分ツ西北范家屯ニ至ル六十清里北長春ヲ去ル四十清里東南雙楊河ニ至ル六十清里此地東南方雙楊
河六煙筒山其他附近村落ヨリ長春范家屯等ニ出ルモノ皆之レヲ通過ス統稅分局ヲ設ケテ豫備巡警ヲ豫防
疫ニ付テ何等ノ施設ナシ幸ニシテ未タ一人ノ斃死者ヲ出サスト云フ此地ニ第三鎮ヨリ先發員ヲ派シ三個ノ旅
店ヲ徵發シ舊坎ヲ撤シ新坎ヲ構造スルヲ見タリ思フニ避疫ノ豫備ニ供フルモノカ
二道河子 五里 從是伊通州屬ヨリ南清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里
伊通州門 八里 從是伊通州屬ヨリ南清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里
大南屯 七里 從是伊通州屬ヨリ南清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里
此地ハ新立城ト共ニ本街道上ノ小街市ナリ戸數約五十人口約四百、雜貨舖一、旅店二三ノ外舉タルニ足ルモノ
ナリ此地ハ長春府界柵ヲ去ル約二十清里伊通州屬北端ニ位置シ西北景家臺二十清里ヲ經テ范家屯ニ至ル六十
清里東南方南劉家屯ヲ經テ雙楊河ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里ニ至ル六十清里

第四區巡警局ヨリ巡警ヲ分派シ檢疫所ニ設クト雖トモ管ニ十字路上ノ一角牆端ニ檢疫所ナル黃旗ヲ翻タトシテ

監視員ヲニナシ
本地ハ街道ニ於ケル最モ甚クシキ病疫流行地カリ今調査スル所ニヨレハ舊曆昨年十二月下旬ヨリ現在マテ旅
行者ノ死亡十五名ノ外七八日前(舊曆二月廿日前後)本屯銀冶屋四名小飲食店四名感染斃死者ヲ出セリ事實ハ
尙多數ヲシテ今尙ホ時々二三名ノ死亡者ヲ出ス模様ナレハ病毒ハ已ニ此内ニ浸染シ居ルナルベシ本屯ハ
滅亡、長春及范家屯トテ十字路上ニ當リ居ルヲ以テ比較的多數ノ斃死者ヲ出セルモノナラシ
マ孤樹 十五里
前孤樹 十五里
上記二屯路上ニ於テ舊曆昨年十二月二十七日頃三名ノ斃死者ヲ生シタリ
桓頭山子 十里
此地亦々々一帶ノ道路上ニ於テ前同時期ヨリ舊曆二月二十日頃迄ニ八九名ノ行旅斃死者ヲ生セリ
范家店 五里
蘇家勾子 三里
蘇家屯 五里
蘇家屯 五里
劉豆後屯 五里
東尖山子 十五里
伊通州 十二里 計一百四十清里
本街道ニ於ケル病疫一般狀況

本街道ニ於ケル病系ハ北ハ長春ヨリ西ハ范家屯其他ノ鐵道沿線ヨリ徒歩旅行者ノ感染シ來テ傳播シタルモノニシテ未
タ深々附近村落内ヲ侵犯セルノ模様ガシ本街道ハ長春トノ交通密接ノ關係アルヲ以テ早ク已ニ病疫ノ猛烈ナルヲ見聞
シ恐怖ノ念甚ク沿道殆ント門戸ヲ閉鎖シ互ニ來往ヲナサス或ハ門口ニ鋤先等ヲ掲ケ病魔ヲ除斥スルノ咒トナス等
各自ノ頗ル警戒ヲ加スルモノノ如シ旅店ノ如キモ伊通州管内ハ特ニ官憲ヨリ舊一月十七日頃停止ヲ命シタレトモ多
クハ其以前已ニ舊正月ヨリ引續キ開業セサルモノニ係ルト云フ

本街道ハ單ニ長春及ヒ伊通州間南北縱貫スル交通路ニシテ其間貨物ノ集散地タルカ如キ重要ナル市場等ノ存在スルナ
ク沿道病疫ノ有無ハ經濟上等ニ何等ノ影響ヲ及ボササルモノノ如クナレトモ本街道南方ニハ雙楊河、煙筒山等豐富ナ
ル野産出地ヲ控ユルカ故ニ北長春ヨリ南公主嶺ニ至ル南滿鐵道沿線ニ搬出スル糧車、皆大木街道ヲ橫斷セサル可カラ
サルヲ以テ本街道及ヒ附近村落ノ健全安寧ト否トハ交通上至大ノ關係ナシトセス去レハ例年同時期ハ沿道各旅店ハ盛
ンニ菜食ヲ豫備シテ來往糧車ノ休養宿泊ニ供シ華客ヲ招顧ニ勉ムル季節ナルニ本年ハ病疫ノ爲メ糧車ノ唯一休養機關
タル旅店ノ閉鎖ハ其來往ヲ杜絶セシメタル一因ニシテ獨リ其目的地點ノ通行遮斷ノミニ起因スルニ非ラサルコト
ヲ感セリ

旅店ノ閉鎖ハ實ニ本街道上無二ノ交通遮斷ニシテ本調査員ノ如キモ出張初日(一月二十八日)宿泊セントスルモ盡ク拒
絶セラレ夜八時尙ホ降雪中ニ徨ヒニ旅店ニ懇求シ然モ南方ヨリ來リタル旅客ナリト詐ハリ談判半時輒馬ニ飼養スルノ
ミノ條件ヲ以テ門内ニ入ラシメ後チ一行ノ異狀ナキヲ見テ漸ク其應諾ヲ得テ假泊シ得タルノ情況ナリ去レハ徒歩旅行
者ノ如キハ全然宿泊ヲ拒斥セラレ假令鼠疫ヲ發シテ死亡セザルモ終ニ凍饑シテ斃ルニ至タラン故ヲ以テ暫時現狀ヲ雜
持シテ他ニ病疫ヲ媒介スルモノナクハ遠カラス終熄スルニ至ルヘント信ス

伊通州ノ部

伊通州ハ吉林ヨリ奉天ニ至ル國道上ニ位置シ直隸州ニシテ府格ナリ戸數約一千五百、人口約三萬ト稱ス
東北吉林ニ至ル二百五十清里北長春ニ到ル四百四十清里東雙楊河ニ至ル八十五清里、東南磐石縣ニ到ル三百清里、西北
公主嶺ニ到ル九十五清里、西省界威遠堡邊門ニ到ル二百五十清里、東清線開通以前ハ吉林南部ノ物貨集散地點トシテ
繁榮ヲ極メタリシモ今ヤ農産物ハ殆ント全部本城商埠ノ手ヲ經由セスシテ直接公主嶺ニ搬出セラレ又往昔ノ如クナラ
ズト雖トモ其管内ノ鄉村街市ハ日常飲食物ヨリ棉糸布器具等ニ到ル迄皆其供給ヲ仰ガサルヘカラサルヲ以テ輸入物資
及ヒ金融機關ニ就テハ尙ホ重要ナル位置ヲ持續スト云フ

本城ニスト病疫狀況

巡警總局ハ全管内ヲ十區ニ別テ本城ハ其第一區ナリ病疫ニ就テハ第一區管内ニ屬スル斃死者ハ舊十二月二十七日頃
(舊曆一月二十五日頃)初發以來現在迄合計三十六名多クハ當城内外ニシテ旅行者ニ係ルト云フ而シテ二時終熄ノ狀
態ナリシガ舊曆二月二十五日頃長春第三鎮ノ騎兵隊約二百五十名當城内ニ避疫シ來タリ直チニ五名ノ罹疫斃死者ヲ
生ジタリ此ニ於テ巡警總局總理ハ目下吉林民政司ヨリ派遣シタル防疫狀況調査ノ爲メ滯在中ナル干奎恒氏ト共ニ同隊長
ニ城内ノ撤退ヲ申込ミ之レヲ城外ノ旅店ニ移轉セシメタリ是レ全ク長春ヨリ病疫ヲ感染シ來タリシモノナリ此外最近
ニ於テハ本三月三日再ヒ同騎兵隊ニ名發生シ避病院付清醫二名感染シ其他街路上ニ於テ二名罹疫或ハ路上ニ斃レ或
ハ避病院ニ送附渡全部死亡シタリ

本城ノ防疫設備

當伊通州ハ舊十二月廿七日吉林巡撫ノ防疫電命ニ接シ同二十八日伊通防疫局ヲ巡警總局内ニ併置シ王知州局長トナリ
巡警總局總理馬文緯之レカ副ダリ當城内紳士商務會員等ヲ委員トナシ而シテ王知州ハ現ニ馳任トナリ後任者ノ接印ヲ
俟ツノミニシテ相關知セテ防疫事宜ニ就テハ全部馬副長ノ指揮ノ下ニ屬セリ舊正月七日城内外ノ交通ヲ遮斷シ本城及

以上ハ皆糧棧ヲ兼業スルモノナリ

大、小孤山之部

大、小孤山ハ伊通州ヨリ奉天ニ通スル國道上ノ二驛站ナリ沿道巨大ノ旅店少ナカラス多クハ磚塔家屋ナリ盛衰消長ノ變ハ其荒蕪ニ任カシテ願ミス路幅二十間坦々タル大道ハ兩側ノ老柳樹ト共ニ往昔交通繁榮ノ跡似ハレテ哀レナリ今ヤ病疫流行ノ爲メ各旅店ハ封鎖セラレ往來稀ニシテ一層其寂寥ナルヲ覺ユ通過スル沿道村屯及ヒ病疫ヲ發生シタルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

伊通州ヨリ

興隆店子 十八清里

康家甸子 五、里

營城子 四、里

大孤山 八、里

計三十五清里

此地國道上ノ一驛站ニシテ小街市ヲナシ戸數約百三十、人口約八百、燒鍋、油房、雜貨舖五六、伊通州ヨリ公主嶺ニ通スル分岐點ナリ西北方孤山屯ヲ經テ公主嶺ニ至ルハ六十清里

病疫ニ付テハ舊曆二月十七日頃ヨリ同二十五日頃迄ニ五六ノ行旅斃死者ヲ出シ村內ニハ未ダ感染罹疫シタルモノモナシ

本屯防疫ニ於ケル設備ナシ

楊樹河子 八、里

舊正月三日ヨリ起リ本屯王某ナル回々教徒方ニ長春ノ教友感染シ來タリテ宿泊中發生シ終ニ傳染シ一族八名僅

カニ八歳ノ少女ヲ斃シテ死滅シ尙ホ夫レヨリ麻老ノ一家男四名、楊芽女一名、李某一名ニ傳染シテ死ビセリ皆九回々教徒ナリ

三道崗子 二、里

頭道溝子 五、里

此地ヨリ西北二十清里田家窪子ニ於テ舊正月十七日ヨリ同二十三日迄ニ趙某ノ一家族十二名斃死シテ同家ノ知人某長春ヨリ逃避シ來リテ宿泊中發病死シ終ニ同家族ニ傳染シタレモ大抵

小孤山 十里

從伊通州共計七十清里

本屯ハ大孤山ト共ニ本街道上ノ驛站ニシテ一小街市ヲナス戸數百三十、人口六百餘、四五ノ雜貨商、三三旅店

ノ外學タルニ足ルモノナシ天主教會堂アリ北公主嶺ニ至ル七十五清里、靠山屯ニ到ル三十五清里、西郭家店ニ到

ル七十五清里、四平街ニ到ル百二十清里、本屯ニハ第六區巡警局アリ大孤山モ亦タ此管内ナリ當管内ニ於ケル

病疫初發以來ノ斃死者ハ三十名ナリト云フ檢疫所ヲ西端ニ置キ隔離所ヲ南端ニ設ケ本屯ニハ未ダ一名ノ罹疫死

亡者ヲ出サスト云フ

當方面ニハ未ダ甚タシキ病疫流行地ナク且ツ附近村屯ニ蔓延セルノ模様ナシ(其他ノ狀況ハ後項ニ記スル一般狀況

ト相同シキヲ以テ此ニ之レヲ略セリ)

營城子方面ノ部

營城子ハ伊通州ヨリ南磐石縣朝陽鎮及ヒ奉天省海龍府等ニ通スル街道上ノ一要地ニ當ル處ノ村屯ヲ舉クレハ左ノ如

從伊通州

亮家屯 八里

張家屯 七里

青堆子 五里

趙家屯 十里

新屯 五里

四間房 五里

考營城 十里

營城子 十里

營城子ハ伊通州街道ノ最南端ニ當リ西一河水ヲ隔テ奉天省東平縣(大肚船管内ト界ヲ接シ磐石縣朝陽鎮及ヒ奉天省東平縣内東部ヨリ伊通州及ヒ公主嶺ニ出ツルノ糧車等ハ皆ナ此地ヲ通過ス西三十清里ニシテ東平縣舊圍場ニ(御獵地)至リ森林ニ富ム伊通州公主嶺及ヒ長春ニ出ツル薪炭ハ多ク此地ノ産ナリ馬賊ノ巢窟トナスノ故ヲ以テ十年前之レヲ開放シタレドモ今尙冬期附近ニ出沒シ往々行旅ヲ腦マヌ本年ハ何故カ其難ナシト或ハ病疫ノ爲メ交通ノ杜絶シタルニ起因スルモノナランカ
吉林巡防隊一營ヲ分置ス戸數約百五十、人口約二千東南朝陽鎮ニ到ル二百清里、東々南磐石縣ニ至ル百四十清里東煙筒山ニ到ル六十清里、重ナル商舖ヲ舉クレハ左ノ如シ
王興當 當舖、油房
萬八增 合 燒鍋

萬發增 油房

興發長 同

同興成 同

萬順隆 雜貨

東興隆 同

天會長 同

以上ノ各油房、燒鍋ハ皆ナ糧棧ヲ兼ス此地ハ通過地ニシテ直接取引セラル、高至テ少シ現在尙ハ大豆約二千石相場ハ左ノ如シ
大豆 一斗ニ付 小洋銀一元二角 公主嶺渡
高粱 同 一元 同

病疫ハ此方面ハ皆無ナリト云フ思フニ此地方ハ北方長春等ヨリ稍々遠隔ニ屬シ且ツ交通上直接ノ關係ヲ有セス殊ニ恰モ舊新年ハ沿道直ナ休業シテ交通ヲ絶ツノ時期ニ際シ爲メニ病毒ニ浸犯セラル、ノ厄ヲ免カレタルモノナラン從テ該病疫ニ對スル人民ノ注意モ只タ風聞巷説ヲ耳ニスルモノニシテ直接其慘激ノ狀ヲ目撃シタルモノナク恐怖警戒ノ念モ比較的薄弱ナリ今ヤ公主嶺ノ遮斷ハ解禁セラレ糧車ノ往復ハ日ヲ遂フテ漸繁ナリ中途鞍山屯其他鐵道沿線附近ニハ病毒ノ存在スルモノ少ナカラス此等ノ媒介ニヨリ傳染ノ恐ナキヲ保セス宜シク警戒一番不測ノ災禍ヲ免ルニハ豈當ニ此地民人ノ爲ノミナランヤ本街道ノ健全ハ實ニ公主嶺ノ幸福ニシテ同地ニ於ケル經濟上ニ重大ナル關係ヲ有ス
此地ニ第六區巡警局アリ防疫設備トシテハ東西端ニ檢疫ヲ置キテ來往ヲ警戒ス



驛馬場站
從營城子

柳樹河子 十五里

趙家屯 五里

大柳樹 八里

小清河子 十二里

馬廠 十里

驛馬場站 五里

計七十清里

伊通州管内病疫狀況

伊通州總局管内各區巡警局ヨリ報告シテ來タリタル罹病死亡者左ノ如シ

第一區 伊通州城(總局) 罹死者三十一名(參照)

第二區 趙家屯 同 一名

第三區 同管内發病地ハ驛馬場站ヲトス

第四區 勒克山 同 三十六名

主トシテ景家臺及ヒ大南屯ノ發生ニ係ル數ニテ實際ハ尙ホ非常ニ多數ニ上ルナルヘシ景家臺ハ范家屯ノ東南四十清里大南屯ヲ經テ雙楊河ニ通スル道路ノ地點ニ當リ舊年未ヨリ舊本年正月ニ涉リ范家屯方面ヨリ南下シ來リタル勞働者ノ多數此地ニ於テ罹疫斃屍シテ死體散亂甚シク而シテ此地ハ奉天懷德縣管内ノ景家屯ト一長柵ヲ以テ境ヲ接スルヲ以テ此等ノ屍體ヲ懷德ノ境界内ニ運ヒ込ミタリ之レヲ知州ノ命令ニ出テタルニ非ラサル可ケレトモ終ニ懷德ヨリ抗議トカテ奉天ニ申告スル等知州ノ免職ニ至リタル原因ナリト云フ如此ナルヲ以テ此地方尙ホ消滅ニ至ラサルヤ論ナシ

第五區 同 小孤山 同 三十名

別項記載シ置キタル地方主トシテ其他管内ニ發生シタル廿家子等ヲ重ナル發生地トシテ實際ノ數ハ尙ホ多數ナルヘシ此地方今尙ホ發生消滅スルニ至ラズ

第六區 同 小孤山 同 三十名

別項記載シ置キタル地方主トシテ其他管内ニ發生シタル數ナリ此管内ハ目下消滅シ居ルモノノ如シ

第七區 同 火石嶺子 同 二十八名

第八區 同 四臺子 同 七名

第九區 同 下二臺 同 七名

以上鐵道沿線 境界附近ノ村屯ヲ主トシ此地方ハ今尙ホ時々發生スルモノナリ
以上合計百七十八名

右ハ舊十二月二十七日頃發生當時ヨリ舊二月末日頃ニ至ル總數ニシテ各區巡警局ヨリ報告シ來リタルモノニ
係ル然レトモ此計數ハ甚ダ過少ニシテ巡警總局長自身ステ實際ハ二百餘名ナリシト云フニ徴シテモ之レヲ知ル
ベシ本調査員ノ觀察ニヨレバ倍數位ナラント推測セリ各巡警局ノ報告ハ其管内ノ靜穩ヲ裝ハンガ爲メ其發生數
ヲ少クシテ報告スルノ弊アリ現ニ第三區驛馬站ノ四名ノ如キモ僅カニ一名ト報告シアルヲ以テ知ルベシ
伊通州管外附近ニテ病疫ヲ發生シタルモノハ磐石縣及ヒ煙筒山ニシテ干調査員ノ觀察シ來リタル所ヲ聞クニ磐
石縣ハ二時十數名ヲ發生シ煙筒山ニ亦タ數名ノ斃死者ヲ出シタルモ今ハ消滅シタリト云フモ其實際ヲ知ルニ由
ナシ

伊通州管内一般人民ノ注意狀態及交通ノ現況

本病疫ニ對スル一般人民ノ注意狀態ハ其襲來ノ程度緩慢ナリシカ故ニ北方ノ如ク直接激烈ナル慘狀ヲ目撃スルモノ少
ナク一般人民ノ腦裏ヲ刺撃スルモノ稍遲鈍ニシテ從テ其注意警戒ノ念モ之レヲ北方ニ比スルニ又タ甚ダ薄弱ナリ幸ニ
長春、懷德ノ交通遮斷ハ舊正月以來農産物ノ搬出ヲ妨ケ來往ヲ杜絶シタルヲ以テ病毒ノ基タシク浸入ヲ見ルニ至タラ
ザリシモ今ヤ公主嶺ノ遮斷解禁ハ運搬期間ノ短縮セル其殘貨ノ搬出ニ急ナリ然レテ鐵道沿線附近及ヒ管内境界地點等
ニハ尙ホ病毒ノ殘存アルアリ或ハ此來往ノ媒介ニヨリ病疫ヲ再燃スルノ虞ナキヤ人爲ノ消毒豫防等ハ絶無ナリ漸次氣
候溫暖ニ向ヒ自然消滅スルノ時期ニ到達シテ杞憂ニ屬スルニ至タラハ無上ノ幸ナリ
本地方ニ於ケル農産物ノ收穫ハ之レヲ北方ニ比スルニ約壹箇月早シ故ニ舊正月以前ニ其大部ヲ市場ニ搬出スルヲ例ト
ス然レトモ今季ハ豫想ノ如ク舊蠟中穀價昂騰セザリシヲ以テ餘裕アル農家ハ皆ナ本春騰貴ノ時期ヲ俟ツテ市場ニ搬出

スルノ心算ヲ以テ貯藏シ置ケルモノ少ナカラズ其殘存額ハ大體ニ於テ全額ノ約三割乃至四割ナラントノ觀察ナリ然ル
ニ年末以來百斯篤ノ流行ハ交通ノ遮斷トナリ又タ搬出ノ道ナキニ至レリ而シテ今ヤ公主嶺ノ遮斷ハ解禁セラレタリ本
調査員ハ本月四日五日ニ於テ早ク已ニ營城子及ヒ磐石縣方面ヨリ公主嶺ニ向テ積々糧車ノ通過シ行クヲ目撃セリ如何
ニ農家カ市場ニ搬出スルノ時期ノ速カニ來タランコトヲ渴望センヲ見ルニ足ルヘシ然レトモ時期ハ稍々遅レルモノ
ノ如ク道路ハ漸ク氷解シテ車行困難ナルヲ覺ユ從テ今後運賃ノ騰貴ハ免カレサルヘク價格ノ點ニ於テ不引合ヲ生スル
等短少ナル時期ニ於テ殘貨ノ全部ヲ搬出シ了ルヤ之レヲ後日ニ徴セサレハ未タ以テ知ルヘカラス
右調査及報告候也

明治四十四年三月十日

別 府 眞 吉

第三、懷德街道へスト状況 (長春支那勤務防疫委員細野喜市調査報告)

第二日、二月廿八日午後一時出發

自長春 三家高棚 三十清里 降雪烈シ

八里堡 自長春八清里 散在部落二十餘戸

此地ハ長春ニ近接セルヲ以テ曩ニ城内浮浪者隔離ノ際之レヲ免ガレンガ爲メ逃亡シ來リタルモノ途中ニ斃レ或ハ知人ノ家ニ寄寓中發病死亡セルモノ等十四五名ヲ出シ土民モ亦之レ等ヨリ病菌傳播シテ是レ亦十餘名死亡セリト云フ目今ハ終熄シ一名ノ死亡者ナシト云フモ信シ難シ

吉林官運局鹽倉ニハ未タ一名ノ死亡者ナシト云フモ之レ又疑ハシ而シテ鐵道踏切ニ沿ヒ官廳倉庫及通行人ヲ得意トセル煙草小賣商アリシカ去ル舊十二月二十八日頃長春ヨリ來タル知人略血斃レシヨリ傳染シ一家盡ク全滅セリト云フ行クコト八清里路上一個ノ屍體横ハレリ半雪ニ埋モレ顔面黒色ヲ帶ヒ悶心ノ狀ニ表ビ見ルタニ慘憺タル光景ナリ死後一週間位ヲ經過セルナラン

汲家粉房 自長春二十清里 散在部落三十餘戸

一、二ノ雜貨小賣商アリ現今門戸ヲ閉テ商賣ヲ停止セリ中ニハ石灰水ヲ撒布シ入口ニ「疫」ノ字ヲ書シ形ニ封鎖セルモノ二三戸アリ徐某長春ヨリ歸房死亡ニ始マリ(正月中旬)次テ十餘人斃死シ外來者トヲ合セテ三十餘名斃レ本日一名死亡セリ目下疫勢盛ナルガ如シ

防疫法トテハ屍體燒棄石灰水消毒ノ外更ラニナシ此邊ニ帶嶺山屯(蓋家屯ノ北十五清里)ニ駐セル第六區巡警局長王永候ノ管轄ニ屬シ四十餘清里ヲ距テ居ルカ故ニ全然放任ノ姿ナリ

喬家窩棚 長春ヲ去ル二十五清里 散在部落十七八戸

三家窩棚 自長春三十清里 散在部落三十餘戶

兩地間ニハ路上死亡者(正月十二日頃)七名アリタルトモ定住者ニハナシト云フ然レトモ此邊馬賊ノ出沒甚タシク住民ハ却テ之レ等ヲ恐レ居ルカ如シ此點ヨリセハ或ハ此地ニハ疫死者ナシト信ス
時ニ午後七時漸ク民家ノ一隅ヲ求メテ當地ニ宿泊ス

第二日 三月一日 午前七時出發

自三家窩棚 吹雪烈シク行程四十清里

三家窩棚 自長春四十清里 散在部落五十餘戶

此地ヨリ南三十清里ニシテ白龍駒ニ達シ北四十清里ニシテ小河隆ニ通ス去ル二月中旬外來者路上八、九名ノ斃死者ヲ出シ定住者ハ楊某外二名斃レ目下終熄セリト云フ、小河隆ハ去ル正月初メハ一時疫死者日々十餘名ヲ出シツツアリシモ現今ハ一、二名位ナリシト云フ

哈達窩棚 自長春五十清里 散在部落二十餘戶

此地ナシ

黃家馬架 自長春五十清里 散在部落十餘戶

當地ヨリ二十五清里ニシテ大嶺ニ達スルヲ得此地定住者ニハ斃死者ナキモ四、五日前ヨリ前方二清里ノ路上ニ一名斃レ居ルヲ見ルト之レニテ外來死亡者四名ナリト云フ此邊燒鍋店(尙靠山屯鄉巡警局ノ區管ニ屬スル防疫ヲモ兼掌セルガ故ニ敢テ願ミサルモノノ如シ)

大嶺ニハ二月二十日頃日々五、六名ノ死亡者アリシト聞ケルモ近來終熄セルヤニ傳ヘ聞クト云フ

王家橋 自長春六十五清里 散在戶數十餘戶

路傍一個ノ放擲セル櫛ト屍體ヲ燒棄シタル跡アリ土人ノ言ニヨレハ去ル二月二十二日頃靠山屯ヨリ巡警來リ路上死體六個ヲ燒棄セルナリト云フ中ニ半燒ノ屍體殘リ居タリト云フ路傍ニ燒棄シ且ツ半燒ノ屍體ミサルトハ實ニ果然タルノ外ナシ

燒鍋店 自長春七十清里

當地ハ往時農安ヨリ八家子、八面城、昌圖、通江口ニ至ル舊街道ニ沿ヘル下驛站ナリ其當時ハ幾分繁昌ヲ極メシナランモ現今ハ一變シテ店舖トシテハ一ツノ瑞興成(燒鍋)瑞興店(棧店)アルノミ他ハ見ルニ足ラス戸數百餘戸ヲ有シ人口一千餘ナリ

當地ハ長春ニ近ク殊ニ農安ヨリノ如キ汽車ノ便ニアツカラサル者ノ如キ交通路ニアルヲ以テ曩ニ東清、南滿ノ兩鐵道乘車ヲ禁セシ以來同方面ヨリ山東地方ニ歸郷セントセル苦力ノ多クハ健脚ニ任セテ直チニ當街道ヲ南下セリ途中未タ目的ヲ達セスシテ疫ニ斃レタルモノモ少カナス當地ニ於テ當初疫死セシハ楊家館子ニ山東人二人ハ爾寶ヨリ來リタルモノノ咯血死亡セシヨリ病菌各所ニ傳播シテ定住者ニ及ボン去ル二月二十七日迄ニ死亡セルモノ百四十七名ニ達ス、是レトテ巡警局ノ語ル所ナルヲ以テ實數ハ二百名以上ニ及フナラン、目下尙獨獺ヲ極メ一日五、六名ノ死亡者ハ絶ヘサルカ如シ現ニ燒却又ハ棺ヲ運フモノヲ見テモ明ナリ

防疫方法トシテハ只ク屍體ヲ燒棄シ家屋ヲ石灰水ニテ消毒スルニ過キ巡官劉貴武以下二十五名ノ巡警防疫事務ヲ兼掌セシモ中六名去月廿日頃一時ニ死亡セシヲ以テ爲ス所ヲ知ラス目下五大河(南十清里)ニ移轉シ全ク防疫ニ就テハ放任セリ此形勢ヨリセハ近キ將來迄ハ終熄ヨリモ益々蔓延スヘキ状態ナリ

而シテ亦タ此邊一帶馬賊ノ出沒甚タシク官兵トノ交戦間斷ナシト云フ前面鼠疫ノ襲撃ヲ受ケ後面亦タ賊ノ追害ヲ受ク土民ノ恐怖ハ絶頂ニ達セリ依テ陸軍第三鎮ヨリハ全氏ニ兵八十餘名ヲ附シ警戒シ居レリ兵ノ中ニモ十餘

名ノ疫死者ヲ出シタリト云フ
當地附近ノ大豆ノ收穫ハ昨年度約壹萬五千石ニ上リ賣捌市場ハ皆長春ナルモ本年ハ鼠疫ノ爲メ未ダ一回ノ出荷ヲモセズト云フ

達子廠 燒鍋店ノ北五清里ノ戸數五六戸
此日吹雪烈シク行路困難ナリシヲ以テ此地ニ宿泊ス、當地疫死者ナシ

第三日 三月三日 午前七時出發

至 小雙城堡 行程六十清里

本街道間ハ長春トノ往來頻繁ナラザルト且ツ各所ニ鼠疫發生以來土民ハ非常ノ恐怖心ヲ抱キ門戸ヲ閉シテ各自防衛セリ依テ交通全ク杜絶セリト云フヘク疫死者モ隨テ少シ只ニ長嶺子ニテ二名ノ咯血死亡者ヲ出セル外終始シ目下大平ナリト云

小雙城堡 自長春百三十清里

當地ハ懷德ヲ距ル六十清里ナリ附近戸數トモ合セテ百五十戸有ス市街新ラシク東、南、北ノ三門ヲ設ケ一條ノ市街ヲ形成スルノミ此地以北ハ人煙稀少ニシテ七里又六十里ニシテ僅カ四、五戸ハ散在家庭ヲ有スルニ過キスト商況モ位置北方ニ邊モルヲ以テ平時トテモ治瀆ナラス殊ニ鼠疫襲撃以來恐怖シ各門戸ヲ閉鎖シ自衛セルカ故ニ全ク火事場後ノ如シ幸ニ當地ハ遠ク長春其他ノ病源地ヲ距テ而シテ亦苦力等南下スヘキ街道ニ沿ハザルニヨリ疫死者モ比較的少シ今左ニ初發以來ノ死亡者ヲ列記スレハ

城 內 三人
北門外 十三甲鄉約管界

孟家小店 十二月二十九日 店客 二人
同 正月六日迄 同 七人

蓋家店屯 十二月二十九日 店客 一人
同 正月 同 三人

同 正月四日 劉姓 二人
同 周姓 一人

十一甲 鄉約管界

黃家城屯界屬 (各部落)

偏臉城屯 李長政家 正月二十日 男女 十二名

閭家屯 封福才 同三十四日 男女 六名

瑪瑙屯 崔萬齊 鄭九州 二人

于家窪子 無 正月十九日 二人

計 城 內 三 名

北門外 十六名

村 落 三十三名

防疫ニ就テ去ル二月二十五日長春開埠局馬路副主任世綸氏防疫分所主任トシテ來着シ駐在郷巡警局長劉氏ト心ヲ合セ左記ノ部落豫備巡警及ヒ有志迄モ召集シ鼠疫ノ害毒及豫防方法等ヲ説明シ別紙ノ如キ印刷物ヲ各戸ニ配布セシメ或ハ隔離所、病院ヲ設ケ南北ノ二門ヲ鎖シテ外來者ノ交通ヲ防キ東門ニ於テ出入者ノ消毒ヲ施行シ市

内ノ清潔ヲ實施スル等鏡意防疫ノ設備ニ奔走シ居レリ依テ去ル二十五日ヨリ以後ハ一名ノ死亡者モナシト云フ、斯ク田舎ニ稀ナル防疫法ヲ講セル地ハ會テ見ザル處ニシテ大ニ意ヲ強クセリ目下ノ形勢ヨリモ或ハ此地ハ撲滅スルコトヲ得ヘント信ス委員孫氏ハ年少氣銳ノ人、日本ニ留學警監學校ヲ卒業シ日本語ヲモ解ス、語リテ曰ク今回ノ防疫防疫法施行ニ付曩ニ孟道臺ニ向テ日本側ノ措置ニ倣ヒ且ツ指導ヲ受ケ共力防疫センコトヲ陳述セシモ容レラレス却テ意ニ觸レ當地ニ左遷セラレタリサレト良法ヲ實施シテ人命ヲ救フコトナレハ當地ニ於テモ土地ノ事情ヲ考慮シ飽迄在來ノ方法ヲ一變シ防疫ノ撲滅ヲ計ル考ナリ噴霧器及ヒ藥品モ漸ク本日到着センヲ以テ充分効果ヲ舉クヘシ、醫生所員モ二、三日中ニ來着ノ管ニナリ居レリ

當地ノ店舗トシテハ左フ六戸ヲ重ナルモノトシ他ハ見ルニ足ラス皆日用品ヲ販賣スルノミニテ大豆其他雜穀ノ取引ハ少ナキカ如シ又タ此邊以北ハ土地稍砂ヲ含ミ大豆ノ栽培ニハ適セスト云フ依テ長春市場ニ來ル雜穀モ多カラス且ツ目下ハ防疫ノ打擊ヲ受ケ各所トノ交通ハ絶體ニナサス

- 鴻興成 燒鍋、當舖
- 天德號 雜貨
- 德增泰 同
- 增舛慶 同
- 同源利 同
- 同升增 同

第四日 三月三日 午前七時出發
 自懷德縣 行程六十清里

十二馬家子 自小雙城堡二十清里 散在部落四十餘戶

小雙城堡ヨリ二十清里ノ間皆此地名ヲ稱ス小河ヲ以テ長春府、懷德縣ノ境界ヲ爲セリ當地ニハ未タ一名ノ疫死者ナシ、當地區管内部落ノ豫備巡警及ヒ部落名左ノ如シ(防疫委員ノ召集セルモノ)

- 千二甲 三道崗 巡長 吳子鳳
- 十一甲 趙 同 王振山
- 十二甲 曲家店 同 崔方峯
- 十三甲 黃家城子 同 韓魁武
- 十四甲 厚法金 同 周子明
- 十五甲 王樓貨舖 同 劉國楨
- 十六甲 弓柳子 同 姜永年

小雙城堡ニテ各部落巡警ニ配布シタルモノ

四鄉防疫簡章

- 第一件 須清除屋內院中の汚穢運出空曠地方趕緊焚燒
- 第二件 各家毎間房屋應閉門焚燒硫磺六兩消除毒倘沒有許多硫磺每房放鞭炮一串
- 第三件 凡有潮濕地多務要多洒石灰
- 第四件 凡染疫病的人須一人獨住若無病的人不宜同居須防傳染
- 第五件 不宜問病不宜靠近病人須防傳染
- 第六件 凡受疫病死的人暫不宜移動屍身應先用硫磺焚燒消毒後再行入棺棺內須先鋪石灰厚二寸然後放屍再洒石灰

然後釘蓋

第七件 埋葬須倒坑至七尺之深、切勿留底舖石灰一層放棺後再上舖石灰一層然後蓋土

第八件 凡病沒死人的衣服務須用火焚之切勿愛惜以防傳染至要

第九件 凡動手拾死之人的均須用石灰水或鹹沙水洗手更須將自己衣服脫下用硫磺燻過或在烈日下晒過數次方可再用

以上各條牢記這係生命所屬萬勿當作耳邊風過切切

張家店 自小雙城堡三十清里

戶數十餘戶旅店三戶アリ罹病者路上ニ去ル正月下旬一名アリタルノミ定住者ニハナシ當地ニハ懷德縣ヨリ派

遣ノ准軍八名駐シ街道ニ繩張シ外來者ノ入縣ヲ稽查シ居レリ

四道溝 自小雙城堡四十五清里 戶數七八戶

當地ニハ罹疫者孫某外三名四五日前死亡セリト而シテ路上ニ個ノ屍體横ハレリ此地未タ猖獗ヲ極メ居ルカ如シ

懷德 (八家子)

當地ハ長春ヲ去ル西北百二十清里東南六十清里ニシテ黑林子ニ同九十五清里ニシテ范家屯ニ南方百清里ニシテ

公主嶺ニ通ス往時ハ農安ヨリ當地ヲ經由シ八面城、昌圖、通江口ニ達スル街道上ノ大驛站ニ當リ其他東西南北

各所ヨリ要衝ニシテ實ニ四通八達ノ地ナリ商況殷盛ヲ極メ官衙トシテハ懷德縣廳ヲ置キテ管内ヲ統治ス戸數

一手餘戶人口二萬三千餘ヲ有ス

當地ハ如上各地ヨリ要衝ニ當リ交通頻繁カ故ニ疫勢ヲ侵入シ最モ便益ヲ與ヘ非常ニ跋扈ヲ極メタリシ

カ如シ疫死者ノ詳細ハ防疫當事者知縣ト共ニ公主嶺ニ開設シタル昌圖奉化懷德一府ニ縣聯合ニ防疫總

十二局ヲ出張中ナリト事ニ所員ニ問テ總覽ヲ設ケテ隱蔽或ハ虛構ノ說ナルヲ以テ信シ難ク市井ノ間ニ調査セ

ル處ト對照、配量セハ、舊十二月二十七日東門外郝某方ニ於テ大嶺ヨリ來リシモノ喀血死亡セシ以來病毒傳播

シテ之レヨリ各所ニ續發シ約四百五十人位ノ斃死者ヲ出シタルカ如シ是等大部分ハ下等ノ者多ク中流以上ニハ

少シト云フコト事實ナルカ如シ現下ノ狀況ハ稍々沈勢ト云フヘキモ尙ホ一日三、四名ノ死亡者絶ヘサルカ如シ

然レトモ彼等ハ最早疫ノ終熄セルモノト思惟シ商務會ハ知縣ニ迫リテ門戶閉鎖ノ解除ヲ祈リ知縣又々之レヲ

許シタルニヨリ各商賈ハ去ル六日ヨリ店ヲ開キテ顧客ヲ迎フルニ至レリ斯ル有様ナルカ故ニ此後如何ナル變態

ヲ來シヤモ斗ラレスト信ス且ツ防疫ノ設備モ唯ニ形式ニ流レタレハ目今ノ形勢ニテハ撲滅ハ到底覺東ナク却テ

再ヒ疫勢跋扈ヲ連ニ遭遇セザレハ幸ナリト憂フル狀況ナリ

當地防疫施設トシテハ正月初旬東門外ニ防疫局ヲ設ケテ諸般ノ部署ヲ定メ次テ病院、隔離所ヲ設置シ、浮浪者

赤貧者、病人同居者等ヲ夫レレ、收容セシモ本來ノ漢法醫生ニ任セタリシヲ以テ何ノ効果モナク依然疫死者ハ

日ニ三十名多キハ六十名モ出セシトアリト去ル二月初旬噴霧器其他防疫者ノ白衣等ヲ新調シ、石炭酸、昇

汞、等ノ使用ヲ始メ屍體ノ火葬ヲ實始シタリ目下東西南北ノ四門ヲ巡查ニヨリ交通遮斷シ居ルモ消毒ノ設備モ

ナク檢疫證アルモノハ盛ニ出入ヲナシ居レリ(此檢疫證ハ城内居住ノモノニハ全部之レヲ配布シ城外者ト雖モ

申出タル者ニハ一般配布シ居レハ何ノ効果モアラサルヘシ)目下ノ防疫法トシテハ全ク効力ナキカ如シサレハ

今回公主嶺ニ設ケラレタル聯合防疫總局ヨリ新ニ一隊ヲ組織シテ各地ノ防疫施設ヲ一變セシメ鼠疫ノ撲滅ニ奏

效ノ良法ヲ實施スル由ナレハ其曉ニハ幾分見ルヘキ効果モアラン

平時ニ於ケル懷德ハ各所ヨリノ交通頻繁ナルヲ以テ商業旺盛ナレトモ去月十四日ヨリ知縣ノ命ニテ各戸門ヲ閉

シ店ヲ鎖スノ止ムナキニ至リ商況頓ニ衰ヘ寂寥落莫タリシカ去ル六日開店顧客ヲ迎フルニ至リタレハ之レヨリ

亦々々各地トノ交通モ繁ク市況モ恢復スヘシ、亦當地方昨年度ノ農作物收穫量ハ一昨年ニ比シ約二割強ノ增收

ニシテ各農家ヨリ當地市場ニ集リタルモノハ約半分ニシテ公主嶺ニ輸送シタル額モ亦タ随テ多カラス昨冬及ヒ本年ニ亘リテ入城シタル額ハ約

大豆及高粱共 十一萬石
 公主嶺ニ發送高 二萬石
 現在存糧 七萬石
 而シテ平年ノ集散高ハ約(大豆、高粱)

一箇年ノ市場取引高 約十七萬石
 一年燒鍋消費高 約五萬石
 一年油房消費高 約三萬五千石
 一箇年間公主嶺發送高 約七萬石
 自下當地ノ市價ハ

大豆 小洋錢 一斗 一元十二錢
 高粱 同 一斗 七十三錢
 尙公主嶺ヘノ馬車輸送運費ハ
 大豆 一袋四斗 二十七、八錢
 高粱 一袋四斗 二十四、五錢
 當地ノ重ナル商賈左ノ如シ

福昌	同	同	世	萬	天	萬	世	裕	雙	慶	天	慶	世	大	世	世	裕	屋	
昌	祥	興	益	順	成	合	合	升	發	泰	昇	昇	鴻	盛	合	昌	升	號	
厚	義	順	源	興	永	長	興	棧	合	棧	正	店	福	源	當	隆	昌	號	
																			燒鍋
																			當舖
																			油房
																			雜貨
																			棧店
三	四	四	五	五	五	七	五	六	八	四	二	十	十	十	十	十	十	十	資
萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	本
吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	金
二	三	五	四	八	五	二	四	三	三	四	二	十	十	十	十	十	十	十	一
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	箇
萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	萬	年
吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	吊	取
																			引
																			高

第五日 三月四日 懷德滞在
 第六日 三月五日 午前七時出發
 至黑林子 行程五十清里

本街道、平時、人馬ノ往來頗ル頻繁ナルモ目下ハ農家ノ肥料ヲ運ヘル馬車ノ通フ位ニ過キス
 本街道沿ヒ五里堡、大榆樹、唐家窩棚、杜家店、頭道崗、趙家爐ノ村落アルモ目下靜穩ナルカ如シ
 黑林子ハ長春ヲ去ル西北百清里、公主嶺ヲ北ニ距ル四十五清里、范家屯ヲ去ル北三十清里ナリ、戶數百三十餘人口一
 千五百ヲ有ス往時ハ長春ヨリ奉化ニ至ル中間ノ一驛站トシテ繁昌ヲ極メシモ鐵道ノ開通以後在來ノ店舖ヲ公主嶺或ハ
 范家屯ニ移セシ爲メ商況盛ナラス且ツ目下鼠疫ノ打撃ヲ蒙リ各戶店ヲ鎖セルカ故ニ全ク消滅セルカ如シ市街亦不潔ヲ
 極メ塵埃雪ニ交リテ堆ク一見鼠疫ノ跋扈セルヲ感セシメヌ
 鼠疫死者ハ一月十五日長春ヨリ來タル苦力體ノモノ死亡セシ以來遼原ニ火ヲ點セシカ如ク各所ニ傳播シ三月四日
 ニ至ル間ニ男百五十餘名、女十七名、小兒六名、計百七十五名ヲ斃セリ、就中湧豐盛ナル商家ハ二名ヲ餘ス外一家二
 十八名三日間ニ續死シ、永增德ナル商家亦十餘名全滅ス而シテ亦タ當地ヲ距ル北三清里丁家溝子ニハ孫某一家一人ノ
 娘ヲ斃シテ七人全滅シ屍體ノ始末ニ厪ヘル三人ノ苦力亦タ感染死亡セリト云フ斯ル勢ヲ以テ黑軍ハ現今尙ホ猖獗ヲ極
 メ日ニ五六名ノ死者絶ヘサルカ如シ防疫員ノ言ニ依レハ此三日間ハ死亡者ナシト云フモ現ニ家屋ハ燒棄シ白衣隊ノ
 右往左往ニ奔走セルヲ見レハ首肯シ難シ
 防疫所ハ懷德知縣ノ命ニヨリ一月下旬開設所員七名ヲ派シテ消毒及屍體ノ火葬等ヲ爲サシメシモ該所雇苦力六名感染
 死亡シタルヲ以テ恐怖手ヲ束テ防疫所ノ跋扈ニ任セ居タリシカ漸ク去ル三月二日ニ至リ今回公主嶺ニ組織セル昌圖
 府、奉化懷德二縣、聯合ノ防疫總局ヨリ胡承瑞ヲ主任トシ醫師史惠敦氏等十四名外ニ防疫隊北洋軍八十八名來着
 シ病院隔離所、ヲ増設シ豫防注射ヲ實施スル等、大ニ防疫ノ方法ヲ講究シ在來ノ施設ヲ變シツツアリ依テ此後ハ大
 ニ見ルヘキ効果ヲ奏セント信ス、此一隊ハ新ニ上海ヨリ來タル斷髮洋裝ノ輩ニシテ鼠疫ニ對スル智識モ深キカ如シ
 此地ノ施設ヲ終リタラハ殘留員ヲ置キテ漸次五家子、大嶺、懷德ニ應援スル筈ナリト云フ

尙ホ調査員ノ宿セル商家ニハ豫防注射ヲ爲セルモノ七、八人アリ、家屋モ清潔ニシテ石炭酸ノ撒布豫防ヲモ爲セリ就
 テ間ヘハ兼テ當地ニハ在長春英國人ノ設立セル基督教宣講所ヲ去ル二月二十七日醫師出張シ來リ各信者ニ向テ鼠
 疫ニ對スル病理、豫防方法等ノ印刷物ヲ配布シ且ツ勸誘シテ豫防注射無代治療ヲモセシメナリ爾後等ハ斯教ノ傳導ニ
 意ヲ注ケル熱心ノ度ト支那人操縦ニ巧ナルコトニハ實ニ感驚ノ外ナシ
 依リテ目下ノ施設宜キヲ得ハ當地ノ鼠疫ハ或ハ意外ニ速クニ終熄シ得ベキカト考察ス當地目下ノ商況亦各地ト同シク
 死滅セルガ如ク寂寥タル去レ同近來公主嶺ニ向テ大豆ヲ發送セル店モ二三戸アリト云フ
 目今當地ノ市價ハ大ニ如シ

- 大豆 壹石 小洋錢 十二元四十錢
- 高粱 壹石 小洋錢 七圓八十錢
- 當地ヨリ平年公主嶺、范家屯ニ發送スル額ハ約
- 公主嶺 壹萬石 馬車運賃 一斗 四錢
- 范家屯 貳萬石 同 四斗 十錢
- 當地ハ重價ヲ商賈ハ左ノ如シ
- 福源 德 油房 雜貨 棧店
- 利天生 油房 雜貨
- 萬增德 油房 雜貨
- 德興店 油房 雜貨 棧店
- 萬發泉 燒鍋 雜貨

萬發當 當舖

第七日 三月六日 午前六時出發

小黒林子 自黒林子 十清里

七名傳染疫死シタルモ去ル二月二十二日頃ヨリ終熄セリト云フ防疫ニ就テハ黒林子ヨリ出張シ屍体ノ燒棄家屋ノ清毒ヲ爲シ居ルノミ

大黒窪 自黒林子 二十清里

戸數約十五、六月去ル二月廿日迄ニハ耿某ノ一家ヲ全滅セシメ二十餘名ノ斃死者ヲ出シタルモ目下終熄セリト云フ

五家子 自范家屯 十五清里

戸數ハ附近ノ部落トモ合シテ三十餘戸、商賈トシテハ一ツノ燒鍋及ヒ雜貨商ノ德盛泉アルノミ他ハ七、八戸ノ小賣商ニ過キス、防疫ノ當地ヲ犯セシムルヲ漸ク去ル二月十八日頃外來者一名死亡シ次テ三名斃死セルノミ定住者ニハ未ダ一名モ發病者ナシト云フ然レトモ恠ハ信シ難シ

防疫ニ就テハ駐在巡警兼掌シ市街ノ兩端ニ交通遮斷ヲ爲シ外來者ヲ防ケリ

隔離所アルモ目下空虚ナリ近ク黒林子ヨリ新防疫隊來着ノ管ハ大黒窪ニシテ

當地ヨリ大嶺間ハ交通モ頻繁カラスアルヲ以テ街道ニ沿ヘル郭家爐下窪子、生子屯、如キモ斃死者ナシト云フ

事實ハ大嶺間ハ支那人對シテハモトモニハ信シ難シ

大嶺 范家屯ニ四十五清里、黒林子ニ三十里、懷德ニ五十清里、大嶺ニ長春ヨリ懷德ニ到ル順路ニ當リ長春ニハ七十清里ナリ、戸數約四十戸、人口約七百人有リ、大嶺ハ商賈ハ懷德、黒林子ニ近キヲ以テ少ク且同地ヨリ支店、出張所アリ重ナルモ、天和厚、(油房雜貨) 德盛源(雜貨棧店)位ナリ

黒疫ノ當地ヲ襲ヒタルハ正月初旬ニシテ當利長春ヨリ南下セントセル苦力體ノモノ劉家小店ニ斃死シ續テ孫某ヲ斃シ、商賈廣順盛一家十一人ヲ全滅セシメタリ、去レト去月二十三日頃ヨリ稍々終熄ノ氣勢ヲ示シタルモ昨日(三月五日)一名斃レタリト未ダ全ク疫勢ノ終熄トハ云ヒ難キモ近ク防疫應援隊來タレハ近キ將來ニハ終熄スヘキト信ス防疫設備ハ五家子ト大差ナシ巡警局分所長劉廣昇部下ヲ督シテ兼掌シ居レリ

第八日 三月七日 午前六時出發

白龍溝 自長春 七十清里

新開河 自長春 五十五清里

戸數約二十戸、此地ハ長春府、懷德兩縣ノ管界ニシテ路上死亡者屍體始末ノ難争アリシト云フ

白龍溝 自長春 四十清里

長春、大嶺間ノ宿店永發店アリ雜貨ヲモ商フ、戸數約三十九戸アリ、定住者ハ一名ノ疫死者モ出ササレト外來者六名、去月二十日頃斃レタリト云フ目下終熄セルカ如シ

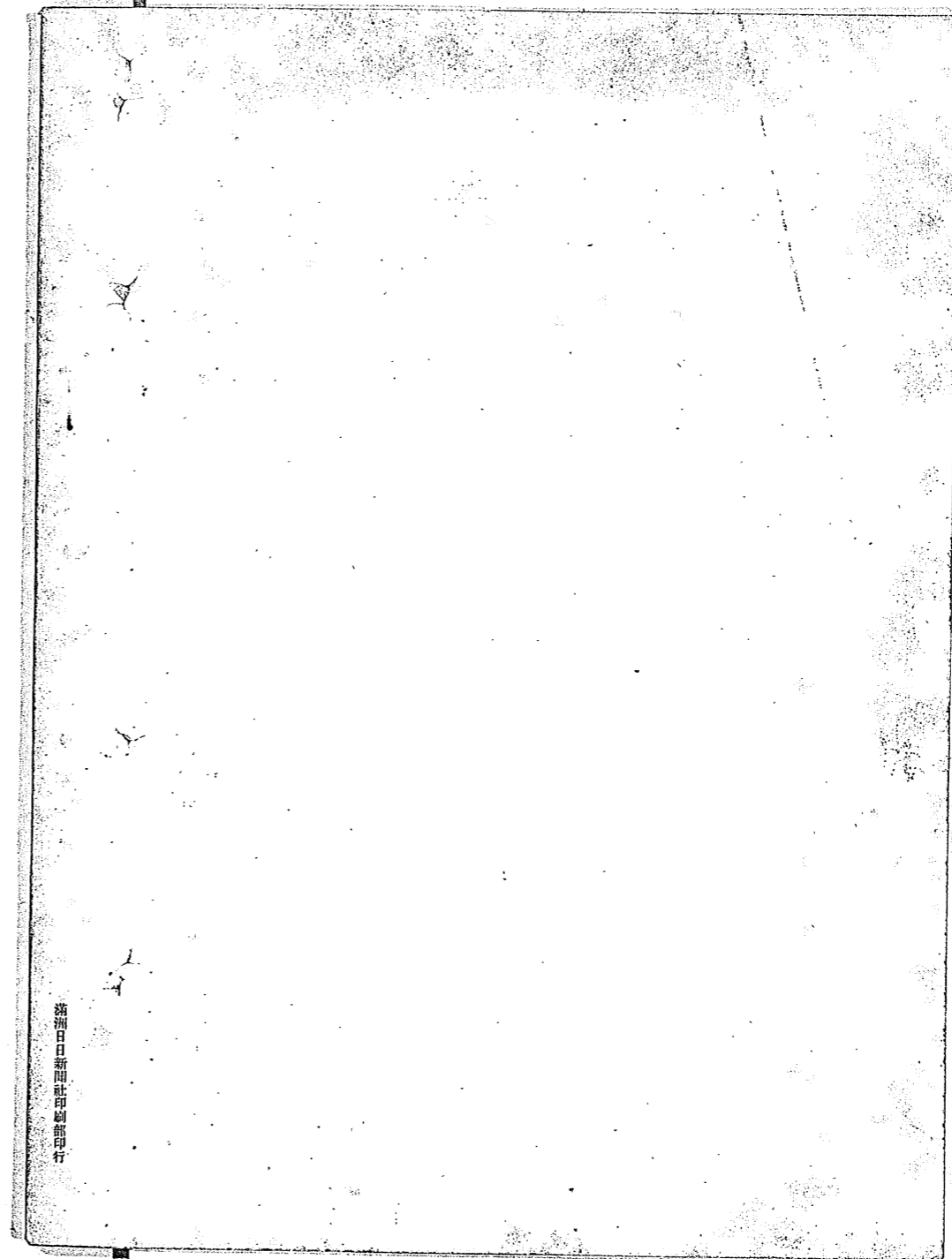
二十里堡 自長春 二十清里

當地ハ孟家屯驛ニ近ク曾テ同驛積込苦力死シスルヤ同居者當地ニ逃亡シ來リ或ハ長春ヨリノ交通繁シキ爲メ病毒ノ散布モ激シク死亡者モ三十名ニ上ルト云フ目下終熄セリト云フモ信シ難シ當地ニハ鞍山屯ヨリ日々巡警出張シ來リ

戸口検査ヲ實施シ居レリ

又々裕成店ニハ(赴奉留驛所)ナルモノヲ設ケ長春ヨリ南下セントセル苦力輩ヲ收容シ目下十三名アリ、十里堡ニモ目下發病者ナキカ如シ

午後四時西門外通過歸宿



滋洲日新報印刷部印行

3-2597

0535

通函



ペスト防疫施設報告書 其十六

關東都督府臨時防疫部

四十四年 五月 二十五日 發行

第一課

水

3-2597

0536

防疫施設報告書(其十六)

前報告後即三月二十五日ヨリ同月二十五日ニ至ル五日間ニ於テ防疫ニ關シ施設シ

タル事項並同伴ニ關シ各方面ヨリ得タル重要事項ヲ通報等各要旨ヲ列舉スルハ左列如シ

一 防疫ニ關シ證明手数料ハ徵收セザル件左ノ通府議決定セラレ(三月二十日) 州民政署告示第

州民政署告示第土四號ニ依ル證明手数料徵收セズ(三月二十日) 州民政署告示第

一 清國官憲ニ對シ報酬ヲ受ケル件(三月十八日付庶務課長訓令) 滿鐵副總裁官廳照會(甲第)三〇三號

一 本溪湖知縣陶氏ヨリ弊社本溪湖經理係主任ニ別紙寫シ通防疫醫員ニ對スル報酬ノ件ニ

付來書ノ次第モ有之弊社ヨリ於テ知縣ニ希望ヲ容シ可然カト被存候得共貴部醫員ニ對

シ御取扱上同ニ致度候付テ貴部醫員ニ對スル報酬金差出候場合ハ如何可爲致

立裁貴部御取扱上ノ振合豫メ御内示被下度 中土興業(株) 本溪湖支店 代表 陶氏

其(別紙寫) 本溪湖知縣陶鶴章ヨリ本溪湖經理係主任宛テ來ル書信(譯文) 拜啓先日協定章程ニ照シ田邊大山ノ兩君ニ正月分ノ報酬金ヲ送付致候處其ノ後返書ヲ以

拜啓先日協定章程ニ照シ田邊大山ノ兩君ニ正月分ノ報酬金ヲ送付致候處其ノ後返書ヲ以

テ堅ク之ヲ辭シ來ラレ候就テハ再三其受納方相勸候得共仍無報酬ヲ希望スル旨申出ラレ
候然ルニ報酬ヲ受ケテ兼任スルコトナリ居ルハ載セテ協定章程ニ在リ今マ田邊君等カ
其報酬ヲ拒ンテ受納セサレハ自然其協定章程ハ信用ヲ失フコトナリ小生ハ獨リ中間ニ
立チテ困リ居候依テ貴下ニ對シ委細ノ事情ヲ申上度次第ニ有之候即チ田邊、大山兩君ハ
弊縣防疫醫師ヲ兼任シ特ニ弊國ノ上司ニ報告致シ居ラス候得共民間ニ於テ之ヲ知
サルモノナク故ニ線路外ノ高家殿子等ノ地ニ檢疫ノ爲メ出張ヲ煩ハシタル旨申出ラレ
民モ亦之レヲ信服致居候其無報酬ヲ主張セラルルハ線路附近ノ防疫事務ニ從事シ線
路外ハ田邊、大山兩君ハ其責任ヲ負ハサルノ意アルモノ、如シ既ニ責任ヲ負ハストセハ
弊縣ハ直ニ防疫作業ニ不便ヲ感セサルヲ得ス一朝遠方ニ防疫上必要ナル事故發生センカ
之レヲ不問ニ付シ置ク能ハス必ス別ニ醫師ヲ聘シテ之ニ備ヘ置カサル可カラズ斯ノ如キ
コト、ナランカ協定章程ノ違背ハ其責君ニ在リテ我ニ在ラサルナリ況シヤ他ヨリ醫士ヲ
聘スルコト、モシカ止司カ何人ヲ任命スルモ知レズ斯ノ如クンハ雙方ノ事務進行上
互ニ掣肘ヲ免レヌ又田邊君等ノ防疫上ノ措置ニ對シテハ人民等近來頗ル其効果ヲ認メ居
レリ此ノ際突然他ヨリ醫士ヲ聘スルカ如キコトニナリテ種々疑念ヲ起スラ免レ難キナ
リ今回ノ報酬ハ小生ノ微衷ニ過キスシテ亦田邊君等ニ在リテモ其ノ數ノ些少ヲ嫌ハレダ
ルニハアラサルヘシ夫レ醫仁術ナリ虚心ニシテ事ニ當ラレナハ獨リ我ノ便ヲ得ルノミニ

アラス實ニ兩國人民ノ幸福ナリ又彼我共同事務ヲ爲シ兼任シテ防疫事務ヲ執ラシカ作業ノ
進捗上大ニ便宜アリテ些ノ障害ナク若シ然ラスシテ他ヨリ醫師ヲ招聘セバ既ニ協定章程
ニ違背シ加之意見ノ合ハサル處アリ即チ他日之ガ爲ニ意思ノ疏通ヲ缺カシカ恰ハ貴下ニ
歸セサル可カラズ依テ茲ニ特ニ書面ヲ以テ申上ケル次第ニ候何卒此旨田邊、大山之兩君
ヘ傳達シテ輕少ヲ嫌ヒ拒ンテ納メサルカ如キコトナキ様取計ヲハル、カ或ハ此ノ書面ニ
次第ヲ貴本社ヘ傳達セラレ彼等ニ命ジテ受納セシメラレ度庶クハ協定章程ハ永久有効ニ
シテ防疫事務ノ補助トモナラハ幸甚ノ至リニ存候先ハ右申上度尙御答相成度云々
(2) 防疫部庶務課長ヨリ滿鐵副總裁ヘノ回答 (三月二十四日關防) (第三四六一號)
三月十八日付庶甲第一二〇二號ヲ以テ當部醫員等ニ清國官憲ヨリ報酬贈與ノ場合ニ
於ケル受否ノ件御問合ノ趣了承右ハ鐵嶺ニ於テ原田醫師ニ知縣ヨリ同醫師辭職ノ際金
五十圓ヲ贈與シ又長春ニ於テ清國側ノ消毒方法ノ訓練及援助ニ從事シタル我消毒班ニ
對シ謝禮トシテ物品ヲ寄贈セラレ之ヲ收受シタル實例有之候尤モ金員ヲ受領スルハ或
ハ弊害ナキヲ保シ難キニ付金員ハ之ヲ謝絶セシメ度意見ニ有之候得共若シ強テ之ヲ謝
絶スル爲ニ先方ノ感情ヲ害スル等ノ事情不得已場合ニ限り收受セシメ度方針ニ有之候
間右様御了知相成度
三、燒却物品賠償ニ關スル件

三
長春支部長伺 (三月二十二日長防)
第四七二號ノ四

(1) 防疫課長通牒 (三月二十四日關防)
三月二十二日付關防第九〇號防疫上家屋其ノ他物件焼却費ノ支出ヲ要スル場合ノ價格評
定並支拂證明方等ニ關スル通牒ニ依リ燒却家屋内ノ物品ニ對シテモ賠償ヲ爲スベキ義
思料致居候處客月二十三日付關防第一、二、三、五號通牒ニ依リハ燒却物品ニ對シテハ絶體
ニ手當金ヲ交付セザル義ト認メラレ候右ハ燒却家屋内ニ現實多額ノ物品ヲ所有シアル
ト明瞭ナル場合ト雖賠償ヲ爲ササル義ニ候哉果シテ然ラバ權衡上聊カ不穩當ノ措置
ニハアラサルヤト思考致サレ候ニ付何分ノ御明示相成候様致度

(2) 防疫部防疫課長通牒 (三月二十四日關防)
三月二十一日付第四七二號ノ四ヲ以テ何出相成候物品焼却ノ場合ニ於ケル賠償ノ件了承
元來ベシノ豫防ノ爲建物ニ對シ燒却其ノ他特別ノ處分ヲ行フハ患者發生家屋ニ對シ如何
ニ周密ナル消毒方法ヲ施行スルモ患者ヲ續發シ(主トシテ)「病菌」棲息スルニ基
因スル所謂「ベストバウス」ト目スベキモノニシテ到底燒却其ノ他特別ノ處分ヲ行フハ
外ニ完全ナル消毒方法ヲ施行シ得ズト認メタル場合ノ原則トシ傳染病豫防規則第十五
條ニ依リ之ヲ施行スル義ニ有之而シテ同條ノ規定ハ建物以外ニハ手當交付ヲ認メズ(内
地ニ於テモ同様トス)之ハ畢竟建物以外ノ物件ハ四十年九月通牒消毒方法第二條ニ示ス
カ如ク該ノ消毒ニ汚染ノ消毒後再々用ニ供スル目的ガ又ハ消毒スベキ物件ノ價格

カ消毒ニ要スル價格ヨリ低廉ナル場合ニ燒却スヘキモノナルヲ以テ徒ラ多額ノ高價
ナル物品ヲ燒却スルノ必要ヲ認メザルニ依ル次第ニ有之且物品ハ建物ト異リ燒却其
他特別ノ處分ヲ行フニテラサレハ完全ナル消毒方法ヲ行フ能ハサルモノニ無之候得ハ若
シ萬一病毒ニ汚染シタル多額ノ高價ナル物品ナル場合ニハ適當ノ消毒方法ヲ施行シ燒却
處分ニ付セザル様御取扱相成度

(參照) 傳染病豫防規則(四十二年九月府令第四十七號)

第十五條 傳染病毒ニ汚染シタル建物ニシテ完全ニ消毒方法ヲ施行シ得スト認ムルトキ
ハ民政署長ハ關東都督ノ認可ヲ經テ其ノ建物ニ對シ特別ノ處分ヲ行ヒ且其ノ處分ヲ爲
必要ナル土地ヲ使用スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ豫メ其ノ旨ヲ所有者又ハ管理人ニ告知シ處分ヲ行ヒタル上民政署
長ハ相當ト認ムル手當金ヲ交付スルコトヲ得
◎傳染病豫防法(二十三年三月法律第三十六號)
第十九條ノ二 傳染病毒ニ汚染シタル建物ニシテ消毒方法ノ施行ヲ不適當ト認ムルトキ
ハ地方長官ハ關係市町村會ノ意見ヲ聞キ内務大臣ノ認可ヲ得テ其ノ建物ニ對シ別段ノ
處分ヲ行ヒ且其ノ處分ノ爲必要ナル土地ヲ使用スルコトヲ得

前項の場合ニ於テハ損害ヲ受ケタル建物ノ所有者ニ手當金ヲ交付スヘシ

手當金ヲ交付並手當金額ノ決定ニ關シ必要ナル事項ヲ命令ヲ以テ之ヲ定ム

◎消毒方法 (四十年九月十日民警發第九六八號通牒)

第二條 燒却ニ適スルモノハ左ノ如シ

一、傳染病患者若ハ屍體ニ用井タル被服、臥具、布片、便器其ノ他ノ器具等ニシテ甚シク汚染シ、消毒後再ヒ用ニ供スルノ目的ヲキモ、

二、傳染病患者ノ吐瀉物其ノ他ノ排泄物及動物ノ屍體等

三、消毒スヘキ物件ハ價格ハ消毒ニ要スル價格ヨリ低廉ナル場合ハ寧ロ燒却スル可シ

四、各支部長ハ左ノ通牒ヲ發シタリ (三月二十二日)

ハ發單防遏ノ爲内地各縣ヨリ轉任シタル巡查ニ關シ本府巡查ノ例ニ倣ヒ考査表ヲ作製シ

四月十五日迄ニ報告相成度

五、防疫以爲ニ時附屬地外ニ立退タル清國人ニシテ近來歸還シ止營業繼續ヲ願出ツル者ハ

前此等歸還者ハ他ニ差支ラ生セザル範圍ニ於テ停留所ニ收容シ七日間ヲ經テ後在在居

ル向テリシヲ以テ之ヲ官費支辨ノ決定ニ關係ノ向ヘ通牒シタリ (三月二十二日)

六、本期間ニ於テハスト防疫上ニ關シ發セラレタル告示左ノ如シ

(1) 歐洲直通旅客ノ件 (明治四十四年三月十一日)

歐洲ヨリノ旅客ニシテ途中下車セサル旨大連檢疫官ヲ證明アル者ハ大連ニ於テ五日間ノ

隔離ヲ要セズ上海ニ入港上陸スルヲ得ル旨大連稅關長ヨリ通知アリ

(2) 大連天津秦皇島ヨリ上海ニ入港スル船舶檢疫ノ件 (明治四十四年三月二十四日)

在上海有吉總領事ヨリ大連天津秦皇島ヨリ上海ニ入港スル船舶檢疫ノ件ニ關シ左ノ通報

アリ

三月三日獨逸總領事館ニ開會セシ防疫會議ニ於ケル委員ノ決議セシ規則 (譯文)

大連

大連ヨリ以テ公報ニ據レハ該港ハ目下「スト」消滅シ該病ノ侵入ニ對シ嚴重ナル方法ヲ採

取ルニ以テ該港ヲ流行地ト認定シタル布告採取消毒ヲ可ラス然レドモ該港ニ對シ

「スト」流行地ニ甚ク接近シ其ノ門戶ヲ爲スルニヨリ大連ヨリ入港シ船舶ニ對シ來少制

限(全然廢止スルヲ得サルヲ以テ爾今左ノ寬大ナル規則ニ遵フヘシ

船舶大連ヨリノ乗客ヲ搭載シテ入港シ該乗客ハ少クトモ五日間該港檢疫官吏ノ監視ヲ受

ケ乗船ノ時無病ヲ示シテ證明スル證明書ヲ所持シ吳淞沖ニ停船地點ニ到達シタルトキ

乗客中患者ヲ發見セサルトキハ檢疫ノ爲尙停船ヲ命ズルコト無ク港務檢疫官吏檢疫後

直ニ陸上交通免狀ヲ交附ス但シ該船舶ハ荷物ノ陸揚、船積、燻蒸及鼠族ノ土陸防止ニ關シテハ、
テハ、
天津及秦皇島
天津(塘沽ヲ含ム)及秦皇島ヨリ入港セル船舶ハ大連ヨリ入港セル船舶ニ適用スル規則ニ
違ハサル可カラス但シ乗客ノ停留所ニ停留セラレタル證明書ニ同地ノ稅務司ヨリ満足ナ
ル旨ヲ記載スル裏書ヲ受ケサル可カラス又各船舶長ハ同船事務員及船員ニ對シ該諸港ニ
碇泊中流行地ニ立入ラザリシト云フ證明書ヲ與ハサル可カラズニ、
以上ノ要件ヲ具備セサル船舶ハ流行地ヨリ入港セルモノトシテ檢疫ノ爲停船ヲ命セラ
ルヘシ

(4) 芝罘ヨリ天津ニ入港スル船舶檢疫ノ件 (明治四十四年三月二十四日)
關東都督府告示第百二十七號

明治四十四年三月二十日付ヲ以テ在天津小幡總領事ヨリ左ノ通知アリタリ
芝罘ヨリ入港セル船舶ニシテ病毒ニ接近シタル事ナキ證明ヲ有スル二等船客ノミナ搭
載シ且其ノ乗組船員ガ芝罘港ニ上陸セザリシ證明ヲ有スルトキハ爾合停船檢疫ヲ免除
セラルルコトナレリ但シ右船舶ハ海港檢疫醫ノ檢疫ヲ受クルコトハ勿論ニシテ船客
ノ證明書ニハ芝罘海關長ノ副書アルヲ必要トス
(5) 上海ニ入港スル船舶檢疫ニ關スル件 (明治四十四年三月二十五日)
關東都督府告示第百二十八號

在上海有吉總領事ヨリ左ノ電報アリ

三月二十一日ノ防疫會議ニ於テ歐洲ヨリ等客ニシテ大連官憲ニ於テ歐洲ヨリ直行
シ來リタル旨ノ事實ヲ認メ健康證明書ヲ付與セラタル者ヲ五日間停留ト同様ノ効力ヲ
有スルコトニ決シ尙旅順ハ大連同様ニ芝罘、牛莊、安東ヲ天津、秦皇島ト同様ニ取
扱フコトトシ夜間荷役ヲ許シ執モ即日實施ノコトナレリ

七、旅順港防疫施設ニ關シ左ノ通信ヲ受授セ

(1) 在上海有吉總領事照會 (三月十日發信)

大連旅順其ノ他滿洲諸港ヨリ當港ニ入港スル船舶ハ先吳淞ニ於テ停船檢疫ヲ施行シ上海
入港後ニテアリテモ貨物ノ積卸ニ關シ條件ヲ附シ居候次第ハ是迄屢次及御通知置候通ニ有
之候處其ノ後滿洲鐵道會社ヨリハ屢々右解除方照會有之小官ニ於テモ大連ノ現狀最良
「ベスト」流行地ト認ムルヲ不當ヲ認メ候ニ付去ル三日當地防疫會議ニ於テ之カ解除ヲ要
求候處種々討議ノ末去ル七日付雜第七四號ノ通り可決シタル次第ハ既ニ御承知ノ通ニ有
之小官ハ之ト同時ニ旅順ヨリ入港セル船舶ニ對シテモ大連同様ノ手續ニ據ラシメタリ
應右ノ趣提議候得共原來防疫會議ニ於テ大連ヨリ入港セル船舶ニ對スル檢疫ヲ寬ナラシ
メタルモノハ同港官憲等ニ於テ「ベスト」豫防法ヲ嚴重施行セル外乗船セントスルモノ
對シ少クモ五日間抑留シ又船員等ノ陸上トノ交通ニ關シテモ相當ノ取締ヲ爲ス

ソナルモ旅順ニ於テハ之等ノ點ニ關シ如何様ノ手段ヲ講シツアルヤ不明ニ付大連同様
ノ取扱ヲ爲ス運至至兼居候去ル一月以來貴港ヨリ上海ニ來レル船舶ハ僅ニ二三隻ニ過
ギサル趣有之候へ共此際旅順ヨリ入港スル船舶ニ對シテモ大連同様ノ取扱ヲ爲サシメ
候事ハ船主側ヨリ大ニ利便ノ義ト存候ニ付之等船舶ニ對スル貴港施設ノ程度等大略御
報相成度

(2) 臨時防疫部長回答 (三月二十二日)

三月十日付第四八號ヲ以テ旅順ニ於ケル防疫ノ件ニ關シ御照會ノ趣了承致候我カ關東州
租借地ニ於テハ大連ニ於ケル客月五日發生ノ患者ヲ最終トシ爾來四十餘日間貴州
者ヲ發生セシ旅順ニ於テハ海陸警戒ノ結果最初ヨリ全ク患者ヲ發生セズ而シテ關東州
及州外鐵道附屬地ニ入ル者ニ對シテハ凡テ七日以上停留所ニ收容シ健康ヲ確認シタル上
ニ非サザラ許可セズ又山東省及渤海灣沿岸各地ヨリ船舶ニ依リ來航スル者ニ對シテ
モ大連ノ外ハ七日間以上停留所ニ上ニ非サレハ上陸ヲ許可セズ大連ニ於テハ停船ヲ命セサ
ルモ船客ハ凡テ陸上ニ於テ七日間以上停留シ何レモ健康ヲ認メタル上ニ非サレハ交通ヲ
許サズ之ヲ要スルニ關東州及州外鐵道附屬地内ニ居住又ハ管外ヨリ來リタル日本兵ハ勿
論清國人ト雖モ凡テ入ルニ對シテ健康者ノミナルヲ以テ大連、旅順等ヨリ各地ニ行ク
旅客ハ途中有病地ニ立寄ルニアラサル限リハ全ク純潔ナル者ニ付右御含ノ上此上トモ可

然御配慮相煩度
八、大連支部長ヨリ左ノ電報アリ現狀ニ徴シ適應ノ措置ト認メ認可シタリ (三月二十一日)

署令第... 號州外ヨリ來ル支那人ノ旅館以外宿泊禁止ノ件ヲ廢止シ同第四號三、臥少群
集スルキ催シ以許可ヲ要スル件七、支那人ノ露店及飲食物行商禁止ノ件十、日休臥少
料理屋賃座敷ニ下等支那人ノ登樓禁止ノ件ヲ刪除シ同六、支那人ニシテ夜間ノ下ニ(十
二時後)ヲ追加シ件評議會ニテ決議セリ直ク發令シタリ認可シタリ (三月二十一日)

九、奉天以北ヨリ大連ヲ經テ内地行船客ニ對スル制限廢止ノ件 (三月二十一日)
十、奉天以北ヨリ大連ヲ經テ内地行船客ニ對シテ大連ニ四十八時間以上滞在スルニ非サレハ
大阪商船會社ニ於テ乗船券ヲ發賣セサルノ制限ハ旅客ニ對シ甚タシキ不便ヲ與フルノミ
ナラス現在ノ病況ニ依リテ全ク其ノ必要ナシニ付協議ノ上昨二十日限リ之ヲ廢止シ各關
係ノ向ニ夫々通報シタリ

十、師團交代ニ際シ汽車消毒等ニ付左ノ通牒ヲ發シ尙關係ノ向ニ通知シタリ (三月二十四日
三號庶務課長ヨリ大連)
大連港南支部長(通牒)
今般師團交代ニ際シ汽車消毒等ニ關スル件左ノ通都督府軍醫部長ト協定候ニ付此段及通
牌候

削除第六夜間ノ下ニ十二時以後ヲ追加ス
 本令ハ公布ノ日ヨリ施行スル
 (3) 同左ノ告示ヲ公布セラルル
 (明治四十四年三月二十二日) 告示第二十二號
 明治四十四年二月告示第九號(奉天以北ヨリ大連ヲ經テ内地ヘ渡航セントスル者ハ大連ニ四十八時間滞在シ當署ノ證明書ヲ有スル者ニ非サレハ大阪商船會社ニ於テ乗船切符ヲ發賣セザル件)ハ之ヲ廢止ス
 (明治四十四年三月七日) 訓令第四號第二十二號

沿海防疫従事員勤務規程

第一條 防疫上沿海取締ノ爲極要ノ地ニ監視所ヲ置ク監視所ハ其ノ所在ノ地名ヲ冠稱ス
 第二條 監視所ニ所要ノ巡查、巡捕及壯丁ヲ配置ス
 第三條 前項ノ外必要ト認ムルトキハ警部補ヲ配置スルモアルベシ
 第四條 監視所ノ位置受持區域及配置人員ハ支部出張所ノ管内ニ在リテハ出張所長之ヲ定メ報告スヘシ
 第五條 警察官吏ヲ配置セザル監視所ハ監督上便宜ノ地ニ在ル監視所勤務ノ警察官吏ノ監督ニ屬ス
 第六條 監視所勤務ノ上席警察官吏ハ其ノ受持區域内又ハ前項ニ依リ其ノ監督ニ屬スル區域内

沿海取締ニ付其ノ責任スル者

第五條 沿海防疫従事員ノ通常勤務ハ警備警邏及交通ニシテ警察官吏配置及勤務規程並巡查勤務細則ノ規定ヲ準用ス但シ警察官吏又ハ巡捕ヲ配置セザル監視所ニハ日誌ヲ備フルノ限ニ在ラス前項ニ依ル勤務ノ方法ハ出張所管内ニ在リテハ出張所長之ヲ定メ報告スルベシ
 第六條 防疫上必要ト認ムルトキハ臨時船舶ヲ備入レ海上ヲ警邏スルコトアルヘシ
 第七條 關東州沿海ニ限リ航行スル船舶ハ左ノ各號ニ依リ處理ス
 一、其ノ地ヨリ出航スル船舶ニ對シテハ當該監視所警察官吏ニ於テ別記第一様式ノ證明書ヲ下附スルコト
 二、船客及船員ハ自由ニ乗降セシムルコト
 三、明治四十四年二月署令第五號ニ定ムル輸入禁止品(以下單ニ禁止品ト稱ス)ヲ除ク外ハ自由ニ積卸ヲ爲サシムルコト
 四、寄泊シタル船舶ノ證明書ヲ檢閲スルコト但シ證明書ヲ有セザルモ關東州内ニ限リ航行スル船舶ナルコト明白ナルトキハ第一號ノ手續ヲ爲スコトヲ得
 五、一旦寄泊シタル船舶ニシテ出航セントスルモノニ對シ其ノ證明書ヲ寄泊及出航ノ日時並目的其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記入シ認印ノ上交付スルコト

裏面

備考	月日		月日		月日		月日		月日		着發月日時	寄泊中ノ記事	監視所名	取扱者
	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後				

十九

表面

(寸五横)

備考	目的地	寄泊地	發航地	石數	國籍船種船名	船長氏名	證明書
右證明ス 明治四十四年 月 日 大連臨時防疫支部(何出張所)							

十八

(一)

面 裏

考 備	月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		着 月 日 時	寄 泊 中 ノ 記 事	監 視 所 名	取 扱 者
	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後				
...

(縦横表面ニ同シ)

面 表

(寸 五 横)

第二様式 (縦五寸)

證 明 書

右 證 明 書	明 治 四 十 四 年 〇 月 〇 日	大 連 臨 時 防 疫 支 部 (何 出 張 所)
---------	---------------------	---------------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

本書ハ寄泊地又ハ目的地ニ到着シタルトキハ最寄監視所ニ差出レ檢閲ヲ受クヘシ

(5) 當支部直轄監視所及其ノ受持區域ヲ左ノ通定メタリ (三) 月、二七(日) 大防第一、二六六號

設置地名	監視所名	受持區域
老虎灘會老虎灘	老虎灘監視所	棒棰島ヨリ老虎灘ヲ經テ嶺甲灣境界ニ至ル沿海一圓
嶺甲灣	嶺甲灣監視所	老虎灘境界ヨリ嶺甲灣ヲ經テ傳家庄境界ニ至ル沿海一圓
傳家庄	傳家庄監視所	嶺甲灣境界ヨリ傳家庄ヲ經テ台山前境界ニ至ル沿海一圓
沙河口會台山前	台山前監視所	傳家庄境界ヨリ台山前ヲ經テ西黒石礁ニ至ル沿海一圓
西黒石礁	西黒石礁監視所	台山前境界ヨリ西黒石礁ヲ經テ凌水河口境界ニ至ル沿海一圓
凌水河口	凌水河口監視所	西黒石礁境界ヨリ凌水河口ヲ經テ河口ニ至ル沿海一圓
小平島	小平島監視所	凌水河口境界ヨリ河口ヲ經テ小平島河口境界ニ至ル沿海一圓
河口	河口監視所	河口境界ヨリ小平島ヲ經テ旅順民政署管内佛門寺境界ニ至ル沿海一圓
夏家河子	夏家河子監視所	夏家河子沿海一圓
柳樹屯	柳樹屯監視所	劉家屯境界ヨリ柳樹屯ヲ經テ綿家島ニ至ル沿海一圓
劉家屯	劉家屯監視所	柳樹屯境界ヨリ劉家屯ヲ經テ同地以北沿海一圓
前鹽島	前鹽島監視所	綿花島境界ヨリ前鹽島ヲ經テ大鹽島境界ニ至ル沿海一圓
大鹽島	大鹽島監視所	前鹽島境界ヨリ大鹽島ヲ經テ甘井子ニ至ル沿海一圓

十六、鐵嶺支部長ヨリ左ノ報告アリ (明治四十四年三月二十三日)

(1) 交通遮斷監視所撤廢ノ件 (告示第一一十一號)

「ベスト」豫防上人馬ノ通行ヲ遮斷シタル大手町通元町通警察官監視所並附屬地界正金銀行横手大手町通南端陸軍歩哨ヲ明治四十四年五月二十三日限り撤廢ス

(2) 鼠族買收ニ關スル件 (明治四十四年三月二十二日)

明治四十四年一月二十三日告示第五號日清共同防疫事務所公布ニ係ル鼠買收方法ヲ左記

第一項中 清國銅貨參錢若シハ金二錢ト番號札一札トナテ引替買收ス
 第二項中 鼠族買收場所ヲ左ノ通追加ス
 臨時防疫部 鐵嶺支部

- 同 開原出張所
- 同 昌圖出張所
- 同 雙廟子驛
- 同 桓勾子驛
- 同 滿井驛

同 馬仲河驛
 同 金溝子驛
 同 中固驛
 同 平項堡驛
 同 得勝臺驛
 同 新臺子驛

第三項 一千五百達改ル毎ニ以テ「日本官憲及清國官憲」各別ニ「ナ加フ尙」洋銀拾圓「トアルヲ」金八圓「洋銀五圓」トアルヲ「金四圓」ニ「洋銀二圓」トスルヲ「金一圓」ニ改メ、
 第六項 旅順支部長ヨリ左ノ報告アリ (三月二十二日)

當支部検査醫ヲ以テ營城子驛ヲ衛生状態ヲ視察セシメ、左ノ復命アリ
 (一) 乗客ノ健康診断
 旅順及大連行列車ノ乗客中乗車苦力九名下車苦力十二名合計二十一名ニ對シ健康診断ヲ施行シ、異状ナシ通過苦力ニ對スル亦同シ
 (二) 附近部落衛生視察
 營城子會小磨子部落ヲ視察スルニ一般衛生状態ハ防疫開始以來嚴重ノ督勵ニ依リ佳良

殊ニ清潔状態ハ家屋ノ内外ヲ通シ遺憾ナシ又健康状態ニ一番戸ヨリ二十番戸ニ至ル人員百廿三名内男五十五名女五十九名ニ對シ検査スルニ半身不隨者一名アリ、
 其ノ他除鼠方法特ニ飼猫ハ各戸ニ全シ、
 (三) 意見
 船ノ部落ニ於ケル飲料水供給ハ無蓋ノ堀井戸ニ於テ一定ノ汲水容器ヲ使用スルモノナク各自清潔ナラザル器物ヲ以テ隨意ニ汲水シツテ之ヲ改良策ヲ講スルハ傳染病豫防上一大要件ナラント思料ス

十八 大連支部長ヨリ左ノ報告アリ
 (一) 中間驛ニ於ケル衛生状態 (三月二十日)
 當支部検査醫ヲ以テ中間驛ノ衛生状態ヲ視察セシメ、左ノ復命アリ
 (一) 視察方面及狀況
 臭水子驛 (人員二十四名) 北泡子崖保線出張所 (人員十二名) 沙河口保線出張所 (人員十六名) 革鎮堡保線出張所 (人員六名) 南關嶺驛 (人員五十二名) 前南關嶺保線出張所 (人員九名) 大房身保線出張所 (人員十一名) 南關嶺驛附近採石苦力 (人員八十二名) 夏家河子驛 (人員三十名) ニ對シ健康診断ヲ行フニ臭水子驛ニ於テ苦力一名感冒ニ罹リ就床ニ居ルヲ認メタル外患者無ク健康状態佳良ナリ

(五) 臭水子驛附近ニ於ケル一般衛生状態

土著住民及日本人ニ使役セラルル支那人中會社ニ使役スルモノハ一定ノ宿舍ニ起臥シメ若シ濫ニ外出シタル者ハ解雇スルヲ例トス臭水子警察官吏派出所巡查ハ時々管内ヲ巡察シ檢病的戸口調査ヲ行ヒ疑ハシキ患者アリタルトキハ小野田セメント會社囑託醫ニ依頼シ檢診セシメ居シ時村民ハ團體ヲ組織シ警戒線ヲ張り苦力ヲ進入ヲ防クト同時ニ盜難豫防ニ從事シ居レリ井水ハ深層ヨリ湧出スル地底水ニシテ肉眼の色臭共ニナク清潔ニシテ稍佳良トモ海邊ニ接セル部分ニ於テハ稍汚味ヲ有ス

(三) 南關嶺驛附近ニ於ケル一般衛生状態

一般農夫ヲ以テトテ身體強壯ナルモノ多ク疑ハシキ患者ヲ發見セス井水ハ一般ニ清涼色臭共ニナク稍佳良ナリ糞便ハ一定ノ場所ニ厠圍ヲ設ケ各用便毎ニ其ノ上ニ土砂ヲ覆ヒ堆積スル之ヲ田野ノ肥料ニ供シ塵埃意亦相當ニ排除シ肥料正爲ニ要スルニ衛生状態ニ就キ憂クヘキ點ヲ其ノ餘ハ無シ

(四) 夏家河子驛附近ニ於ケル一般衛生状態

夏家河子附近ニ沙包子稱スル部落アルノ他ハ一里以上ヲ隔テリ此ノ村ニ就キ視察スルニ別ニ疑ハシキ患者ヲ認メテ沿岸戒克船ヲ進入防止トシテ警察官ニ於テ監視掛ヲ設ケ警戒シ居レリ飲料水ハ主トシテ井水ニ仰キ水質ハ一般ニ清涼ニシテ佳良ナルモ

稍汚味ヲ有ス其ノ他衛生上懸念スヘキ點ナシ

(2) 沿岸防疫監視所監視區設定ノ件 (三月二十三日)

沿岸防疫監視所監督ノ爲警部補ノ監視區別表ヲ通リ設定シタリ

(別表) 出入船隻監視

第一監視區(大鹽島、夏家河子)ニ監視所ハ警部補本署駐在甲乙部各一名

第二監視區(老虎灘、嶺申灣傅家莊)ニ監視所同上

第三監視區(嶺山前、西黑石礁、小平島)ニ監視所 監督警部補小平島駐在一名

第四監視區(前鹽島柳樹屯、劉家屯)ニ監視所同上 柳樹屯駐在一名

十九、金州防疫出張所長ヨリ左ノ報告アリ

(1) 管内徒歩旅行者制限解除ノ件(三月二十五日) 沿岸防疫監視所監督警部補本署駐在甲乙部各一名ニシテ管内ノミヲ相往來ヘスト豫防ニ必要トシ一般交通者ヲ取締ルト同時ニ當署管内住民ニシテ管内ノミヲ相往來スル者ニ對シテモ亦同様證明書ヲ交付シ嚴重取締來リ居候得共最早當署管内ニ在リテハ病毒存在潜伏等ノ虞アリヲ認メ殊ニ時恰モ農耕期ニ際シ各會相往復スル者追日増加セリトスルノ場合尙ホ從來ノ制限ヲ維持スルトモハ地方經濟上ニ及ホス影響不尠依テ此ノ際南山歩哨線ヲ經テ南行スルモノ及州外ニ旅行スル者ニシテ證明書ヲ交付シ又州外ヨリ歸來或ハ進入スル者ニ對シテ從來ノ通取締ヲ爲スノ外當署内(普蘭店魏子窩兩出張所管内)

(送合) 在住者ニシテ管内所限リ旅行スル者ニハ全然制限ヲ解除シ來ル本邦五月五日以前實施候條及報告候條ニ依リ其制限ニ報告スル者ニシテ其制限ヲ交付スル候條ニ依リ

(2) 沿海防疫従事員勤務心得制定ノ件 三月三十日海防部令陸軍省警務司ニ依リ

沿海防疫従事員ハ明治四十四年三月七日大連臨時防疫支部訓令陸軍省警務司ニ依リ

勤務規程ニ據ル外本心得ニ據リ勤務スルニ依リ

△沿海防疫従事員勤務心得 第一條 沿海防疫従事員ハ其職務ニ當リ

第一條 沿海防疫勤務規程(以下單ニ稱ス)第二條ニ依リ監視所ノ名稱位置受持區域及其配置

第三條 定員別ニ之ヲ指定ス

第三條 監視所ニ依リ巡查巡捕ヲ外壯丁ヲ附屬シ

第五條 監視所ニ依リ簿冊ヲ備フ

第六條 諸例規程編纂ノ旨ニ合シテ簿冊ヲ編纂索引ヲ付ス

第七條 雜書編入ノ旨ニ合シテ簿冊ヲ編纂索引ヲ付ス

第八條 出入港許可原簿

第九條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第十條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第十一條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第十二條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第十三條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第十四條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第十五條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第十六條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第十七條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第十八條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第十九條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

第二十條 陸軍省警務司ニ依リ(船舶寄泊指定港灣監視所ノ限リ)

(七) 勤務表

八 出勤簿

九 警備線路圖

十 交通簿

十一 監視區

十二 監視區監督

十三 監視區監督

十四 監視區監督

十五 監視區監督

十六 監視區監督

十七 監視區監督

十八 監視區監督

十九 監視區監督

二十 監視區監督

二十一 監視區監督

二十二 監視區監督

二十三 監視區監督

二十四 監視區監督

二十五 監視區監督

二十六 監視區監督

二十七 監視區監督

二十八 監視區監督

二十九 監視區監督

定スルハ、警邏線路ニハ必要ニ應ジ警邏表ヲ配置ス警邏表配置シ箇所ハ別ニ之ヲ定ムルハ、警邏表ハ、警邏線路ニハ必要ニ應ジ警邏表ヲ配置ス警邏表配置シ箇所ハ別ニ之ヲ定ムルハ、警邏度數ハ晝夜ヲ通シテ一人三回以上トシ夜間警邏ハ全數ノ三分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス、交通ハ各監視所勤務員諸般ノ狀況ヲ互報連絡ヲ取り及文書物件ヲ遞傳受授ヲ行フ爲毎日一回宛午前中受持區域内沿岸警邏ヲ兼テ行フヘシ但交通地點及日付ハ別ニ之ヲ定

第八條 規程第十三條ニ依リ關係各所ニ通報シ必要アルモツト、金州支署管轄内ニ係ル分ハ便宜ノ方法ヲ以テ互報シ他管内ニ係ル分ハ船舶出入港許可報告書様式ニ依リ所屬出張所長ニ報告ス、張所長ニ報告スルハ、船舶出入港許可報告書様式ニ依リ所屬出張所長ニ提出スヘシ

第九條 防疫ニ關スル諸報告ハ左ノ例ニ依リ所屬出張所長ニ提出スヘシ
第一即報
(一) 規程第九條ニ依ル船舶ノ入港シタルトキ
(二) 同十條ニ依ル健康上異狀アル者ヲ發見シタルトキ
(三) 同第十二條但書ニ依ル漂着船アリタルトキ
(四) 屍體ヲ發見シタルトキ

(五) 其他防疫又ハ警察上重要ト認ムル事項

一日報

一) 停船ヲ命シタル場合ハ其顛末

(二) 上陸者ヲ停留シタルトキ又ハ停留ヲ解キタルトキ

(三) 指定地外入寄港船ヲ拒絕シタルトキ

(四) 船舶出入港許可報告(別紙様式ヲ示ス)

二三日報

(一) 沿海防疫狀況

第十條 普蘭店鴉子窩出張所長ハ前條即報ニ屬スルモノハ即日日報及三日報ハ一週間毎ニ金州出張所長ニ報告スヘシ

第十一條 規程第七條一號ノ證明書ハ取扱者ノ認印ノ上交付スヘシ

第十二條 寄港船舶ノ臨檢其他ノ必要ニ依リ臨時船舶ヲ傭入ルル場合ハ豫メ出張所長ノ承認ヲ受クヘシ

但急速ヲ要スル場合ハ事後即報承認ヲ受クヘシ

防疫狀況三日報	何々監視所	者取印
發航船舶	何月何日何曜	晴(雨)
沿岸狀況	此日一モ船舶ノ寄泊發航ナク無事ナリ	
寄泊船舶	安東縣ヨリ一、皮子窩ヨリ二、何レモ支那戎克船ニシテ證明書ヲ有シ健康狀態異常	
寄泊拒絶	支那戎克船二艘寄泊セントセシモ之ヲ拒絶シ何處監視所ヲ便利トスル旨ヲ示シ之ニ向ハシム	
何々	(事故)	
州外來航船舶	芝罘ヨリ五十五石戎克船一艘寄泊調査スルニ證明書携帶セザルヲ以テ船客十名船員五名ハ今ヨリ一週間ノ停泊ヲ命シタリ(直ニ停留所ニ收容セリ)而シテ貨物何々ハ自由ノ陸揚ヲ許シタリ	

交通勤務指定	交通差立所名	會合日時	備考
七頂山派出所	大後海、王家灘、胡盧套	毎日午前十時	
大魏家屯派出所	蕎麥山、王家屯	同上	
金州支署	金州灣西海岸	同上	
八里庄派出所	紅崖子	同上	
西馬橋子派出所	東海頭、宋家屯	同上	
大孤山派出所	大孤山灣、沙砬子	同上	
黃咀子廟派出所	煤窰	同上	

備考 何等事故ナキトキハ壯丁ヲシテ交通ニ當ラシムルコトヲ得 普蘭店魏子窩兩出張所ニ於テハ各出張所長ヨリ交通地點及交通日時ヲ指定シ報告スルコト

(別表)

管轄	監視所配置表	監視所名稱
金州出張所	紅崖子監視所	東海頭監視所
	宋家屯監視所	沙砬子監視所
	大孤山灣監視所	煤窰監視所

三十一

西海岸監視所	大後海監視所
王家灘監視所	胡芦套監視所
西螞蟻島監視所	蕎麥山監視所
王家屯監視所	
普蘭店出張所	猴兒石監視所
金廠監視所	三官廟監視所
小河口監視所	長店堡監視所
石槽監視所	大石洞監視所
後海監視所	後三道灣監視所
大鹽廠監視所	同山西監視所
交流島山東監視所	同南移廠監視所
鳳鳴島東房身監視所	同衛子溝監視所
西中島北井子監視所	凉水灣監視所
魏子窩出張所	東老灘監視所
魏子窩監視所	城子嶺監視所
坎子下監視所	大長山監視所
碧流河監視所	
沙泡子監視所	

小長山監視所 廣鹿島監視所
子島監視所 海洋島監視所

二十、普蘭店出張所長ヨリ及報告アリ(三月二十四日)
 本月十四日付本號ヲ以テ及報告置候沿岸防疫監視所位置受持區域及配置人員表由左記各
 所々監視所ヲ設置スルモノシテ各村保甲後備壯丁ヲ交代シテ便宜該地點ニ見張
 ヲ爲サシムルモノナリ從テ何等設備ヲ要セス又經費ノ必要ナシ唯延長ナル海岸線ニ於テ
 指定シ監視所ノミヲシテハ或ハ看望不行届シ點ナキニテアラサレバ感リ特ニ保甲民ヲ義務
 的ニ出役セシムル所シテ前報告ニ於テ普通監視所ト併記シタルヶ却テ錯雜ヲ招ク虞
 有之候ニ付此際該點ヲ削除致候

左(前記)ニ依リ三月二十五日現在
 指定監視所 金廠、猴兒石、小河口、三官廟、石槽、長店堡、後海、大石洞、後三道灣、大鹽廠、
 前報告ニ依リ 山東、山西、東房身、南移廠、北井子、衛子溝
 削除シタル 王家屯、登沙河、大沙河、駱駝石、城山裡、東太山子、朱家屯、五里臺子、箆
 箕島、大岩、青島子、西海頭、羅兒島

二十一、魏子窩出張所長ヨリ及報告アリ(三月二十四日)
 (1)管内防疫狀況(三月二十四日迄ノ分)

當出張所管内ニ於テ防疫上措置シタル重要事項左ノ如シ

- (一) 捕鼠、管内ヲ通シ合計七千六百六十二頭ヲ捕獲シタリ
 - (二) 各監視所其ノ他ニ於テ通行ヲ拒絶シタルモノ千七百二十二件アリ
 - (三) 隔離シタル者百八十一名ニシテ現在十一名アリ
 - (四) 消毒ヲ施行シタル者千三百七十三人ナリ
 - (五) 旅行證明書ヲ下付シタル者千三百三十六件アリ
- 備考以上ハ開始以來三月二十日迄ノ累計ヲ示シタルモノトス
- (2) 長山列島ニ於テ沿岸防疫状況 (自三月九日至三月十五日状況)
- 本期間ニ於テ長山列島内ニ入寄シタル船舶合計六十四隻ニシテ上陸人員合計百三十三名、内停船ヲ命ジタルモノ三隻其ノ隔離人員十五名消毒ヲ施行シタルモノ五名ナリ
- 長山列島ニ朝鮮及安東方面ニ航行スル船舶ニシテ風波ノ爲メ時避難寄港スルモノ亦多シ此等ハ沿岸何レハ場所ヲ問ハズ寄港スルヲ以テ防疫上巡査ヲ配置セル監視所計四個ニ所外壯丁配置シ監視哨ヲ小長山ニ六、大長山ニ三、廣鹿島ニ三、獐子島ニ四ヲ設置シ壯丁交代シテ各取締ノ補助任務ヲ執リシツアリ
- 海洋島ニ於ケル状態ハ交通不便ノ爲報告ニ接セス

二十、遼陽支部長ヨリ左ノ報告アリ (三月二十四日)

扁担溝ニ於テ前報告後左ノ通關當地清國官憲ヨリ通報アリ

(一) 前報告後隔離中ノ猛成有ノ母本月二十日死亡セルヲ以テ合計十一各トナレリ

(二) 當地ヨリ出張セシ王警務局長小尾明山ヨリ赴キ楊總辦ト會見シ病氣ノ有無ヲ調査シ

又此目下同坑病院ニ於テ外傷患者七名八名ヲ收容シ居ルノミニ別ニ疑シキ患者ニテモ同總辦ト協議シテ巡警ヲ派シテ檢病的戸口調査ヲ行フコトニ決定シ昨二十三

日歸來シテ尙扁担溝ニ引續時嚴重ナル交通遮斷ヲ行セ居ルハ今後患者發生ノ虞

ナシト見ユ

二十三、奉天支部長ヨリ左ノ報告アリ (三月二十四日)

奉天停留所内ニ於テ死亡シタル者ノ状況左ノ如シ

二、姓名	年	齡	病	名	死	日	備	考		
張 順(男)	四	十	年	營	養	不	良	三月十八日午前七時	湖北貧民送還ノ爲三月十七日收容シタル分	
翠 姑(女)	八	年	心	臟	辨	膜	症	三月二十日午前十時	同	
熄 美(女)	四	年	毛	細	氣	管	技	炎	三月二十一日午後九時	同上二十日收容シタル分
冬 林(女)	三	年	急	性	腦	膜	炎	三月二十三日午前七時	同上十九日收容シタル分	
小 女(女)	三	十	年	毛	細	管	技	炎	三月二十四日午前五時	同上十七日收容シタル分

陳端陽(男)二十四年 肺腫 三月十八日收容翌日十九日發病疑似ノ疑アリ
 黃銀祥(男)五 年 肺腫 三月二十四日午前八時頃ヨリ 熱發注意患者トシテ隔離シタリ
 以 圭(男)四 年 肺腫 三月二十四日午後八時頃ヨリ 熱發注意患者トシテ隔離シタリ
 二十四、撫順炭坑ヨリ防疫平關ニ左ノ通報アリ(三月二十五日發信中ノ要領)

(1) 斃死驢馬解剖狀況

二月二十日大山坑苦力宿舍使役驢馬一頭(苦力玉蜀製粉工場使役)斃死シ越テ二十二日製粉従事者名ベストニ斃死セリ依テ驢馬ノ斃死ハベスト病ナリシヤノ疑アルヲ以テ之カ屍體ヲ肉片ヲ採取檢鏡シ結果正ニベスト菌ヲ存在ヲ發見セリ故ニ更ニ進ンテ研究スルノ必要ヲ認メ左ノ順序ニ依リ其ノ屍體ヲ解剖シ内臟各部變化ノ狀態ヲ試驗シタリ

二月十四日午前二時村土炭坑囑託獸醫消毒夫及苦力ヲ引卒シ大山坑ニ至リ附近郊外ニ隔離セル驢馬ノ屍體ヲ爐火法以テ消毒シ内臟ヲ凍結ヲ溶解セシメ併テ附近ヲ消毒シ且ツ大山坑下元機關庫不用家屋ニ於テ解剖設備ヲ整ヘ十三時ニ至リ屍體ノ凍結全ク溶解セルヲ以テ前記假解剖所ニ運搬シ午後二時同所ニ於テ村土獸醫執刀以下ニ安倍博士佐藤院長以下防疫委員立會以テ正憲及解剖ヲ開始セリ
 高橋醫員ハ内臟各部ヲ檢菌ヲ施行シ同四時内臟全部檢鏡終了シ同五時屍體ハ現場ニ於テ燒却シ其ノ附近ニ消毒ヲ施行セリ解剖檢鏡ノ結果内臟各部ニ無量ノベスト菌ヲ發

見發シ而シテ内臟各部ハ標本製作ノ目的ヲ以テ之カ斷片ヲ採取セリ

(2) 健康診斷

三月二十五日(三月二十五日) 午前十時新市街森本嘉作請負ニ係ル隔離病舎建築用苦力四十名ニ對シ健康診斷ヲ爲シタル異常狀況

(3) 交通遮斷用「長柵」建設

一月二十六日東郷坑苦力一名「ベスト」ニ置リタル以來同坑及大山坑苦力方續ク「ベスト」ニ傳染シタル經路ヲ調査スルニ總テ病毒傳播ノ村落ト交通シタル結果何レモ感染セシモノ「ベスト」判明セシヲ以テ炭坑使役ノ苦力宿舍ト千金寨舊市街及各村落トノ交通ヲ遮斷シ依テ苦力ノ感染ヲ防止スルハ最モ必要ナル處置ナルヲ思ヒ茲ニ「長柵」ヲ設テ斷然彼我ノ交通ヲ禁止シタリ爾後「長柵」ノ防禦ハ炭坑員ヲ以テ組織セル自衛團ノ献身的勤勉トニ依リ漸次惡疫ノ暴威ヲ遠クシ得ルヲ望ミ而シテ今「長柵」ノ位置及延長ヲ見ルニ西ノ坊千金寨新市街壽町ニ起リ東ノ千金寨坑、大山坑ヲ經テ尙東ノ楊柏堡坑ニ至リ其ノ延長實ニ三、四百間ニ達スルヲ望ミ而シテ今「長柵」ノ位置及延長ヲ見ルニ二十五日鐵嶺支部長ヨリ左ノ報告アリ

(3) 開原附屬地附近「ベスト」狀況 (三月二十一日)
 開原鐵道附屬地附近ニ於ケル「ベスト」狀況ニ關シ所員ヲ派シ視察セシメタルニ其ノ狀況

左ノ如ク...

(一) 石家臺...

同地ニ開原附屬地ナ...

道ヲ以テ車馬ノ交通...

以テ村ヲ管轄シ...

調査ヲ爲シ居...

(二) 交五臺子...

同地ハ鐵嶺ヨリ開原...

備ナク又未ダ「ベスト」...

(三) 火蘭屯...

同地ハ鐵嶺ヨリ...

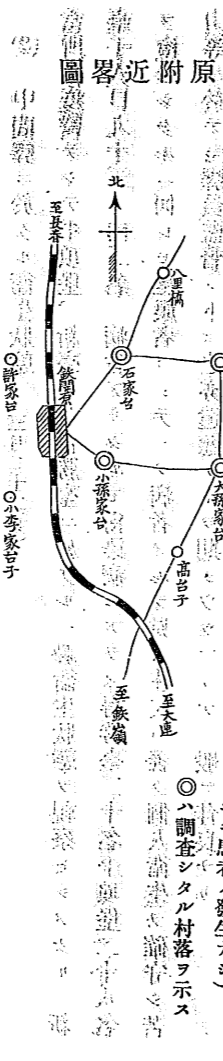
内議事會ヲ組織...

調査ヲ爲シツツ...

(四) 大孫家臺...

同地ハ鐵嶺ヨリ...

通頻繁ナリ...



鼻末ヲ混々タルモノヲ人ニ對シテ...

又爲シ通行ヲ許シ又善ク交通遮斷...

有入發生大シ...

(五) 小孫家臺...

同地ハ我開原附屬地ニ...

北街中央ニ防駐所ヲ設テ...

配置シ交通ヲ遮斷シ糧食或ハ特産物...

レリ尙此街西端ニ隔離病舎ヲ設テ...

ハ村落ヲ示ス(此ノ村落ニモ患者ノ發生ナシ)

ハ調査シタル村落ヲ示ス

(2) 中間驛ニ於ケル衛生状態 (三月二十二日)

當所検査醫ナシテ平頂堡、新臺子及得勝臺ニ於ケル一般衛生状態ヲ視察セシメタルニ新臺子人口九十三ノ内三名ノ病者アリタルモ傳染病ニアラス得勝臺二十名平頂堡二十八名ヲ検査シタルニ何レモ健康者ニシテ一ノ病者アルヲ見ス住民ハ善ク個人衛生ヲ確守シ苦力等ニ於テモ驛員監督ノ下ニ之亦遺憾ナキヲ期シツツアリテ一般ニ佳良ナリ

(1) 交通遮断監視ノ件 (三月二十二日)

從來開原獨立守備隊ヨリ守備兵ヲ出シ當地附屬地交通遮断區域中四箇所ヲ監視ニ當リ居リシモ附近村落ニ稍熄滅ノ姿トナリ之ヲ監視所駐隊人員ヲ減者ラレタルヲ以テ右不足分警察官ヲ以テ補充嚴重ニ監視繼續中ニ有之候

(2) 通行券廢止ノ件 (三月二十二日)

開原附屬地内ニ病毒ヲ侵入セシメテ防疫方法下シテ一面列車検査ト同時ニ附屬地ニ出入スル者ヲ制限シ周圍ニ鐵條網ヲ廻ラシ唯二箇所ノ入口ヲ開キ爰ニ消毒所ヲ設置シ警察官及消毒人夫等消毒ヲ施行シ荷馬車ハ無制限ニ通行ヲ許シ小車及普通旅行者ハ通行券ヲ有スル者ニ限り消毒ノ上附屬地ニ出入セシメ居リトシ近來ニ至リ商業活潑トナリ爰ニ爲通行券ヲ請求スル者一日百人以上ニ達シ警察官署ニ於テ非常ノ繁劇ヲ加メラル

ス目下各消毒所ニ必ス巡查ノ配置アレハ出入ノ者ハ巡查ニ於テ裁量ノ上出入ヲ許可スルニテ爲シ嚴重消毒及取締ヲ勵行セハ敢テ通行券ヲ使用セズモ防疫上何等ノ不都合ナキモ以テ思料ニテ殊ニ附近村落ノ疫勢モ稍々熄滅ノ域ニ達シタルヲ以テ此際通行券ヲ廢止シ前記ノ如ク取計ヒ通行者及商業者ノ便宜ヲ與フコト時期ニ適シタル措置ト認メ本日ヨリ實施致候

二十七、昌圖出張所ヨリ左ノ報告アリ

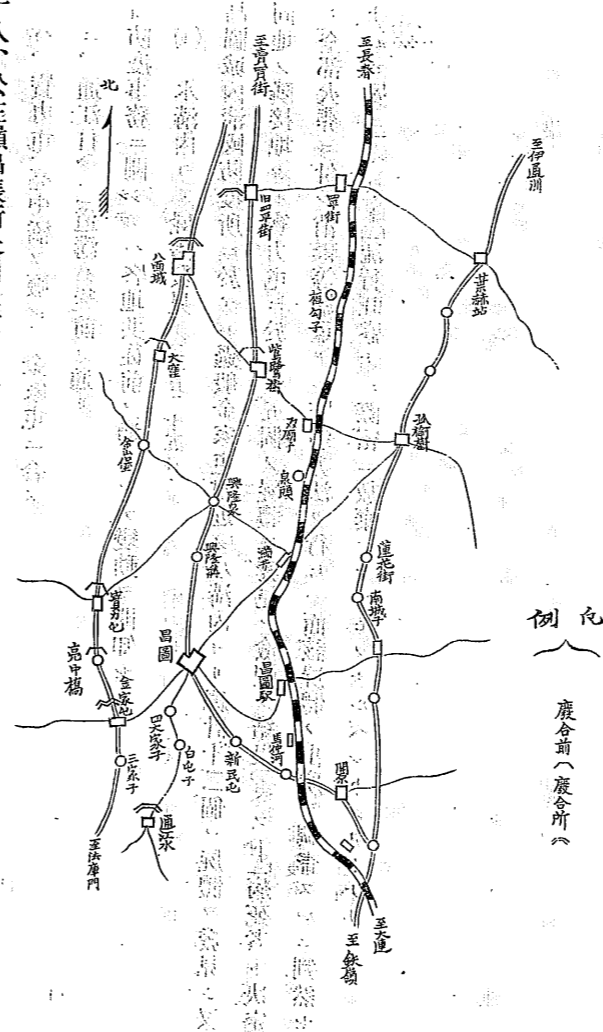
(1) 交通遮断警戒ニ關スル件 (三月二十二日)

昌圖ニ於テ附近各地ノ病勢減退ノ傾向アリ從來交通遮断警戒ヲ爲備入アリシ日本人看守者四名ヲ本月二十二日限り解備シタルモ警察官及滿鐵夜警員日本人一名支那人三名ヲ加ヘ守備隊、憲兵隊ヲ援助ヲ受ケ警戒方法ハ從前ノ通實施シ居リ

(一) 警察官ハ附近其他ノ視察、列車検査、檢病的戸口調査、清潔法、日光消毒ヲ勵行、浮浪者及苦力ヲ取締、旅館、飲食店、苦力居住ノ家屋等特ニ注意シ本特ニ以臨檢

(二) 警察官指揮以下ニ該地滿鐵夜警員(日本人二名支那人一名)ヲ以テ其ノ補助トシ監

清國交通遮斷監視所略圖



四十八

二十八、公主嶺出張所長ヨリ左ノ報告アリ

(1) ベスト患者發生ノ件 (三月十九日)

公主嶺附屬地川岸町二番地商業兼苦力 楊恩科

右ハ公主嶺ニ於テ「ベスト」患者孫忠清ナル者ノ看護ニ從事シ同人死亡(三月二日)後清國側隔離所ニ收容セラレ同日解放十八日發病十九日發見ノ趣ニ有之候處右ハ看護中ニ感染シタルモノナルヤ又ハ收容中ニ感染シタルモノナルヤ將又解放後我カ附屬地内ニ來ル迄ノ間ニ於テ感染シタルモノナルヤヲ闡明スルノ必要有之候ニ付清國側隔離所内ノ取締ノ實況、隔離中ノ本人ノ行動(他ト交通シタルカ又ハ隔離所内ニ於テ患者等ニ觸接シタルカ等)如シ) 及解放後發病迄ノ間ニ於テ病毒ニ接近シタルノ事實ナキヤ詳細取調報告相成度

(2) 「ベスト」患者調査ノ件 (三月二十三日防疫課長公主嶺出張所長照會)

公主嶺附屬地川岸町二番地 楊恩科
右發生報告ニ依レハ「ベスト」患者ノ看護ニ從事シ三月二日ヨリ同十五日迄清國側隔離所ニ收容セラレ同日解放十八日發病十九日發見ノ趣ニ有之候處右ハ看護中ニ感染シタルモノナルヤ又ハ收容中ニ感染シタルモノナルヤ將又解放後我カ附屬地内ニ來ル迄ノ間ニ於テ感染シタルモノナルヤヲ闡明スルノ必要有之候ニ付清國側隔離所内ノ取締ノ實況、隔離中ノ本人ノ行動(他ト交通シタルカ又ハ隔離所内ニ於テ患者等ニ觸接シタルカ等)如シ) 及解放後發病迄ノ間ニ於テ病毒ニ接近シタルノ事實ナキヤ詳細取調報告相成度

(3) 同上ノ件報告 (三月二十五日)

楊恩科「ベスト」感染系統調査方御照會ニ依リ取調タル結果ヲ左ニ

四十九

- (一) 附屬地外清國側隔離所ニ於テ二月二日發生死亡シタル孫忠清ナル者ノ看護ヲ爲シ即日感染死亡シタル楊金外ナル者ハ本人ノ外甥ナル爲友人王某ト共ニ之カ看護ニ從事中死者ノ遺物ヲ隱匿シ其ノ儘隔離サレ解放前日(三月十四日)之ヲ王某ト共ニ分配シタルコトアルヲ清國官憲ノ知ル所トナリ同官憲ニ於テハ當方ニ於テ患者發見當日(三月十九日)巡警ヲ患家ニ派シ該物品ヲ取戻シ更ニ消毒ニ附シタル形跡アリ
- (二) 殊ニ解放當日ハ既ニ頭痛ヲ覺ヘ病的兆候ヲ顯ハシ居リタルモ清國側隔離所ニ於テハ別ニ診斷ヲ爲サズ單ニ保證人ヲ立テシメタルノミニテ解放シタルモノナリ
- (三) 其ノ後十八日迄ハ支那町飲食店四合園ニ居住シ居タルモ病勢漸次増進スルト共ニ同家ヲ放逐セラレ止ムナク右ノ空家内ニ潜伏シ居タルモノナリ
- (四) 隔離所解放後ハ他ニ病毒ニ接近シタリト認ムヘキ形跡ナシ
- (五) 以上ニ考フルトキハ看護中隱匿シ置キタル物品ヨリ何等カノ機會ニ依リ感染シタルモノト認メラル

二十九、長春支部長ヨリ左ノ報告アリ

(4) 大「ベズト」検査狀況 (三月二十五日)

高見檢菌部主任「大「ベズト」」關シ左ノ報告ニ接シ候條及進達候

大「ベズト」報告 長春防疫支部治療課檢菌部主任 高見直技

- (一) 明治四十四年三月二日先ツ狹屍體ノ脾臟、肺臟ノ小切片ヲ採取シ各材料ヨリ染色標本ヲ製シ檢鏡スルニ形態染色狀態及懸滴検査上固有運動ヲ認メサル等殆ント「ベズト」菌ニ酷似スル細菌ヲ認ム殊ニ肺臟ニ於テ饒多ナリシヲ以テ直ニ各材料ヨリ寒天培養ヲ試ス
- (二) 三日南京鼠ノ尾根部ニ肺ノ一小片ヲ皮下接種ヲ爲シ「モルモット」ニハ同シク肺ノ小片ヲ滅菌食鹽水ニテ挫碎シタル極少量ヲ腹壁皮下ニ注射ヲ施セリ
- (三) 二日培養ノ培地ニハ四日「至ルモ」コロニー「發生セズ更ニ四日肺臟ヨリ寒天培地ニ培養ヲ施行ス
- (四) 六日「到リ」百培養ノ培地ニ「コロニー」發生セルヲ以テ検査スルニ先キノ材料中ノモノト同一ノ細菌アリシヲ以テ此「コロニー」ヲ滅菌食鹽水ニテ「エムルジン」下爲シ約一白金耳ノ五十分ノ一ヲ南京鼠ノ皮下ニ注射ス

(五) 七日に到り三日試験ノ南京鼠斃死セルヲ以テ剖見スルニ接種局所ハ出血性炎ヲ發シ鼠腺モ亦出血性炎ヲ起シテ腫脹セリ仍テ檢鏡スルニ脾、心血、肺、肝等ニ於テ材料ト同ノ細菌ヲ認タタリ而シテ三日培養シ「コロニー」ニ就テペスト血清ニ對スル凝集反應ヲ檢セシニ二百培養性ノ成績ヲ得タリ

(六) 八日に到り六日ノ試験動物即チ腹壁皮下ニ注射セル南京鼠斃死セルヲ以テ解剖檢菌スルニ脾、心血、肺、肝及睪丸等ニモ同一菌ヲ認メ殊ニ接種局所ニハ甚タ多數ナリ

(七) 八日に到り三日注射セル「モルモット」斃死ス檢菌スルニ材料中ノモノト同一ナリ

以上ノ試験ニ據リ該犬ハ「ペスト」ニ斃死セルモノト確定ス

右ハ檢査試験ノ概略ニシテ精細ハ更ニ報告スルモノトス

(2) 隔離所衛兵撤去ノ件 (三月二十五日)

從來當長春隔離所ニハ守備隊ヨリ下士卒ヲ出シ之カ警戒ニ任シ來リ居候處其ノ筋ノ内命モ有之タル趣ヲ以テ昨二十四日限り撤退シタリ

(3) 復歸清國人停留ノ件 (三月二十五日長春支部公示)

左ノ公示ヲ發シタリ

從來附屬地居住者(清國人ノ宿屋ヲ除ク)ニシテ「ペスト」流行ノ爲一時附屬地ヲ立退キタルモノ自今復歸シテ從前ノ營業ニ從事セントスル場合ニハ其ノ旨ヲ警務署ニ願出許可ヲ經タル上營業主家族並使用人トモ一週間停留所ニ停留シタル後業務ニ復歸スルコトヲ得

(4) 清國人宿屋開業ニ關スル件 (三月二十五日決定)

左ノ通決定シタリ

清國人宿屋業者ニシテ現ニ長春附屬地内ニ居住シ居ル者ニ限り自今開業ヲ許可ス但シ其ノ家族若ハ使用人ニシテ新ニ附屬地外ヨリ來ルモノハ停留所ニ一週間收容スルコトアルヘシ

三十、安東支部長ヨリ左ノ報告アリ

(1) 蘭中間驛ニ於ケル衛生状態 (三月二十日)

當支部檢疫醫ヲシテ安奉線中間驛ノ衛生状態ヲ視察セシメタルニ其ノ狀況左ノ如シ

(一) 高麗門驛

イ、一般衛生状態ニ就テハ在住日本人ハ主ニ驛員並保線工夫ニシテ支那苦力トハ別居

シ一般ニ清潔ニシテ特ニ記スヘキ事項ナシ

ロ、日本人九支那人ハノ健康診斷ヲ行ヒタルニ日本人一名角膜表層炎ヲ患ヒ居ルモノ

ノ外有病者ナシ此ノ外二千三名居住シ居ルモ健全ナリ
ハ、防疫上ニ就テハ驛長ハ乗降客ニ對シ有病者ノ有無ニ注意シ駐在巡查ハ檢疫及戸口
調査ヲ勵行シ病者ノ發見ニ努メ居レリ

(一) 高麗門支那町ハ清國官憲ノ注意ニ依リ比較的清潔ヲ保持セラレ居ルモノノ如ク
「ハレスト」防疫上診察防疫所竝四十人ヲ收容シ得ル隔離所ヲ設置シ徒歩南行者ヲ五日
間隔離シ居レリ隔離所ハ本市街北端ニアリテ支那宿屋ヲ流用シタル唯一室ニシテ何
少設備モナク單ニ隔離スト云フニ過キカル感アリ診察防疫部ハ多少ノ清毒藥ヲ備付
ケ防疫員トシテ支那醫師一、診察生一防疫巡警六之ニ從事シ目下十九名ノ收容者ア
リ尙我派出所巡查ノ談ニ依レハ東方約一里ヲ徐屯口ニ尙一箇所ノ隔離舎アリ主ニ山
背各路通行者ヲ取締リ居ルト云フ要之清國ノ設備ハ不完全ノ域ヲ脱スル能ハサルモ
防疫士若干ノ効果アリト思料ス

(二) 五龍背驛

イ、驛員中ノ日本人十名支那人十四名ニ對シ健康診斷ヲ行ヒタルニ有病者ナシ尙此ノ
外居住民九十一名アルモ有病者ナシト云フ
ロ、ハレスト流行以來當驛ヲ乗降客ハ僅々一日二三名ニ過キス警察官、驛長等協力シ
テ病者發見ニ努メ居レリ

ハ、當地ハ昨年夏一名「ナブス」一名「ヂブテリヤ」患者ヲ發シタル外傳染病者ナク
一般健康状態佳シ

(三) 蛤蟆塘驛

イ、當驛ニ於ケル居住民ハ二十四名ニ過キス其ノ中日本人六名支那人八名ニ對シ健康診
斷ヲ行ヒタルニ病者ヲ發見セス目下一名ノ患者ナシト云フ

太古警察官、驛員等檢病ニ努メ居レリ
想ハ、駐在巡查ヲ談ニ依リハ蛤蟆塘支那人部落ヲ調査シタルモ有病者ト認ムルモノナカ
リト云フ

(3) 大東溝ニ於ケル防疫施設及水陸交通ノ狀況 (三月三十一日)
大東溝ニ於ケル防疫ハ同地商埠巡警及商會協同シテ之ニ當ル組織ニシテ従前ハ市内ノ各
所ニ「ハレスト」防疫ノ緊要ナルコト及其豫防ハ各自リ衛生清潔ヲ保持スルコトノ必要
ナルコトヲ白話ニテ告示シタル外巡警ハ市内ノ各戸ヲ巡邏シ其ノ實行ヲ勸奨シ居リシト
雖其ノ實績ヲ認ムルニキモシテ市街ノ西端ニハ巡警ヲ派シ二條ハ大孤山街道口ヲ扼シ徒
歩旅行者ヲ監視取締ニ當ラシメ居リシモ未タ一人ノ隔離又ハ放還ヲ實行シタルコトナキ
ニ徴スルモ其ノ嚴重ナラザルコトヲ察スベシ幸ニシテ今日迄同地ヲ經又ハ同地ニ入り込
ミタル旅行者ハ病毒地ヨリ直接ニ來リタルモノナキコトハ之ヲ種々ナル方面ニ就キ視

察スルニ之ヲ證明シ得タリ多クノ懸念ヲ要セザリシモノノ如シ
 隔離所ハ公共建物ニ棟ヲ以テ之ニ充當豫備シテアリシモ單ニ名稱ノミヲ設備シテ消毒材
 料等ハ勿論實際隔離ヲ要スルニ際シテハ全ク不完全ナルモノト認マラル要スルニ從前大
 東溝ニ於ケル防疫ハ直接其ノ局ニ當ル商會及巡警ノ誠意ヲ缺キ居リシ爲有名無實タルノ
 誹ヲ免レザリシモ三月四日安東巡警局長同地ニ出張シテ防疫施設ヲ督勵スルニ及ヒ稍各
 般ノ準備整フニ至リ、茲尤モ同局長ノ出張ハ主トシテ水路ヲ取締ニ關スル施設ヲ主眼ト
 爲シ陸上ノ交通又ハ市内ノ施設ニハ重ヲ置カズ從テ其ノ施設止ニハ別ニ措辨スルコトナ
 カリシモ巡警ハ勿論市民ニ一般ニハ防疫ノ重要ナルコトヲ覺醒セシムルニ預テ力ア
 リ市内ノ消毒の清潔ニ對スル巡警ノ督勵漸次嚴重トナリ商民ノ一般衛生上幾分注意ヲ喚
 起スルニ至リ、茲尤モ同局長ノ出張ハ主トシテ水路ヲ取締ニ關スル施設ヲ主眼ト
 大東溝ハ這般安東方面ニ來ル戎克ノ檢疫地トシテ決定シタル所ニシテ其ノ入港船取扱規
 則ノ決定ヲ見シモノ大略左ノ如シ
 (一) 入港船隻ハ必ス入港ニ先立テ一應江口ニ停船セシメ檢疫員臨船檢疫ノ結果發病者
 (二) 大東溝ニシテ該船カ病毒地(山東及天津方面)ヨリ來リタルモノハ停船期ヲ七日ト
 爲シ航海日數七日ニ滿タサルモノハ其ノ滿ツル迄停船セシム
 (三) 日、無病毒地(莊河方面)ヨリ入港スル船隻ニ對シテハ等シク其ノ檢疫ヲ行フモ患者ナ

言キ市場合該船内ノ上等客ハ即時其ノ上陸ヲ許可シ苦力ハ其ノ期ハ便宜酌量スルモ尙
 一時船内ニ留置シ後更ニ健康診斷ヲ行ヒ故障ナクハ始メテ上陸ヲ許ス
 (四) 入港船内ニ普通患者アルモ該患者ハ特ニ上陸セシメ臨時病院ニ收容治療セシム
 (五) 其入港船檢疫ノ際「ベント」患者又ハ其ノ疑似患者ヲ發見セハ其ノ患者ハ病院ニ收容
 兼シ他ノ同船者ハ全部隔離所ニ收容シ船隻ハ港外ニ停船消毒ヲ行フ
 港外ニ水上警戒ノ爲汽船一隻ヲ營口ヨリ回航セシメ解氷後水上ノ巡邏船ニ充ツ
 隔離所及病院ハ今回解氷後ノ準備トシテ前述隔離所ノ外隔離所ニ箇所合計三十二間約三
 百人ヲ收容スルニ足ルモノヲ借り入レ炕ナキ室ニハ板ヲ以テ床ヲ設ケ其ノ上ニアンペラ
 ヲ敷キ隔離所ノ内外ハ消毒の清潔法ヲ行ヒ稍隔離所ノ體裁ヲ備フルニ至リ居リシモ猶各
 室ハ其名乃至二十名ヲ收容セラルルモノアリ或ハ隣室トノ障壁ヲ缺クモノ或ハ二三室
 ハ共同ノ出入口ヲ備フル如キアリ此等ハ病毒一旦發生ノ際同室又ハ隣室者ハ病毒ノ傳染
 ヲ來ス虞アルヲ以テ是等ハ設備止ニ就テ特ニ注意ヲ爲シタル所巡警局長ハ其ノ意見ヲ容
 レ各室間ハ勿論大室ハ更ニ之ヲ分房ヲ便宜ノ場所ニハ別ニ通路ヲ開キ又隔離所取締規
 程モ大略左ノ如ク定メ實行スルヨリ
 (一) 隔離所ニ收容スルモノハ其ノ收容ヲ要スル日ノ長短及隔離日ヲ異ニスルニ從ヒ酌
 量シテ其ノ室房ヲ異ニスルニ要ス

ロ各室房内ノ隔離者ハ相互ニ交通スルヲ禁ス
ハ、隔離者隔離中市内ノ商民ニ要件アル場合ハ巡警又ハ他ノ事務員ニ其ノ代辨ヲ依頼
シテ之ヲ代行得但シ商民トシテ直接面語ハ之ヲ禁ス
ハ、隔離所ニハ事務員及巡警ノ外一切出入ヲ禁ス
ハ、隔離所ハ日々消毒的清潔法ヲ行フ

大東溝ハ同名リ水路約三哩ニシテ鴨綠江口ニ通シ其ノ市街ニ接セル數丁ノ間ハ解氷後同
地入港船舶ヲ碇泊地ニシテ二、三百担以上ノ巨船ハ總テ江口ニ碇泊ス而シテ該水路ノ
一部ハ三月三、四日ノ暖氣ニテ解氷シ寒氣ヲ爲結氷シ再ヒ交通杜絶ヲ見ルニ至リシカ三月
十七、十八日ノ大潮ニハ其ノ全部ノ解氷ヲ見江口トシテ交通ハ自由ニ開始セラルヘシ前記三
月三、四日ノ兩日水路ノ一部解氷ノ際江口ニ碇泊セシ戎克約二十隻アリ内四隻ハ當時市
街ニ近ク進入セシガ此等ハ何レモ山東方面ヨリ來リタルモノナルモ途中大連ニ寄港シ同
地海務局ノ交通證明ヲ有シ居リシヲ以テ其ノ乗組員及貨物ノ自由交通運搬ヲ許シタル趣
ナリ其ノ他六猶江口ニ碇泊シ解氷ヲ待チ安東ニ溯江スルモノナリト云フ江口碇泊ノ戎克
ハ日々其ノ數ヲ増加シ三月十日ニハ既ニ百餘隻ニ達シ尙日毎百餘隻ヲ増加スル模様
アリ水路ノ交通自由ナルニ至ラハ其ノ取締上甚シキ困難ヲ來スヘシト思料ス
右水路ノ兩側ハ蘆塘ニテ例年三月中旬ノ大潮以後ハ每潮時其ノ大部分ニ侵水ヲ見ル爲江

口トシテ交通ハ水路ノ外絶對ニ不可能タルヘキモ現在ノ狀況ヲ見ルニ該蘆塘ハ一帯ニ涸乾
シ其ノ間ニハ縱横ニ小溝通シ且ツ江口ノ碇泊地ト該蘆塘ノ間ニハ泥潭深キ沼地アリ其ノ
上陸交通ハ容易ナラサルモ又決シテ不可能ト云フヘカラサルモ依リ解氷後水上警戒ニ從
フ巡邏船ヲ準備整テ迄便宜ノ處分トシテ左ノ方法ヲ執リ水陸交通ノ取締ヲ勵行スルニト
テ巡警局長ニ勸告シ其ノ實施ヲ見ルニ至リ
イ、現在三名ノ水路交通監視ノ外巡警六名ヲ江口艇船ニ萬難ヲ冒シテ上船セシムルモ
中、右碇泊船乗組巡警ハ江口來泊ノ戎克ヲ無病毒地ヨリ來セル者及有病毒地ヨリ來シ
ル者ニ既ニ七日間以上ヲ經過セルモノト有病毒地ヨリ來リ七日ヲ經過セサルモノト
相ニ其ノ碇泊地域ヲ分後者ノ碇泊地ヨリ前者ノ碇泊地ヨリ沖合ニ定テ巡警乗組ノ戎克ヲ其
ノ碇泊中間ニ配置スルニ由テ中間ノ碇泊地ニ碇泊セシムルモノト
ト右實施ノ結果ハ之ヲ地形ニ照シ船舶入港ノ取締及密上陸者ノ防止ハ確實ニ行ハルルモ
皆ソト信セラル

其(3) 大東溝以西各地ニ於ケル防疫及水陸交通ノ狀況
大東溝以西ニ距ル五里半柞木山ヨリ大洋河ニ至ル地域ハ鳳凰廳所管ニ屬シ此ノ地域内ニ
アル北井子、棗溝及黃土坎ハ共ニ解氷後船舶ノ出入ヲ見ルヘキ地ニシテ其ノ他ニハ船舶

ノ出入ヲ爲シ得ヘキ地ナシ而シテ右北井子、黄土坎ヲ指定檢疫地ト爲シ棗溝及大洋河
上流數里ニ位スル龍王廟ニ監視所ヲ設置ス是等各地防疫事務ハ各地駐在ノ巡警及巡防隊
兵協同處辦シ等シ劍山子ナル巡警區管及同地ニ鳳凰廳ヨリ臨時出張セル防疫員之ヲ監
督ス

イ、北井子ノ狀況

北井子ハ大東溝、大孤山兩地中間ノ一市街ニシテ約二哩ノ水路ニ依リテ海ニ達シ滿潮
時ニ能ク二百擔積ノ戎克容易ニ市街ニ近ク溯江スルコトヲ得附近各地ハ、土貨ハ主
トシテ此地ヨリ輸出セラルル情況ナルヲ以テ解氷後ハ例年常ニ數十隻ノ戎克輻輳シ
山東トシテ交頻繁ナリ云フ同地江口ノ一部ハ既ニ解氷シ船舶ノ出入自由タルヘク豫想
セラル目下港口ニハ戎克十隻碇泊シ玉蜀黍ノ積込盛ニ行ハレ居ルモ右等ノ戎克ハ何レ
モ莊河及其ノ地附近ノ船籍ヲ有スルモノニシテ最近病毒地ヘ接近セシコトナキモノナ
リ云フ船舶檢疫所ハ市街ニ接セル水路ニ近キ家屋ヲ以テ之ニ充當シ事務員一名常住
シ報告事務ヲ掌ルノ外直接防疫事務ハ巡警分局及巡防隊之ニ當ル而シテ入港船ニ對シ
テハ港口ニ監視所ヲ設ケ日々午前六時ヨリ巡警及巡防隊兵四名ヲ派シ戎克ノ入港毎
臨檢シ病疫者ノ有無ヲ察シ且シ船舶ノ病毒流行地方ヨリ來ルモノハ其ノ出帆日ノ明ニ
認メラルヘキモノニシテ出帆後七日ヲ經過セサルモノハ其ノ期ノ滿了スル迄及出帆日

ハ認メラルヘキモノナリ七日間均シク停船ヲ命ス若シ停船内ニ病疫ノ發生スルコト
アラハ絕對ニ其ノ入港及船員ノ上陸ヲ禁ス又停船中食糧及飲料水等ノ必需品ニ缺之ヲ
告ガタル際ハ其ノ購入等巡警又ハ巡防隊兵之ヲ代辨ス而シテ船員得テ自ラ之ヲ處分ス
ルヲ欲スルモノニ限リ特ニ許容スルコトナルモ必ス消毒ヲ經テ警兵隨行シ用務ヲ終レ
ハ必ラス歸船セシメ往復共ニ他家ニ立寄ルヲ許ササル規定ナリ。現在ノ事務所ニハ消
毒用石炭酸二、三瓶アルノミニシテ他ニ何等ノ準備ナシ醫師ハ劍山子巡警局ヨリ黃土
坎及此ノ地ニ時々巡視スト雖未ダ市内ノ健康診斷等ヲ行ヒタルコトナシト云フ市内ハ
巡警及隊兵數名ニ班トナリ清潔及消毒ノ督勵ヲ爲シ居レリト雖何等成績ノ見ルヘキモ
ノナク僅ニ市内ニテ便所等ノ最モ不潔ナル場所ニ石灰ヲ撒布シアルヲ見ルノミ穢物等
ハ別ニ除去セシ形跡更ニナシ檢病ノ戶口調査ハ日々旅店ニ巡警及隊兵巡視シ主トシテ
旅行者ノ健康狀態ニ注意シ居ル模様ナルガ病疫者發生ノ臨機處分トシテハ何等規定ナ
ルト云フコトナシト以フ

ロ、棗溝ノ狀況

棗溝ハ北井子ノ西一里半棗兒溝ノ水路約一哩ニテ海ニ通シ約百擔内外ノ戎克ハ此ノ地
ニ溯航スルコトヲ得ト云フ三月十六、七日ノ大潮ニハ解氷シ船舶ノ入港ヲ見ルヘキ見
込ナルモ同地ハ病毒流行地方ヨリ來ル船舶ハ絕對ニ入港ヲ禁シ若シ他ノ檢疫地ニ戻回

漕證明ヲ有スルモノハ之ヲ除外スル筈ニテ其ノ入港船監視ノ爲メ巡警二名碇泊地域ニ出張ヲ爲シ居レリ此ノ外防疫ニ關スル何等ノ施設等ナシ
 ハ、黃土坎ノ狀況
 廣土坎ハ大洋河口ヨリ約三湮ノ上流左岸ニアル一小市街ニシテ戸數約百餘アリ附近農產物ノ一市場ニシテ出入ノ船隻亦少カラス大洋河ハ三月十日解氷シ目下此地ニハ戎克約三十隻碇泊ス何レモ此地ニ船籍ヲ有スルモノニシテ今ヤ玉蜀黍ヲ積ミ山東ニ赴ク準備中ニテリ此地ハ北井子ト共ニ船舶檢疫地ニシテ檢疫事務所ハ河岸ノ民家ヲ收用充當シ事務員一名常住セルモ別ニ消毒材料等ノ準備ナシ入港船舶ノ取締方法手續等ハ北井子ニ於ケルト同様ナルモ此地ハ河幅約百五十米突アリ其ノ取締ニハ單ニ市街ニ接セル河岸及下流約一湮ニ位スル大孤山ニ至ル渡船場ニ巡警及巡防隊兵二、三名ヲ派シ河畔ニテ取締ラシムル狀態ニシテ其ノ監視嚴重ナラス大孤山管内ヨリ來ルモノハ其ノ防疫所ノ健康證明アルモノニ非サレハ上陸ヲ許ササル規定ナリト雖其ノ監視ハ往々實行セサル實況アリ尤モ渡船ハ黃土坎及張三溝ニ各一隻アルノミニシテ若シ嚴重ニ取締ヲ行ハントセバ其ノ實行ハ甚々容易ナルコトト認メラル
 大洋河ノ一支流ニシテ黃土坎ノ約一湮半ノ地點ヨリ分岐シテ大孤山ニ通スル水路アリ大孤山入港船舶ハ此ノ水路ニ碇泊スルヲ以テ大洋河口ノ警戒ハ右支流ノ分岐點以下ノ

河口ニ水上警邏船ヲ配置シ兩地官憲協同處理スルヲ最モ便宜ニシテ又有效ニ船舶ノ檢疫ヲ實行シ其ノ密航ノ防止ヲ爲シ得ヘシト思料セララル

(4) 大孤山地方ニ於ケル防疫ノ狀況
 大孤山ハ其ノ西北方ニ大孤山及小孤山ノ二山アリ東南ハ泥沼地ヲ隔テ大洋河口ニ面シ水路ハ市街ヨリ約七、八丁右泥沼地ノ内ニ通スル大洋河ノ一支流ニシテ東方ニ黃土坎及張三溝ニ通スル道路ト西ハ獅子窩及岫巖ニ通スル二道路アリ尙大孤山下小孤山ノ間ヲ通スル鳳城街道アリ此等各街道ノ要路ヲ扼シテ各監視所アリ即チ東ハ市街ヨリ約七、八丁ノ地ニ監視巡警及巡防兵三、四名ヲ派シ大洋河ノ左岸ヨリ來ルモノハ病源地ヨリ來ルモノニ非ル證明書ヲ有セサレハ市ノ東部ニ設ケタル隔離所ニ七日間隔離ヲ行フ西方岫巖ノ通路ニハ市街ヲ距ル四里半廟嶺北ハ市街ヲ距ル二里半ニ在ル達子嶺ニ各巡警及巡防兵ヲ派シ各隔離所ヲ設ケ入境者ハ前手續ニテ之ヲ隔離又ハ放還スト云フ莊河街道ハ莊河直轄區内ニ同様嚴重ナル取締ヲ行ヒ居ルヲ以テ別ニ監視等ヲ行ハス大孤山管内水路ノ警戒ハ大孤山及木耳山ノ二箇所ニ船舶檢疫所ヲ設ケ大孤山ニ在リテハ前記水路ノ碇泊地ニ巡警又ハ巡防兵三名ヲ派シ入港船舶ヲ監視セシム入港船舶ノ取締ハ苦力上陸ヲ絶對ニ禁止シ商船ノ入港ニ際シテハ停船期ヲ七日トシ出帆日ノ明確ナルモノハ出帆後ニ航海日ヲ除キ七日ニ滿タサルモノハ其ノ期ノ滿ツル迄停船ノ上其ノ入

港ヲ許容ス病疫者ノ發生セル場合及停船中食糧ノ缺乏ヲ告ケタル際ニ手續ハ北井子ニ於ケル手續ト同様ナリ

大孤山ニ於ケル隔離所ハ隔離者收容室五間アリ四圍七八尺ノ磚造リク壁アリ取締甚々嚴重ナル約二十五名ヲ收容スルコトヲ得清歴正月二十八日開始シ再來三十四名ヲ收容シ内十四名ハ解放シタリト云フ隔離ノ際ハ別ニ消毒ヲ施サズ隔離者ハ雜居シ別ニ取締方法ナシ然レトモ七日ノ隔離ハ極メテ確實ニ實行シ居ル模様ニテ情實ヲ以テ釋放セル等ノ事實ナキカ如シ

隔離者ノ健康診斷ハ同地ニ住スル丁抹人醫師之ヲ擔任シ一日一回施行スト云フ

市内防疫ノ施設トシテ捕鼠、斃鼠ハ均シク一頭銀三錢ニテ買收シ買收鼠ハ全部焼却ス

市内ノ消毒ノ清潔法ハ巡警及巡防隊兵八名ニテ一隊ヲ組織シ日々巡邏シ不潔ノ場所ニ石灰ヲ撒布シ居ルノ外不潔物ノ除去等ニ別ニ注意セサルモノノ如ク認マラル檢病的

戸口調査ハ巡警及巡防隊兵三名ニテ一隊ヲ組織シ市内ノ各戸ヲ巡視シ居レリ醫師ハ前記丁抹人醫師以外清人醫師三名アリ共ニ丁抹人醫師ノ教育ヲ受ケタルモノニシテ稍醫術ニ心得アルモノノ如ク廟嶺及達子嶺ノ二箇所ニハ各一名ヲ配置シアリト云フ

(5) 莊河廳管内ニ於ケル防疫狀況

莊河廳直轄内ニハ上掲ノ外船舶檢疫所ニ青堆子、塔連腰子ノ二箇所アリ陸上要路ニハ

寶聚店、哈什瑪嶺、尖山子ノ三箇所ニ檢疫所及隔離所ノ設ケアリ其ノ他船舶ノ監視所トシテ冷子溝、黑島、牛石圈、等兒府、花園口等アリ其ノ他漁船ノ碇泊地ニハ夫レ夫

以最新巡警及巡防隊兵ヲ派シ監視哨所アリト云フ

(6) 各地ニ於ケルベストニ對スル感想

一 安東以西大孤山ニ至ル各地方人ガベストニ對スル一般ノ感想如何ヲ察スルニ之ヲ安東

附近ニ比テ稍冷淡ナルモノアリ其ノ内又市街地ト村落トノ間ニハ人民ノ感想ハ著シキ差點アルモノノ如ク市街地ノ商民ハベストノ極メテ激烈ナル傳染性ヲ有シ既

ニ其ノ猖獗ヲ極メ居ル長春奉天ニ於テハ非常ナル慘害ヲ極メ居ルコトヲ知ルモノヲ稍多

當里見ル下雖村民力殆ク全部ハ單ニ目下滿洲ノ北境ニ惡疫流行シ居ルヲ聞知セル位

ニテ市街地ニ於テハ百聖篤又ハ鼠疫ナル語ヲ用ヒ他ノ傳染病ヲ指ス瘧疫ト區別シ居ル

ニテ村民等ハ未ダ斯ノ語通ズ尙目下流行スベシヲ指シ瘧疫ト稱シ居ルヲ見ルモベ

クトシ關シテ感想如何ヲ推知スルニ足ル蓋シ此等人民感想ノ相違ハ勿論市街地

ノ商民ハ多少ナリモ文字ヲ解スルモノ多ク從テ新聞又ハ官憲ノ告示ヲ見若ク途上ノ

風説ヲ傳フ機機會多クニ反シ村民ハ味ヲ愚民多ク殆ク其ノ全部ハ文字ヲ解

ス他郷者等ニ依ル風説ヲ聞ク機機會僅少ナルニ坐スルナラシモ最モ其ノ觀念ニ著シキ影

響ヲ與ヘ居ルモ以テ清國官憲ノ防疫施設ノ嚴重ナルト否トニアルモノノ如シ(後略)

三十日、鷄冠山防疫出張所ヨリ左ノ報告アリ(三月三十一日)
 管内高麗門ニ於ケル清國側防疫施設ハ豫テ清國官憲ニテ同地徐屯溝ニ隔離所ヲ設置シテ
 リ其設備不備ニ爲悉ク高麗門隔離所ニ收容シ且ツ同地一面山下稱タル場所ニ防疫
 所ヲ設テ陸行者ノ取締ヲ勵行シ居リシカ愈々本月十八日徐屯溝隔離所ニ設備完成タル
 ヲ以テ之ヲ隔離收容ヲ開始シ從來ノ一面山防疫所ヲ廢止セリ
 三十三日芝罘ニ於ケルコレバズ病勢尙關シ在芝罘、土屋領事ニ照會シタル
 左ノ返電アリ(三月二十三日電)
 當地及附近ニコレバズ死亡數昨日迄千三百二十三名ヲ報告病勢次第ニ衰減昨今日々平均四五
 名ノ患者ヲ出ス過半ノ人気が漸ニ恢復シ來ヨリ目下當局者ハ捕鼠ヲ獎勵シ檢驗的取調
 ヲ爲シ居レリ
 三十三日天津帝國總領事館ヨリ左ノ通報アリ(三月二十二日電)
 三月六日ヨリ同月二十日迄期間ニ於ケル新患者ハ支那人四名死四十三名ヲ初發以來累計
 支那人七十三名アリ
 三十四日在哈爾濱帝國總領事館ヨリ左ノ公報アリ(三月二十三日)
 露清官憲ノ公報等ニ依リ調査スルニ三月十三日ヨリ同月十九日迄期間ニ於ケル新患者ハ哈
 爾濱十三名對青山三名對海一名合計十五名ニ初發來ノ累計ハ傳家甸四千九百五十五

名(内日本人二名、哈爾濱千五百三十一名、内露國人四十三名、日本人一名、佛國人一名、阿什
 河十二名、順兒山十四名、橫道河子十六名、内露國人一名、海林一名、對青山五十六名、双城堡四
 名、蔡家溝七名、夾河三名、陶寶照一名、層甸子一名、合計六千五百九十七名ナリ又滿洲里ハ
 三百六十四名(内露國人九名)、札賚諾爾百十六名、海拉爾九名、札蘭屯七名、杜爾齊哈六名、布哈
 圖三名、合計五百四名アリ右ノ内傳家甸ノ外ハ凡テ東清鐵道附屬地内ニ於ケル數トス
 三十五、在浦鹽斯德大島總領事ノ公報ニ依リハ同地方ニ於ケルベスト防疫方法ニ付前ニ開
 示シタルモノノ外左ノ方法ヲ講スト云フ
 イ、沿黑龍總督ハ管區内ベスト防疫費トシテ金三萬八千五百留ヲ支出セリ
 ロ、浦鹽斯德市ニ於テベスト患者ヲ發見シ檢驗ノ結果真正ベストナルコト判明スルニ於
 テハ市廳ハ右發見者ニ金百留ヲ賞與ス
 ハ、沿海軍務知事ノ命令ニ依リベスト防疫ノ爲「モンダガイ」及「ホルタフカ」ヲ纏テ滿
 洲ヨリ沿海州ニ家畜ノ輸入ヲ禁止セリ
 ニ、ベスト防疫ノ爲東清鐵道ニヨリ輸送スル小包郵便ハ全部之ヲ消毒ス(外面ノミ)發
 送地ニ於テ消毒シタル通過小包郵便及信書ハ之ヲ消毒セス襪襪、清國人用履物毛髮ハ之
 ヲ輸送スルヲ得ス紙幣ハ之ヲ熱セル空氣ニテ金屬品ハ「フオルマリン」石炭酸及酒精ニテ
 消毒ス

ホ、沿海州副知事代理「スハーフ」氏ハペスト病豫防施設検査ノ爲、踵春及韓興ニ出張セ
 リ
 ハ、沿海州軍務知事「カザン」莫斯科及彼得堡ノ各大學ニ電報ヲ致シ、滿洲ペスト病豫防
 ノ爲、醫科大學五年級學生ニシテ希望者ニ來滿ヲ請求セリ、其ノ條件左ノ如シ
 一箇月俸給三百留、旅車賃二等ヲ給ス、出發前手當百留
 ト、是迄清國人ノ入國ヲ嚴禁セシニモ拘ハラズ、彼等ハ貨車ニ搭乘シ、巧ニ祕密入國ヲ爲ス
 ラ、以テ今後鐵道部醫師ヲシテ貨車ハ貨物ノ有無ニ拘ラス、嚴重ニ検査セシムルコトトセ
 ナ、沿黑龍總督ノ命令ニ依リ、浦鹽斯德、ニコリズク、「ハバロフスク」ヨリ、清國人労働者ノ
 無職業者四千名ヲ滿洲ニ送致スルコト
 尙在「イルグツク」ペスト病豫防會ハ左ノ件ヲ決定セリ
 一、ペスト病流行地ヨリハ、可成軍隊ヲ移動セシメサルコト
 一、被逮捕者ヲペスト病流行地ヨリ安全地ニ移サントスル場合ハ之ヲ一定期間隔離室ニ收
 容シ、危險ナキモノト認メタルモノニ限り之ヲ許スコト
 一、被逮捕者ヲペスト病流行地ニ送致スルハ可成之ヲ許可セサルコト
 一、醫務部ハ遊動防疫隊ヲ組織シ、各地ニ配置スルコト

三十六、朝鮮總督府警務總長ヨリ左ノ通報アリ

- (1) 鴨綠江共同防疫實施ノ件(三月十八日發信ノ一節)
 鴨綠江ハ昨十七日正午ヨリ流水シ、始メタルニ依リ、船舶入港近キニアラントス共同防疫實
 施ニ付テハ、新義州支部ニ於テモ、諸般ノ準備中ナルノミナラス、度支部ヨリハ、特ニ有賀關稅
 課長出張シテ計畫中ナリ
- (2) 京城龍山ニ於ケル捕鼠數(同上)
 京城龍山ニ於ケル捕鼠數ハ二月七日第一回抽籤施行後既ニ四萬四千餘頭ニ達シタルニ付
 不日第二回抽籤ヲ行フ筈
- (3) 鴨綠江上流ノ狀況(三月二十三日發信ノ一節)
 楚山附近ハ急流ノ箇所解氷シタルノミニシテ、本月中ハ氷上ノ通過支障ナキ見込ナリ、三月
 十八日梨洞通路ニ於テ證明書ヲ交付シ、清國ニ渡リタルモノ十八名アリ、中江鎮附近ハ處
 々解氷シ監視線間ニ入ラントスル清人減少セリ

ペスト患者日別表

場所	日					初發以來 累計	摘要
	三月廿一日	三月廿二日	三月廿三日	三月廿四日	三月廿五日		
旅順(都督府管内)						二	一月二十日以降發生ナシ
大連(都督府管内)						六六	二月七日以降發生ナシ
金州(都督府管内)						三	二月六日以降發生ナシ
遼陽(清國管内)						三六	
奉天(都督府管内)						一三	
撫順(都督府管内)						一九二八	累計ノ内係争地發生六六
本溪湖(都督府管内)						八	
鐵嶺(清國管内)						一八	
開原(都督府管内)						九七	
昌圖(清國管内)						五三	
法庫門(清國管内)						五六	
四平街(都督府管内)						一九三	
郭家店(都督府管内)						一四五	
						一	
						五	

七十一

本日報三回印刷、冷々著、
 旅順(都督府管内) 三月廿一日 一
 大連(都督府管内) 三月廿一日 六六
 金州(都督府管内) 三月廿一日 三
 遼陽(清國管内) 三月廿一日 三六
 奉天(都督府管内) 三月廿一日 一三
 撫順(都督府管内) 三月廿一日 一九二八
 本溪湖(都督府管内) 三月廿一日 八
 鐵嶺(清國管内) 三月廿一日 一八
 開原(都督府管内) 三月廿一日 九七
 昌圖(清國管内) 三月廿一日 五三
 法庫門(清國管内) 三月廿一日 五六
 四平街(都督府管内) 三月廿一日 一九三
 郭家店(都督府管内) 三月廿一日 一四五
 合計 三月廿一日 一九二八

地別	隔離所内		家屋内		家屋外		遺棄物及 華英公司及 列車内		計
	患者	屍體	患者	屍體	患者	屍體	患者	屍體	
旅順	三	七	一	八	二	七	六	九	二
大連	二	三	—	—	—	—	—	—	—
金州	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奉天	六	三	—	—	—	—	—	—	—
撫順	—	—	—	—	—	—	—	—	—
本溪湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—
開原	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四平街	—	—	—	—	—	—	—	—	—
郭家店	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公主嶺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
范家屯	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長春	五	八	—	—	—	—	—	—	—
鷄冠山	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	二四	三〇	一〇	四〇	九	三五	四四	一一〇	三三八

七十三

都督府管内ベスト発生區分

公主嶺(都督府管内) 清國管内
 范家屯(都督府管内) 清國管内
 長春(都督府管内) 清國管内
 鷄冠山(都督府管内) 清國管内
 計(都督府管内) 清國管内

患者	九	九	四	—	—	—	—	—	—
屍體	五	五	—	—	—	—	—	—	—
患者	二	二	—	—	—	—	—	—	—
屍體	二	二	—	—	—	—	—	—	—
患者	四	四	—	—	—	—	—	—	—
屍體	五	二	—	—	—	—	—	—	—

一月十六日ニ發生シタルノ
 日本人男一 女一 英國人男一
 朝鮮人男一 女一 清國人男一
 四九三 女一八四

七十二

年齢	級	實	數	百分比
五年未滿			二	
十年以下			一	
十五年以下			一〇	六、二五
二十年以下			三五	
二十五年以下			六三	四三、七五
三十年以下			三五	
三十五年以下			三三	三〇、三六
四十年以下			一〇	
四十五年以下			一九	一三、九五
五十年以下			七五	
五十五年以下			三七	六、六九
六十年以上			三	
合計			二二四	一〇〇、〇〇

都督府管内ベスト患者年齢別調 (三月二十日迄ノ分)

備考 本表ハ初發以來三月二十日迄ノ累計ニ付區分シタルモノトス

百分比例 五〇、〇〇 一七、五四 一九三〇、五、三六四、三九 三、五二 一〇〇、〇〇

備考 一、本表ノ外年齢不詳ノモノ四名アリ

附
録

年 齡	都府管内ベスト患者年齢別調 (三月二十日迄ノ分)	
	實 數	百 分 比 例
五 年 未 滿	112	6.25
十 年 以 下	111	6.25
十 五 年 以 下	101	6.25
二 十 年 以 下	335	43.75
二 十 五 年 以 下	63	43.75
三 十 年 以 下	335	43.75
三 十 五 年 以 下	335	43.75
四 十 年 以 下	335	43.75
四 十 五 年 以 下	190	12.95
五 十 年 以 下	90	12.95
五 十 五 年 以 下	375	6.69
六 十 年 以 下	375	6.69
六 十 年 以 上	375	6.69
合 計	224	100.00

備考 一、本表ノ外年齢不詳ノモノ四名アリ

百分比例 500.00 17.54 193.05 264.39 351.10 100.00

備考 本表ハ初發以來三月二十日迄ノ累計ニ付區分シタルモノトス

附 録

一、東亞ニ於ケルペスト疫禍

(議會ニ於ケル報告ニヨル)

(千九百十一年二月九日「ダス、エヒョー」所載)

帝國議會ノ豫算委員會ニ於テ帝國海軍官憲ノ一政府委員ハ東亞ニ於ケルペスト疫延及之ニ對スル海軍當局者ノ措置ニ關シテ次ノ如キ報告ヲ成セリ

ペスト病ハ今世紀ニ入リテ以來十年間未タ嘗テ猖獗ヲ極ムルニ至ラザリシカ不幸ニシテ一九一〇年ノ秋ニ及ヒテハ東亞ノ荒原ニ於テ廣ク蔓延スルニ至リ、哈爾濱ヨリ出テ、陸運ニヨリ南滿鐵道ニ沿テ行ク數百人ヲ斃セリ、此附近ニ於ケルペスト病死ハ約千人ニ達スヘシト云フモ而モ其數ハ倍スルニ足ラス、今回發生セルペストハ所謂肺ペストニシテ昔者十四世紀ノ頃當時ノ人口ノ四分ノ一乃至五分ノ一ヲ奪ヒ去リタル黒死病ト同一ナリ肺ペストハ在ツテハ患者ノ救療ニ從事スル者ノ豫防方法頗ル困難ナルヲ見ル一月初旬奉天ニ於テ日清委員會ヲ組織シ委員會ハ直ニ傳染病院ヲ建設セリ右病院ハ檢疫ノ設備ヲ有シ又タ二百名ノ患者ヲ收容スルニ足ルモノナリ然レトモ該施設其ノ他ノ防疫方法ハ不幸ニシテ流疫ノ蔓延ヲ阻絶スルニ足ラスペストハ遂ニ天津及北京ニ侵入シ又タ天津河南府ノ線下ニ於テモ擬似ペスト患者ノ發生ヲ見ルニ至レリ

形勢如斯ニシテペストハ今ヤ直ニ山東ヲ衝カントス若シ一度山東ニ侵入センカ同地ハ人口甚タ稠密ナル丈ケ其被害モ亦タ甚シカラサルヲ得ス從テ豫防方法ヲ講スルノ要アリト雖、英人カ印度ニ於テ採リタルカ如キ組織的豫防方法カ果シテ能ク十分ノ功ヲ奏スルヤ否ヤ當時其效果ノ少カリシニ願フハ稍々疑ナキ能ハサルニ似タリ然ルニ青島市ニ在テ

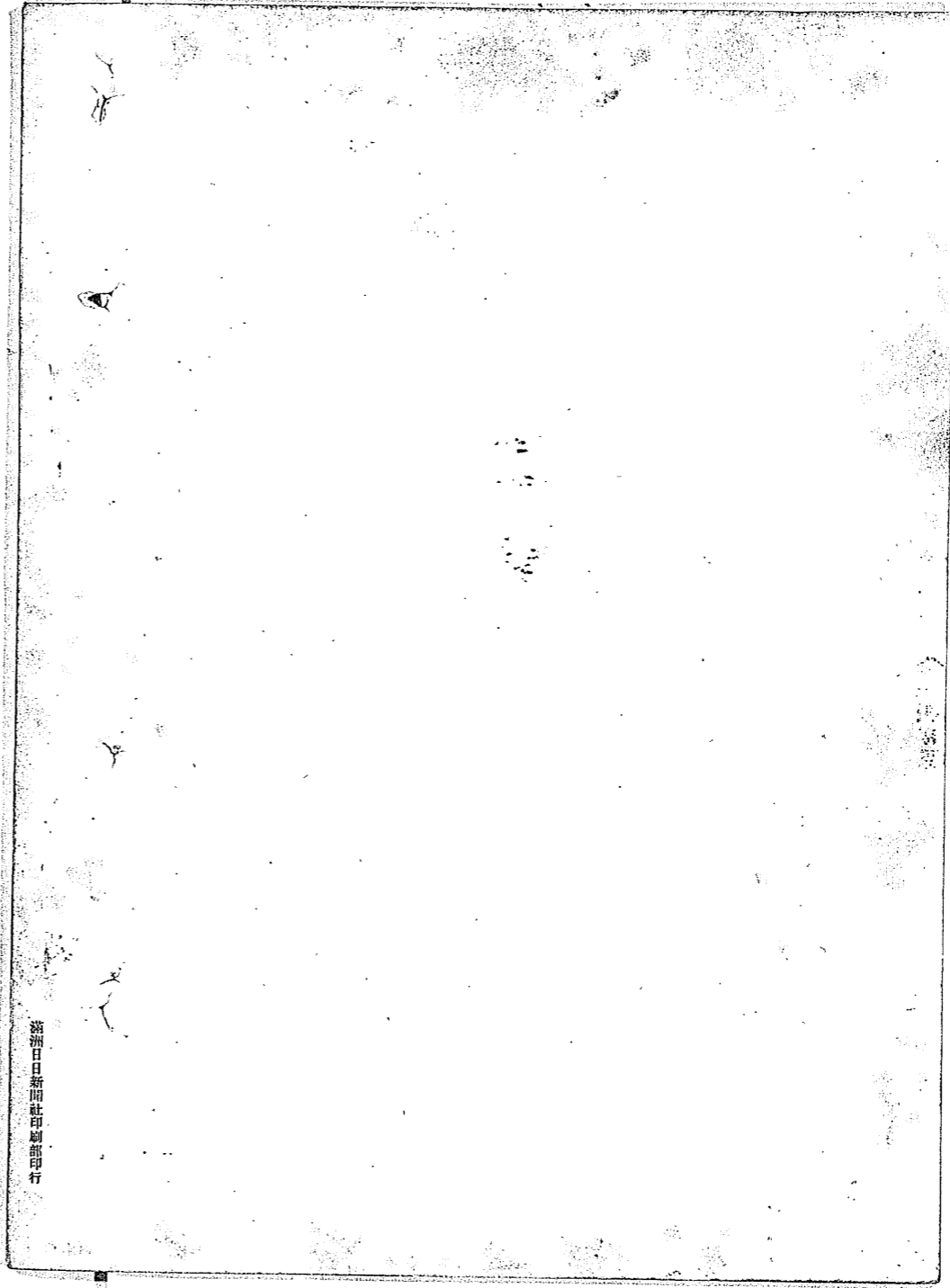
ハ即チ然ラス吾人ハ同地ニ於ケル防疫ノ可能ナルヲ見、又タ其然ルヲ希フモノナリ、即チ先ツ兵力ヲ以テ陸上ヨリ市ヲ嚴重封鎖シ、Sea Portニ於テ汽車ノ運轉ヲ停止シ青島市外ノ清人ノ爲ニ傳染病院ヲ建設シ又タ市域ニ在留スル一切ノ人ニ對シテ嚴重ナル監察ヲ行ヒ同時ニ海上ニ於テ一切ノ船舶ニ檢疫ヲ施行シ海岸ノ監視ヲ嚴シタルヲ以テ能ク流疫ヲ都門ノ外ニ防遏シ得ルノ見込アリ而シテ此等ノ方法ヲ講スルニ當リテハ政廳ハ固ヨリ特別ノ補助者ニ待タサルヘカラス此ヲ以テ交代歸航ノ途ニ上ル管ナリシ醫員ハ一時留保セラレタリ而シテ特ニ一言スヘキハベスト血精 (Pasteur's) ノ豫防注射ノ施行ナリ即チ上海、横濱、柴棍ヨリ多量ノ該血精ヲ取寄スベスト患者ト接觸スルノ機會アル者ニハ總テ之ヲ注射セリ而シテ初期ニ施セル注射ハ死亡數字上ニ良好ナル影響ヲ與ヘ實際疾病ニ付テ實驗シタル者ノ言ニヨレハ注射ヲ受ケタル患者ハ之ヲ受ケサル者ニ比シテ其死亡數ニ於テ百人中五十名ヲ減スト云フ而モ豫防注射ノ效果ハ經驗上十四日間ヲ超ユル能ハサルナリ

茲ニ於テ保守黨ノ一委員ハ委員會ノ名ニ於テ當局者ノ採レル防疫措置ノ整頓セルヲ感謝シ尙ホ必要ナル追加支出ニ就テハ固ヨリ何等ノ異議モ之レ無ルヘキヲ言明セリ又タ中央黨ノ一員ハ貨物ニヨルベストノ侵入ニ對シ國際的防疫ヲ採ルノ要アルヘキヲ主張シ國民自由派ノ論者ハ膠州屬領ノ封鎖ノ方法ヲ變更スヘキヲ論セリ而シテ國務大臣ハ個々ノ細目ハ之ヲ當該地方官憲ニ任センコトヲ旨ヲ述ヘタリ想フニ政府當局者ハ其實力ノ及フ範圍内ニ於テ封鎖ヲ實行スルニ適當ナル手段ヲ採ルニ於テ遺算ナカルヘキナリ

滿洲ニ於ケル衛生的設備ノ組織ヲ委託セラレタルツアボロトニ教授ハ露都ヨリノ報道ノ如ク惡疫ヲ現在ノ流行區域ニ局限シテ其西比利亞ニ侵入スルヲ防止シ得ヘキヲ信セリ而シテ氏ハ清人死亡ノ甚タ多キヲ以テ其住居ノ非衛生的ナルニ歸セリ即チ其住居ハ地下ニ突許リテ掘リ下ケテ之ヲ建築セルカ故ニ居室ハ濕潤ニシテ甚タ不潔ナリ此故ニ一度

ベストニ胃サレンカ復々回瘵スルモノナシ加フルニ時恰モ五寒ニ際シ萬般ノ消毒方法ハ激烈ナル寒氣ノ爲メ其功ヲ奏セス而モ清國人民ハ當局者ノ努力奮闘ニ依テ漸ク自己ノ身邊ニ迫レル危害ノ重大ナルヲ覺知シ今日ニ於テハ既ニ一切ノ迷信ヲ打破シテ自ら進ンテベスト病屍ヲ燒棄スルニ至レリ清人街傳家甸ノ附近ニ於テハ近日來燒棄シタルモノ七千人ニ及フ

哈爾濱ヨリノ報告ニモ見ユルカ如ク傳家甸ノ支那人街ニ於テハ日々ノ死亡者百五十名ニ達シ同所四萬人ノ住民ハ六千人ニ減少シタリ其他ノ諸市邑ヨリノ狀況報告モ亦タ等シク慘狀ノ戰慄スヘキモノアルヲ報ス呼蘭ノ如キ死屍山積シ其ノ一部分ハ松花江ノ一支流タル呼蘭河ノ氷上ニ遺棄堆積セラレルヲ見ル蓋シ春季ノ流水ト共ニ之ヲ下流ニ流シ去ラントスルノ目的ニ出ツルコト明ナリ



滋賀日日新聞社印刷部印行

3-2597

0578